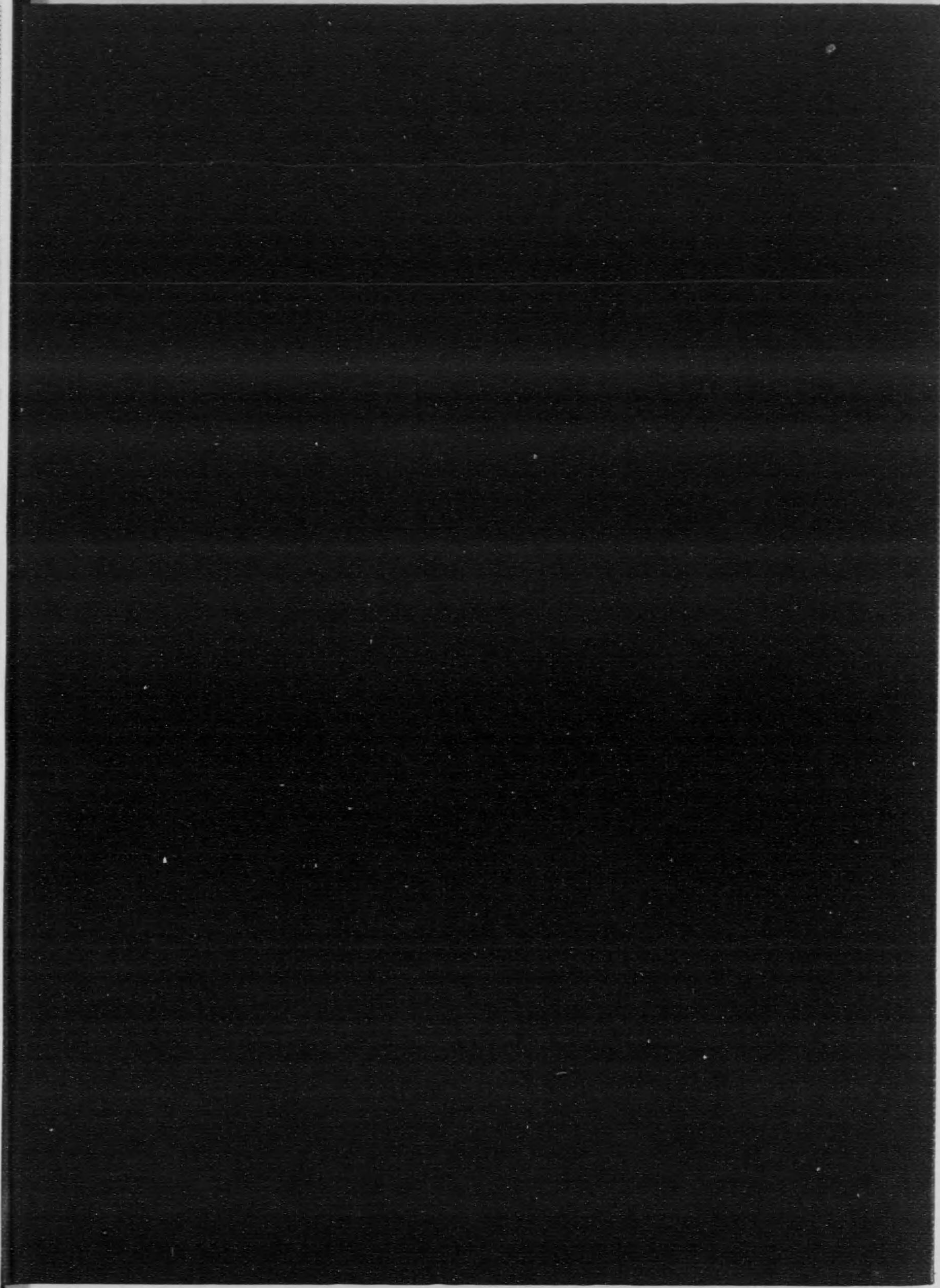




始



IT-3A-89

日本帝國司法省

第四十四刑事統計年報

大正七年

14.4-70



緒言

統計事項ハ世運ノ推移ニ鑑ミ學術ノ進歩ニ伴ヒ常ニ更正ニ努メ活用ニ適セシメサル可ラス刑事統計ハ刑事司法ノ要項ヲ示スト同時ニ社會ノ危險状態ヲ指示シ將來ノ安寧ヲ畫策スルノ資料ニ供スルモノナルヲ以テ周到割切ナラサル可ラスト雖モ時代ノ經路ト累年比較トヲ斷絶スヘカラサルカ故急遽其ノ域ニ達セシムルコト難シ是ニ由リテ本統計年報ハ近來卷ヲ改ムル毎ニ修正ヲ加ヘ次第ニ完成ヲ期セントス因テ本卷亦更ニ修正ヲ加ヘタリ修正事項及理由ノ要點ヲ舉クルハ次ノ如シ

- 1 検事ノ捜査事件表ニ人員ヲ附シ不起訴理由ノ分類ヲ修正シ從來掲載シタル罪名別不起訴件數表ヲ廢止ス
理由 從來件數ノミニ依リタルモ犯罪増加ノ今日ニ於テハ件數ト人員トノ間ニ甚シキ差アリ之ニ對スル被告人員ヲ見サレハ事務統計トシテモ亦適當ナル觀察ヲ下ス能ハス不起訴理由ノ分類ハ從來七分類ナリシモ之ヲ細分シテ九分類ト爲シタリ又罪名別不起訴表ニハ罪トナラサルモノニ罪名ヲ付スルカ如キモノアリ且ツ罪名別ハ人ニ付テ爲スヘキモノニシテ之ヲ件數ニ依ルカ如キハ適當ナラサルニ因リ之ヲ廢止ス
- 2 検事ノ取扱ニ係ル起訴猶豫ニ付テ裁判所別人員及犯罪地別、犯罪月別、年齢教育ノ四表ヲ掲載ス
理由 從來之ヲ掲載セサリシモ起訴猶豫ハ元ヨリ無罪視スヘキモノニアラヌ一審ノ有罪同様社會ニ於ケル危險ヲ包藏スルモノナルヲ以テ其ノ身分關係及社會關係モ亦同シク掲載シ而シテ之ヲ綜合シテ全犯罪人ノ身分關係等ヲ觀察スルコトヲ得セシム
- 3 警察及其ノ以外ノ司法警察官ノ取扱ニ係ル釋放ニ付テ亦同シ
- 4 豫審事件表ニ人員ヲ附シ起訴理由別修正シ從來掲載シタル罪名別免訴人員表ヲ廢止ス
理由 検事ノ捜査事件表ヲ修正シテ同シ

9.219
内交

- 5 犯罪地別有罪犯人表ハ從來確定裁判ニ依リタルモ之ヲ一審事件ニ依リ從來別ニ掲載シタル第一審有罪犯人ノ罪名別地方分布ノ關係表ニ併合ス
理由 一審有罪人ト確定裁判ノ有罪犯人トハ其ノ數大差ナキヲ以テ二重調査ノ繁ヲ避ケ之ヲ一表ニ纏結ス又從來國名別區劃ノ如キハ密ニ過キ實用ニ適セサルヲ以テ之ヲ地方裁判所管轄別區劃トス
- 6 犯罪月別、年齢、職業、教育ノ各表ハ從來確定裁判ヲ經タル有罪人ニ依リタルモ之ヲ一審ノ有罪ニ依ラシム
理由 犯罪地別ヲ一審有罪ニ依リタルト同様ノ事由ナリ一審有罪ニシテ上訴ノ結果無罪トナルモノハ百分ノ四件五分又無罪ハ大部分一審ニ於テ確定スルヲ以テ何レニ依ルモ大差ナキモノトス
- 7 第一審有罪犯人ニ付テ犯罪地別犯罪行為ノ一表ヲ掲載ス
理由 從來犯罪行為ニ付テハ未タ曾テ統計シタルコトナキモ犯罪増加ノ今日ニ於テハ單ニ犯人ノミヲ以テ觀察スヘキニアラス行為ヲ基本トシテ純犯罪ノ現象ヲ示サントス
- 8 有罪犯人ノ婚姻子ノ有無、種類、信教、資産、生計ノ各表ハ本年ヨリ監獄統計ニ移シタルヲ以テ之ヲ除ク
- 9 有罪犯人ノ國名別住所表ヲ廢止ス
理由 交通發達シ風俗變遷シ住所ニ付テノ因襲的觀念昔日ノ如クナラサルヲ以テ之ヲ掲載スルハ必要ニアラス
- 10 確定裁判ニ依ル有罪犯人ノ罪名別刑期表ヲ廢止ス
理由 一審事件ノ罪名別科刑表ハ從前ヨリ掲載シアリ而シテ確定刑ト一審ノ刑ト大差ナキノミナラス控訴以上ニ原裁判ト上訴判決ノ比較ヲ掲載シアルヲ以テ大體ニ於テ其ノ異同ヲ知ルコトヲ得ルニ因リ之ヲ廢止ス
以上ノ外二三修正ノ箇所アルモ一部分ニ止マリ又配列ノ變更ニ過キサルヲ以テ擧ケス然レトモ未タ之ヲ以テ完璧トスル能ハサルニ因リ益々努メテ改善スル所アルヘシ

日本國 司法省 刑事統計年報
目 次

刑事統計要旨

捜査事件	1
豫審事件	11
第一審事件	15
上訴事件	50
公訴附帶私訴事件	57
訴訟費用	57
各審確定裁判	58
刑ノ執行猶豫	62
刑ノ執行	64
外國人ニ關スル事件	67
附 録	
事件別總件數表	69
終局事件ノ審理期間表	70
處刑ノ大別及無罪免訴人員表	71
地方裁判所別未終局人員表	72
有罪犯人及犯罪ノ基本行為ノ個數表	74
有罪犯人ノ累年比較表	75
人口十萬ニ對スル殺人其ノ他特殊犯人ノ累年比較表	75
殺人其ノ他特殊犯人ノ累年比較	76
人口、有罪被告人及人口十萬ニ對スル有罪犯人ノ地方別比較	
人口十萬ニ對スル賭博、竊盜其ノ他特殊犯人ノ地方別比較	
以下圖表	
第一表 檢事局別 捜査事件ノ受理、終局未終局件數人員及處分期間	2
第二表 檢事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數人員	18
第三表 罪名別 捜査事件ノ起訴猶豫取消人員	32
第四表 檢事局別 捜査事件起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地(刑法犯)	34

刑事統計表

捜 査

第五表 檢事局別 同 上 (特別法犯)	46
第六表 罪名別 捜査事件刑法犯起訴猶豫者ノ犯罪ノ月、年齢、教育	82
第七表 檢事局別 廳府縣警察ノ取扱ニ係ル微罪釋放者ノ罪名及犯罪地(刑法犯)	96
第八表 檢事局別 同 上 (特別法犯)	108
第九表 罪名別 廳府縣警察ノ取扱ニ係ル刑法犯微罪釋放者ノ犯罪ノ月、年齢、教育	126
第一〇表 檢事局別 廳府縣警察以外ノ司法警察官ノ取扱ニ係ル微罪釋放者ノ罪名及犯罪地(刑法犯)	130
第一一表 檢事局別 同 上 (特別法犯)	132
第一二表 罪名別 廳府縣警察以外ノ司法警察官ノ取扱ニ係ル刑法犯微罪釋放者ノ犯罪ノ月、年齢、教育	134
豫 審	
第一三表 裁判所別 豫審事件ノ受理、終結未終結件數人員及審理期間	136
第一四表 裁判所別 豫審事件ノ言語シタル罰金、科料	140
第一五表 裁判所別 豫審終結被告人ノ所遇	142
第 一 審	
第一六表 裁判所別 第一審總事件ノ受理、終局未終局件數及審理期間	148
第一七表 裁判所別 第一審刑法犯終局事件ノ受理別終局區分	162
第一八表 裁判所別 第一審特別法犯終局事件ノ受理別終局區分	174
第一九表 裁判所別 通常第一審刑法犯終局被告人ノ科刑其ノ他ノ區分	188
第二〇表 裁判所別 略式事件刑法犯ノ件數人員科刑其ノ他ノ區分	200
第二一表 裁判所別 通常第一審特別法犯終局被告人ノ科刑其ノ他ノ區分	212
第二二表 裁判所別 略式事件特別法犯ノ件數人員科刑其ノ他ノ區分	224
第二三表 罪名別 通常第一審刑法犯終局被告人ノ科刑其ノ他ノ區分	236
第二四表 罪名別 略式事件刑法犯終局被告人ノ科刑其ノ他ノ區分	254
第二五表 罪名別 通常第一審特別法犯終局被告人ノ科刑其ノ他ノ區分	258

第二六表 罪名別 略式事件特別法犯終局被告人ノ科刑
其ノ他ノ區分 268

第二七表 略式命令ニ對スル第一審判決ノ比較 282

第二八表 廳府縣別 警察ニ於ケル違警罪即決及違警罪即
決ニ對スル正式裁判 282

第二九表 罪名別 警察ニ於ケル違警罪即決科刑區分 286

第三〇表 裁判所別 第一審終局被告人ノ所遇 290

第三一表 罪名別 第一審刑法犯有罪被告人累犯關係及
刑ノ減免 304

第三二表 裁判所別 第一審刑法犯有罪被告人ノ罪名及犯
罪地 314

第三三表 裁判所別 第一審特別法犯有罪被告人ノ罪名及
犯罪地 326

第三四表 罪名別 第一審刑法犯有罪被告人ノ犯罪月別 338

第三五表 罪名別 第一審刑法犯有罪被告人ノ年齢、教育 354

第三六表 罪名別 第一審刑法犯有罪被告人ノ職業 370

第三七表 罪名別 第一審刑法犯有罪被告人ノ犯罪原因 378

第三八表 罪名別 第一審刑法犯有罪被告人ノ裁判所別
犯罪行為ノ個數 410

上 訴

控 訴

第三九表 裁判所別 控訴事件ノ受理、終局、未終局件數
及取消理由、審理期間 442

第四〇表 原判決ニ對スル控訴裁判ノ比較 462

第四一表 裁判所別 控訴終局被告人ノ所遇 464

上 告

第四二表 原裁判所別 上告事件ノ受理、終局、未終局件數
及破毀理由 466

第四三表 審理期間別 上告事件ノ終局件數 468

第四四表 上告事件ノ終局被告人ノ所遇 468

第四五表 裁判所別 上告破毀移送事件ノ件數、人員 468

第四六表 原判決ニ對スル上告裁判ノ比較 469

抗 告

第四七表 裁判所別 抗告事件ノ受理、終局、未終局件數
及審理期間 469

第四八表 抗告申立ノ要旨及裁判結果

再 審

第四九表 原裁判所別 再審事件ノ受理、終局、未終局件數
及破毀理由 470

第五〇表 審理期間別 再審事件ノ終局件數 471

第五一表 裁判所別 再審破毀移送事件ノ件數、人員 471

公 訴 附 帶 私 訴

第五二表 裁判所別 私訴事件ノ受理、終局、未終局件數 472

第五三表 請求種別 私訴事件ノ受理、終局、未終局件數 472

訴 訟 費 用

第五四表 裁判所別 豫審、第一審、控訴審ニ於ケル證人、
鑑定人、通事人員及訴訟費用金額 480

確 定 裁 判

第五五表 罪名別 各審ニ於ケル確定人員 494

刑 ノ 執 行 猶 豫

第五六表 裁判所別 刑ノ執行猶豫 522

第五七表 罪名別 刑ノ執行猶豫 528

刑 ノ 執 行

第五八表 檢事局別 體刑ノ執行 554

第五九表 檢事局別 財產刑ノ執行 560

第六〇表 刑期別 本刑ニ算入シタル未決勾留日數 586

第六一表 廳府縣別 拘留刑ノ執行 586

第六二表 廳府縣別 科料刑ノ執行 588

外國人ニ關スル事件

第六三表 檢事局別 捜査事件ノ受理、終局、未終局件數
及被告人ノ國籍 594

第六四表 裁判所別 豫審事件ノ受理、終結、未終結件數
及被告人ノ國籍 596

第六五表 裁判所別 第一審事件ノ受理、終局、未終局件
數人員及被告人ノ國籍 598

第六六表 罪名別 第一審事件ノ受理、終局、未終局件
數人員及被告人ノ國籍 600

第六七表 裁判所別 控訴事件ノ受理、終局、未終局件數
及被告人ノ國籍 602

第六八表 裁判所別 上告事件ノ受理、終局、未終局件數
及被告人ノ國籍 602

第四十四 刑事統計年報
刑事統計要旨

搜 査

檢事ノ取扱ニ係ル捜査事件ノ受理、終局、未終局件數ヲ示セハ次表ノ如シ

搜 査 事 件 件 數

年 度	受 理			終 局				未 終 局
	舊 受	新 受	計	起 訴	不 起 訴	其 他	計	
大 正 七 年	5,475	315,715	321,190	106,053	180,530	30,047	316,630	4,560
大 正 六 年	3,841	303,395	307,236	110,101	163,926	27,734	301,761	5,475
大 正 五 年	4,617	291,956	296,573	104,634	162,510	25,588	292,732	3,841
大 正 四 年	4,314	277,654	281,968	103,332	148,829	25,190	277,351	4,617
大 正 三 年	3,286	276,375	279,661	103,302	147,341	24,704	275,347	3,314
大 正 二 年	1,907	271,484	273,391	110,876	133,084	26,145	270,105	3,286
大 正 元 年	1,961	259,913	261,874	117,540	118,793	23,634	259,967	1,907
明治四十四年	1,875	246,299	248,174	120,788	103,811	21,614	246,213	1,961
明治四十三年	1,715	225,540	227,255	114,758	90,732	19,878	225,368	1,875
明治四十二年	1,691	216,221	217,912	116,081	80,221	19,896	216,198	1,714

(前年ノ未終局件數ト翌年ノ舊受件數ト符合セサルハ前年ノ未終局ニ誤謬アリシニ因ル)

前表ニ依レハ大正七年ノ捜査事件ノ件數ハ前年ニ比シ舊受四割二分五厘新受四分一厘總件數四分五厘ヲ各増加シ終局シタルモノ四分九厘ヲ増加シ終局セサルモノ一割六分七厘ヲ減少シタリ終局シタルモノノ内起訴三分七厘ヲ減少シ不起訴一割一厘其ノ他ノモノ八分三厘ヲ各増加シタリ

捜査事件ノ趨勢ハ逐年増加スルノミニシテ之ヲ刑法改正當時ニ比較スレハ新受件數ハ五割六分ノ増加ニシテ今後益々増加セントス

大正六年ノ増加ハ特殊ナル衆議院議員選舉法違犯事件四千人以上府縣會其ノ他ノ議員選舉違犯事件二千人以上ナリシニ依ル又大正七年ハ是等ノ事件僅少ナルモ騷擾事件ノ發生シタルアリ騷

擾事件ハ人員多數ナルモ其ノ件數ハ比較的多數ナラス然レトモ騷擾罪ニ依リ處罰セラルヘキモノ七百三十七件ニシテ此ノ他著ルシキモノ無キモ賭博、詐欺、竊盜罪等ニ於テ一般ニ増加シタルヲ見ル

事件ノ増加ニ付テ最近五年間ニ於テハ一年ノ増加率二分八厘餘ニシテ即チ百件ニ付テ二件八分五厘ヲ増加スルモノノ如シ

現住人口十萬ニ對スレハ大正七年ノ新受件數ハ五百四十五件七分ヲ算シ人口トノ割合ニ付テハ前年ヨリ二件四分ヲ減少シタリ

(人口ハ大正八年内閣告示第十一號ノ現住人口ニ據テ人口ヲ加ヘタルモノニ依ル)

起訴ト不起訴ニ付テ最近五ケ年間ノ地方別比例ヲ示セハ次表ノ如シ

地方裁判所	大 七 年		大 正 六 年		大 正 五 年		大 正 四 年		大 正 三 年		五ヶ年平均	
	起 訴	不 起 訴	起 訴	不 起 訴	起 訴	不 起 訴	起 訴	不 起 訴	起 訴	不 起 訴	起 訴	不 起 訴
東横 京	41.8	74.0	36.0	64.0	33.2	66.8	34.8	65.2	33.5	66.5	32.7	67.3
横濱 京	28.0	58.2	44.5	55.5	43.3	56.7	43.3	56.7	44.8	55.2	43.5	56.5
油 京	46.5	53.5	49.8	50.2	51.1	48.9	55.8	44.2	57.9	42.1	52.2	47.8
千水 京	37.1	62.9	42.3	57.7	37.2	62.8	46.1	53.9	39.8	60.2	40.5	59.5
宇 京	40.4	59.6	47.1	52.9	42.7	57.3	41.1	58.9	42.2	57.8	42.7	57.3
都 京	43.6	56.4	38.4	61.6	31.7	68.3	40.0	60.0	33.6	66.4	37.5	62.5
戸 京	42.7	57.3	45.3	54.7	45.7	54.3	48.1	51.9	51.7	48.3	46.7	53.3
宮 京	44.4	55.6	52.0	48.0	47.6	52.4	52.7	47.3	47.6	52.4	48.9	51.1
野 京	38.4	61.6	38.9	61.1	42.3	57.7	49.0	51.0	50.4	49.6	43.8	56.2
府 京	42.3	57.7	44.3	55.7	39.2	60.8	41.8	58.2	36.2	63.8	40.8	59.2
野 京	40.4	59.6	34.7	65.3	35.2	64.8	40.7	59.3	42.1	57.9	38.6	61.4
大 京	40.8	59.2	39.6	60.4	35.5	64.5	41.6	58.4	43.3	56.7	40.2	59.8
神 京	30.9	69.1	33.6	66.4	40.1	59.9	42.2	57.8	44.6	55.4	38.3	61.7
奈 京	28.7	71.3	33.1	66.9	31.0	69.0	37.8	62.2	43.6	56.4	34.8	65.2
大 京	29.4	70.6	27.9	72.1	21.5	78.5	33.6	66.4	39.6	60.4	30.4	69.6
和 京	35.6	64.4	30.7	69.3	38.1	61.9	38.7	61.3	44.7	55.3	37.6	62.4
德 京	43.7	56.3	47.3	52.7	39.8	60.2	44.5	55.5	45.0	55.0	44.1	55.9
高 京	32.8	67.2	34.5	65.5	33.8	66.2	39.5	60.5	40.4	59.6	36.2	63.8
松 京	37.2	62.8	45.4	54.6	42.3	57.7	43.1	56.9	51.0	49.0	43.8	56.2
知 京	33.8	66.2	32.5	67.5	32.8	67.2	36.1	63.9	40.2	59.8	35.1	64.9
名 古 屋	36.4	63.6	39.1	60.9	37.1	62.9	38.2	61.8	38.6	61.4	37.9	62.1
安 古 屋	34.4	65.6	38.3	61.7	33.8	66.2	32.6	67.4	36.6	63.4	35.1	64.9
岐 古 屋	48.5	51.5	42.8	57.2	36.2	63.8	34.8	65.2	37.9	62.1	40.0	60.0
福 古 屋	46.1	53.9	52.5	47.5	37.3	62.7	38.8	61.2	35.6	64.4	42.1	57.9
金 古 屋	50.4	49.6	49.6	50.4	30.4	69.6	35.1	64.9	37.6	62.4	40.6	59.4
富 古 屋	49.5	50.5	45.2	54.8	38.7	61.3	38.6	61.4	39.2	60.8	42.2	57.8
廣 島	35.5	64.5	42.0	58.0	41.1	58.9	40.6	59.4	40.5	59.5	39.9	60.1
山 廣	30.0	70.0	32.1	67.9	34.4	65.6	37.5	62.5	43.2	56.8	35.4	64.6
岡 廣	34.6	65.4	34.9	65.1	39.2	60.8	41.2	58.8	37.3	62.7	37.4	62.6
島 廣	45.2	54.8	41.0	59.0	39.7	60.3	37.0	63.0	36.5	63.5	39.9	60.1
山 廣	30.0	70.0	39.1	60.9	35.2	64.8	37.6	62.4	36.7	63.3	35.7	64.3
取 廣	38.5	61.5	37.5	62.5	40.5	59.5	42.0	58.0	42.7	57.3	40.2	59.8
江 廣	32.9	67.1	40.3	59.7	51.4	48.6	55.7	44.3	58.7	41.3	47.8	52.2
崎 廣	40.9	59.1	44.3	55.7	40.9	59.1	39.5	60.5	43.7	56.3	41.9	58.1
分 廣	33.4	66.6	37.0	63.0	36.8	63.2	36.5	63.5	40.1	59.9	36.8	63.2
本 廣	31.6	68.4	33.4	66.6	35.1	64.9	40.3	59.7	39.5	60.5	36.0	64.0
木 廣	48.5	51.5	40.8	59.2	42.3	57.7	34.6	65.4	30.6	69.4	39.4	60.6
島 廣	30.6	69.4	29.7	70.3	36.6	63.4	42.5	57.5	36.7	63.3	35.2	64.8
崎 廣	38.8	61.2	40.8	59.2	35.6	64.4	32.6	67.4	37.5	62.5	37.0	63.0
那 廣	57.5	42.5	63.9	36.1	62.0	38.0	58.6	41.4	65.9	34.1	61.6	38.4
仙 崎	46.9	53.1	49.6	50.4	43.8	56.2	39.7	60.3	37.4	62.6	43.5	56.5
福 崎	43.5	56.5	41.2	58.8	38.2	61.8	38.2	61.8	37.5	62.5	39.7	60.3
山 崎	44.7	55.3	43.3	56.7	41.3	58.7	49.7	50.3	38.9	61.1	43.6	56.4
盛 崎	47.4	52.6	59.8	40.2	59.7	40.3	53.2	46.8	43.2	56.8	52.7	47.3
秋 崎	42.2	57.8	40.8	59.2	50.8	49.2	51.8	48.2	47.6	52.4	46.6	53.4
青 崎	46.8	53.2	45.9	54.1	42.9	57.1	44.6	55.4	39.1	60.9	43.9	56.1
函 館	45.8	54.2	55.8	44.2	49.0	51.0	54.6	45.4	41.1	58.9	49.3	50.7
札 函	42.5	57.5	45.6	54.4	46.6	53.4	41.5	58.5	44.4	55.6	44.1	55.9
旭 函	56.5	53.5	46.1	53.9	42.0	58.0	-	-	-	-	44.9	55.1
釧 函	34.2	65.8	41.5	58.5	40.4	59.6	41.5	58.5	48.1	51.9	41.1	58.9
樺 函	33.8	61.2	41.8	58.2	43.8	56.2	36.8	63.2	39.7	60.3	40.2	59.8
平 均	37.0	63.0	40.2	59.8	39.0	61.0	41.0	59.0	41.2	58.8	39.7	60.3

起 訴 ノ 區 分

年 度	起訴案件数	豫審請求	公判請求	略式手続請求
大 正 七 年	106,053	4,456	41,253	60,344
大 正 六 年	110,101	4,932	44,827	60,340
大 正 五 年	104,634	5,202	47,122	52,310
大 正 四 年	103,332	6,281	49,874	47,177
大 正 三 年	103,302	6,223	54,015	43,064
大 正 二 年	110,876	7,672	82,846	20,358
大 正 元 年	117,540	9,215	108,325	-
明治四十四年	120,788	10,222	110,566	-
明治四十三年	114,758	10,381	104,377	-
明治四十二年	116,081	10,959	105,122	-

前表ニ依レハ大正七年ノ平均ハ起訴三十七件不起訴六十三件ニシテ前年ニ比スレハ起訴三件二分ヲ減少シ不起訴三件二分ヲ増加シタリ

起訴ハ近年漸次減少シ大正六年ハ聊カ増加シテルモ其ノ増加ハ議員選舉違犯ノ如キ特殊犯罪ノ多數ナリシニ因ルヘク而シテ大正七年モ亦騷擾事件ノアリシ爲メ大正五年ニ比スレハ幾分ノ増加ヲ見ルモ前年ニ比スレハ八分ヲ減少シ不起訴ハ之ニ反シ近年々増加ノ傾向ナリ

起訴ニ付テノ一般ノ減少ハ前記ノ如シト雖モ之ヲ各廳別ニ見レハ然ラサルモノアリ大正六年ハ那覇、盛岡、函館、福井、静岡ハ起訴ノ方多數ナリシモ大正七年ハ金澤、那覇ノ二地方ノミニシテ又五年平均ニ付テ見レハ起訴ノ多數ナルハ浦和、盛岡ノ二地方ノミナリ

不起訴ノ割合多數ナル地方ヲ擧ケレハ
 東京 七十四件 神戸 七十一件三分
 奈良 七十件六分 山口 七十件
 松江 七十件

其ノ他大阪、鹿兒島、大分、徳島、長崎、福岡、高知、安濃津、釧路、岡山、廣島、大津、名古屋ハ平均ヨリ〇件六分乃至六件一分ノ多數ニ在リ其ノ他比較的の多數ナルハ千葉、高松等ナルモ平均以下ナルヲ以テ之ヲ擧ケス

起訴シタルモノノ内豫審請求、公判請求、略式手続請求ノ區別ニ付テ既往十年間ノ件數ヲ示セハ次表ノ如シ

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ豫審請求九分七厘公判請求八分ヲ各減少シ略式手続請求ハ全體ノ起訴件數減少シタルニ拘ラス却テ僅少ナルモ増加シタリ

起訴區別ニ付テ總數百ニ對スル比例ヲ擧ケレハ略式手続請求五十六件九分ニシテ公判請求三十八件九分豫審請求四件二分ノ割合ナリ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ豫審請求四分公判請求一件八分ヲ各減少シ略式手続請求二件一分ヲ増加シタリ

豫審請求事件ノ近年漸次減少シ來リタルハ他ニ原因アルヘキモ全體ニ於ケル起訴件數ノ減少シタルニモ因ルヘシ又公判請求ノ減少セルハ略式手続請求ノ増加スルニ因ルヘシ略式手続請求ハ同法施行ノ初年ニ比シ三倍ニ増加シタリ

不起訴處分ノ理由ヲ示セハ次表ノ如シ

不起訴ノ理由別

Table with 11 columns: 年度, 不起訴總件數, 罪トナラス, 刑事未成年者, 心神喪失者, 證據不十分, 親告罪ノ告訴取下拋棄, 時效, 確定判決, 起訴猶豫, 中止其他. Rows include years from 大正七年 to 明治四十二年.

×印ハ未調査ヲ示シタルモノニシテ前年マテハ其他欄ニ合算シテ又確定判決、時效、親告罪ノ告訴取下ハ公訴不受
理欄ニ合載シタルヲ以テ其ノ儘合セテ之ヲ掲載ス

前表ニ依レハ最モ多數ナルハ起訴猶豫ニシテ之ニ次クハ證據不十分ナリ之ヲ前年ニ比スレハ罪トナラス一割四分八厘心神喪失者十一割五分一厘起訴猶豫九分八厘中止其ノ他一割九分三厘ヲ各増加シ證據不十分八分五厘ヲ減少シタリ而シテ前年マテ掲載セル公訴不受理ハ本年ヨリ之ヲ細別シタルヲ以テ之ニ該當スルモノヲ併セテ比較スレハ一分九厘ヲ増加シタリ

豫ニ付テハ他ノ不起訴ニ係ルモノト同一視スヘキモノニアラス裁判ノ結果有罪トナリタルモノト同一ニ觀察スヘキモノナルニ因リ其ノ犯罪月別、年齢、教育等ニ付テハ一審同様ニ掲載シタリ詳細ハ各表ニ就テ見ルヘシ

有罪犯人ノ全現象ヲ示セハ次表ノ如シ

有罪犯人ノ全現象 (大正七年)

Table with 4 columns: 種別, 犯罪總人員, 刑法犯, 特別法犯. Rows include categories like 裁判所ニ於ケル第一審ノ有罪, 警察ニ於ケル即決有罪, etc.

警察及其ノ他ノ司法警察官ノ取扱ニ係ル釋放人員中特別法犯ニ付テハ法定刑拘留料ニ該當スルモノヲ計上セズ

前表ニ依レハ裁判所及警察ニ於テ處罰シタルモノ六十二萬〇〇四十七人ニシテ犯人ノ百分ノ八十一人ハ處罰セラレ十八人七分ハ處罰セラレサルモノナリ處罰シタルモノト起訴猶豫及釋放ニ係ルモノトニ付テ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ裁判所ニ於テ處罰シタルモノ二十一人八分警察ニ於テ處罰シタルモノ五十九人五分檢事ノ起訴猶豫ニ係ルモノ十五人四分警察ノ釋放ニ係ルモノ三人一分警察以外ノ司法警察官ノ釋放ニ係ルモノ〇人二分ノ割合ナリ之ヲ刑法犯ト特別法犯ニ區別スレハ刑法犯二十四萬六千三百三十六人(三割二分三厘)特別法犯五十一萬六千五百五十六人(六割七分七厘)ニシテ刑法犯ニアリテハ處罰シタルモノ四十七人一分檢事ノ起訴猶豫ニ係ルモノ四十四人八分警察ノ釋放ニ係ルモノ〇人一分ノ割合ナリ又特別法犯ニアリテハ處罰シタ

ルモノ九十七人七分檢事ノ起訴猶豫ニ係ルモノ一人四分警察ノ釋放ニ係ルモノ〇人七分警察以外ノ司法警察官ノ釋放ニ係ルモノ〇人二分ノ割合ニシテ特別法犯ニ於ケル檢事ノ起訴猶豫ハ一審有罪ノ百分ノ十二人五分ナルモ刑法犯ハ百分ノ四十八人八分ニ當ル割合ナリ

檢事ノ取扱ニ係ル起訴猶豫人員

Table with 6 columns: 年度, 起訴猶豫總人員, 男, 女, 初犯者, 前科者. Rows include 大正七年 and 百分比.

起訴猶豫總人員ヲ捜査事件ノ終局總人員四十三萬一千百一十一人(他ニ送致ヲ除ク)ニ比スレハ百分ノ二十七人三分ニシテ不起訴ノ總人員二十五萬六千五百四十三人ニ比スレハ百分ノ四十五人八分ハ起訴猶豫ニ屬スルモノナリ而シテ猶ホ起訴猶豫ニ付テ觀察ノ有無ヲ見ルニ其ノ七割七分七厘ハ觀察ヲ必要トセサルモノナリ

Table with 2 columns: 犯罪種類, 人員數. Rows include 竊盜, 橫領, 賭博.

詐欺	一萬一千八百五十六人
傷害	一萬〇四百十五人
贓物	四千三百三十七人
失火	三千四百七十九人
文書偽造	千七百九十八人
過失傷害	千五百二十六人
住居侵入	八百四十八人
恐喝	六百四十五人
其ノ他比較の多數ナルハ毀棄、脅迫、瀆職、騷擾、墮胎罪等ナリ	
特別法犯ニ付テ多數ナルモノヲ舉クレハ	
森林法	三千四百四十八人
廳府縣令	五百〇四人
古物商取締法	四百〇五人
取引所法	三百五十六人
狩獵法	三百〇一人
漁業法	二百二十二人
度量衡法	二百〇二人
徵兵令	百〇九人
銃砲火藥類取締法	百三十九人
其ノ他比較の多數ナルハ鐵道營業法、清涼飲料水營業取締規則等ナリ	

起訴猶豫ノ取消

年度	摘發取消人員	罪名						
		賭博	竊盜	詐欺	横領	傷害	其他ノ刑法犯	特別法犯
大正七年	1,236	72	654	223	144	49	63	31
百分比	100	5.8	52.9	18.0	11.7	4.0	5.1	2.5

起訴猶豫ノ取消ヲ爲シタルモノ千二百三十六人ニシテ之ヲ本年ノ起訴猶豫人員ニ對スレハ百分ノ一人一分ナリ之ヲ各罪ニ就テ見レハ刑法犯ニアリテハ百分ノ一人一分ニシテ即チ竊盜一人七分 詐欺一人九分 文書偽造、横領、傷害、賭博〇人四分乃至〇人九分ノ割合ニシテ其ノ他ハ舉クルニ足ラス又特別法犯ニアリテハ百分ノ〇人四分ニシテ即チ廳府縣令二人二分 度量衡法二人 古物商取締法一人ノ割合ニシテ其ノ他ハ舉クルニ足ラス之ヲ地方別ニ就テ見レハ最も多數ナルハ京都九十九人ニシテ之ニ次クハ神戸九十八人ナリ其ノ比例ヲ略述スレハ京都百分ノ三人八分神戸一人一分ニシテ大阪、名古屋、安濃津、長崎〇人八分乃至三人四分ナリ又富山ハ取消六十二人ナルモ其ノ割合ハ最も多數ニシテ百分ノ六人ニ當ル割合ナリ其ノ他ハ實數僅少ナルヲ以テ舉ケス

起訴猶豫ノ地方別及犯罪ノ月別、年齢、教育ハ後ニ廳府縣警察及其ノ以外ノ司法警察官ノ釋放ニ係ルモノト併セテ略述スヘシ

廳府縣警察ノ取扱ニ係ル釋放人員

年度	釋放總人員	男	女	初犯者	前科者
大正七年	19,773	15,951	3,822	18,915	858
	特別法犯	3,427	2,966	461	3,237
	計	23,200	18,917	4,283	22,152
	百分比	100	81.5	18.5	95.5

特別法犯ハ法定刑拘留科料ニ該當スルモノヲ除外ス

前表ニ依レハ刑法犯ハ特別法犯ニ比シ多數ノ差アルモ特別法犯ニ付テハ既ニ述ヘタル如ク法定刑拘留科料ニ該當スルモノヲ除外シタルニ因ル若シ警察犯處罰令ノ如キ輕微ナル犯罪ヲ算入スレハ其ノ多數ナルヤ知ルヘキノミ

刑法犯ニ付テ多數ナルモノヲ舉クハ

竊盜 一萬一千三百三十九人

横領 三千〇九十六人

賭博 千六百六十人

詐欺 千二百四十人

傷害 九百〇四人

贓物 四百五十八人

失火 四百五十二人

住居侵入 百五十三人

其ノ他比較の多數ナルハ文書偽造、恐喝、過失傷害罪等ナリ

特別法犯ニ付テ多數ナルモノヲ舉クレハ

森林法 千七百四十八人

廳府縣令 三百八十八人

古物商取締法 二百四十八人

狩獵法 百四十五人

肺結核豫防法 百二十二人

度量衡法 百十九人

漁業法 百十二人

其ノ他比較の多數ナルハ清涼飲料水營業取締規則、飲食用器具取締規則等ナリ

廳府縣警察以外ノ司法警察官ノ取扱ニ係ル釋放人員

年度	釋放總人員	男	女	初犯者	前科者
大正七年	253	242	11	228	25
	特別法犯	1,320	1,267	53	1,267
	計	1,573	1,509	64	1,495
	百分比	100	95.9	4.1	95.0

特別法犯ノ計算ニ付テハ警察ノ釋放ニ同シ

廳府縣警察以外ノ司法警察官ノ釋放ニ係ルモノハ他ノ起訴猶豫及釋放ニ比スレハ其ノ數最も少ナシ起訴猶豫及釋放總人員十四萬二千二百四十五人ニ對スレハ百分ノ一人一分(檢事ノ起訴猶豫八十二人六分廳府縣警察ノ釋放十六人三分)ニ過キス

犯罪ハ重ニ森林法違犯ニシテ八割三分(千三百人)ヲ占メ竊盜一割三分(二百九人)ヲ占メ其ノ他失火、横領罪等ナルモ十人内外ニシテ舉クルニ足ラス

起訴猶豫及釋放ニ付テノ地方別

檢事ノ起訴猶豫ヲ爲シタルモノト廳府縣警察其

起訴猶豫及釋放人員	檢事ノ起訴猶豫	廳府縣警署ノ釋放	廳府縣警署以外ノ司法警察官ノ釋放
19,547	17,378	2,169	—
4,437	3,796	638	3
3,069	1,495	1,574	—
3,824	1,763	2,049	12
2,337	1,761	564	12
1,725	1,476	244	5
1,936	1,448	471	17
2,929	2,180	737	12
2,771	1,224	1,547	—
3,240	2,960	269	11
2,814	1,758	996	60
2,967	2,574	393	—
9,625	9,336	289	—
9,730	8,667	1,030	33
1,876	1,611	265	—
1,109	992	114	3
1,634	1,479	153	2
2,019	1,739	279	1
1,299	1,153	133	13
1,345	1,345	7	33
5,596	4,811	784	1
1,716	1,659	57	—
1,880	1,402	277	1
1,010	921	87	2
1,048	933	115	—
1,182	1,035	142	5
3,329	2,834	433	62
2,066	1,853	213	—
4,890	3,733	1,144	13
2,064	1,330	669	15
1,632	1,272	360	—
3,024	2,460	556	8
2,421	2,092	291	38
927	817	77	33
4,893	4,621	254	18
1,503	1,370	113	20
1,686	1,592	63	31
2,290	1,858	205	227
1,239	990	220	29
428	351	77	—
1,715	1,130	510	75
2,479	1,960	430	89
1,649	1,056	452	141
958	578	340	40
1,854	1,500	238	116
2,104	1,780	209	115
6,129	977	927	32
	1,903		125
	932		42
	1,113		78
460	424	36	—
計	142,245	117,472	23,200

ノ他ノ司法警察官ノ釋放シタル犯人ノ總數ハ既ニ述ヘタル如ク十四萬二千二百四十五人ニシテ檢事ノ起訴猶豫ニ係ルモノ百分ノ三十八人一分警察ノ釋放ニ係ルモノ七人五分其ノ他ノ司法警察官ノ釋放ニ係ルモノ〇人五分ノ割合ナリ而シテ一地方平均二千五百五十四人ニシテ最モ多數ナルハ東京一萬九千五百四十七人ニシテ之ニ次クハ神戸、大阪、名古屋、岡山、福岡ナリ其ノ他平均以上ニ在ルハ横濱、千葉等ノ十地方ナリ又平均以下ナルハ長崎、福島、水戸等ノ三十五地方ニシテ最モ少ナキハ那覇四百二十八人ナリ前記比較ハ單ニ總人員ニ付テノミナルニヨリ人口及犯人ノ多數ナル東京、大阪ノ如キハ從テ多數トナルヘキニヨリ檢事ノ起訴猶豫ノミニ付テ不起訴總人員ニ對スル割合ヲ見ルニ百分ノ五十人以上ナルハ浦和外十一地方ナリ而シテ最モ多數ナルハ浦和外六十六人四分ニシテ之ニ次クハ名古屋五十九人七分ナリ其ノ他千葉、東京、横濱、前橋鳥取五十四人乃至五十七人八分ニシテ大津、徳島、岡山、大阪、奈良五十一人乃至五十二人七分ナリ又百分ノ五十人以下ナルハ三十九地方ニシテ前記多數ナリシ神戸、福岡ノ如キハ此ノ内ニ在リ最モ少ナキハ盛岡二十六人二分ニシテ新潟水戸、熊本、仙臺モ亦比較的少數ナリ起訴猶豫、釋放ノ地方別人員ヲ示セハ次ノ如シ

起訴猶豫及釋放犯人ノ 年齡、教育及犯罪月別

起訴猶豫及釋放ヲ爲シタル犯人ニ付テ一審同様に刑法犯ニ就キ犯人ノ年齡ヲ區別スレハ十四年以上二十年未滿二萬三千六百七十一人 二十五年未滿二萬一千二百六十五人 三十年未滿二萬一千八百三十五人 四十年未滿二萬九千〇九十七人 五十年未滿一萬九千六百二十人 六十年未滿九千二百七十五人 七十年未滿四千二百一十一人 七十年以上千三百七十三人ニシテ最モ多數ナルハ四十年未滿ニシテ之ニ次クハ未成年者ナリ其ノ他ハ三十年未滿、二十五年未滿、五十年未滿、六十年未滿七十年未滿ノ順序ナリ而シテ七十人以上ハ最モ少數ニシテ最多數ノ四十未滿ニ比スレハ二十分ノ一ニ及ハス

又年齡ヲ未成年者(二十年未滿)壯年者(二十年以上四十年未滿)高年者(四十年以上六十年未滿)老年者(六十年以上)ノ四階級ニ區別スレハ未成年者二萬三千六百七十一人 壯年者七萬二千九百九十七人 高年者二萬八千八百九十五人 老年者五千四百九十四人ニシテ壯年者ノ犯罪最モ多數ナリ之ニ次クハ高年者ニシテ未

成年者ハ高年者ヨリ一割八分少ナシ而シテ最モ少ナキハ老年者ナリ之ヲ一審ノ年齡ニ比スルニ略ホ相似タル者ナルモ總テヲ合一シテ研究スヘシ犯罪ノ月ヲ區別スレハ一月一萬二千二百六十七人 二月一萬二千六百七十四人 三月一萬二千七百九人 四月一萬一千五百七十七人 五月一萬〇五百五十八人 六月九千七百六十二人 七月九千九百六十八人 八月一萬〇四百六十六人 九月一萬〇三百七十九人 十月九千八百八十八人 十一月九千二百五十五人 十二月一萬〇七百五十四人ニシテ一ヶ月平均一萬〇八百五十五人ナリ而シテ最モ多數ナルハ三月ニシテ之ニ次クハ二月、一月、四月、ナリ十二月、八月、九月、五月ハ稍ヤ平均人員ニ近ク六月、十月、七月ハ共ニ減少シ十一月ハ最モ少ナシ之ヲ春季(三月ヨリ五月マテ)夏季(六月ヨリ八月マテ)秋季(九月ヨリ十一月マテ)冬季(十二月マテ)ノ四季ニ區別スレハ最モ多數ナルハ冬季ニシテ之ニ次クハ春季ナリ而シテ最モ少ナキハ秋季ニシテ夏季モ亦稍ヤ少ナシ犯罪季節ニ付テハ罪質ニ依リ又ハ年齡トノ關係モアルヘキニヨリ是亦一審ト合一シテ研究スヘシ

犯罪年齡及月別ノ比例ヲ示セハ次表ノ如シ

罪名	起訴猶豫及釋放總人員	年 齡 別				犯 罪 月 別			
		總數百ニ對スル比例				總數百ニ對スル比例			
		未成年者	壯年者	高年者	老年者	春季	夏季	秋季	冬季
皇室ニ對スル罪	3	—	—	67	33	—	100	—	—
公務ノ執行ヲ妨害スル罪	166	3	61	30	6	23	28	33	16
逃走ノ罪	1	—	—	100	—	—	100	—	—
犯人羈押及證憑湮滅ノ罪	40	2	60	33	5	33	15	27	25
騷擾ノ罪	396	19	58	21	2	—	76	24	0
放火ノ罪	20	50	35	—	15	40	20	25	15
失火ノ罪	3,943	12	36	31	21	33	17	16	34
溢水及水利ニ關スル罪	168	5	37	47	11	11	57	23	9
往來ヲ妨害スル罪	130	18	54	24	4	12	20	15	53
住居ヲ侵スル罪	1,002	16	66	16	2	18	35	27	20
秘密ヲ侵スル罪	10	10	70	20	—	20	20	40	20
阿片煙ニ關スル罪	—	—	—	—	—	—	—	—	—
飲料水ニ關スル罪	9	—	67	—	33	11	11	11	67
郵便偽造ノ罪	2	50	—	50	—	—	—	50	50
文書偽造ノ罪	1,898	6	52	36	6	29	22	22	27
有價證券偽造ノ罪	124	8	63	27	2	28	27	24	24
印章偽造ノ罪	196	5	57	29	9	36	18	24	20
偽證ノ罪	87	—	41	46	13	17	25	34	24
誣告ノ罪	158	5	55	32	8	28	28	19	25
猥褻姦淫及重婚ノ罪	85	21	63	15	1	26	32	22	20
賭博及富籤ニ關スル罪	17,957	14	60	23	3	29	17	14	40
禮拜所及墳墓ニ關スル罪	74	11	53	27	9	32	31	16	21
演職ノ罪	423	3	55	34	8	55	12	19	14
殺人ノ罪	42	14	67	12	7	24	45	14	17
傷害ノ罪	11,323	10	67	21	2	26	23	26	20
過失傷害ノ罪	1,576	10	74	10	6	27	25	20	28
墮胎ノ罪	342	14	52	24	16	25	19	28	30
遺棄ノ罪	78	15	69	15	1	26	24	27	23
逮捕及監禁ノ罪	107	13	48	32	7	20	26	13	41
脅迫ノ罪	433	5	51	38	6	22	26	26	26
略取及誘拐ノ罪	53	4	51	39	6	28	25	26	21
名譽ニ對スル罪	81	6	53	32	9	26	36	10	28
信用及業務ニ對スル罪	109	2	54	38	6	3	22	15	26
竊盜ノ罪	50,119	29	50	18	3	26	24	24	26
強盜ノ罪	41	10	59	24	7	2	71	22	5
詐欺及恐喝ノ罪	13,831	11	62	24	3	23	26	24	27
横領ノ罪	19,952	13	56	27	4	25	26	24	25
贓物ニ關スル罪	4,798	8	51	34	7	25	22	26	27
毀棄及隱匿ノ罪	480	10	62	26	2	18	33	29	20
計	130,257	18	58	22	4	26	24	23	27

起訴猶豫及釋放ニ係ル犯人ノ教育程度

年 度	高等教育ヲ受ケタルモノ	中等教育ヲ受ケタルモノ	普通教育ヲ受ケタルモノ	文字ノ讀ミ書キ得ルモノ	全ク教育ナキモノ
大正七年	178	1,945	43,825	40,163	18,058
檢察官ノ起訴猶豫ニ係ルモノ	26	268	5,542	9,038	3,968
警察官ノ釋放ニ係ルモノ	1	3	81	81	55
警察以外ノ司法官ノ釋放ニ係ルモノ	—	—	—	—	—
計	205	2,216	49,448	49,312	22,081
百分比	0.2	1.9	40.0	49.0	17.9

得ルモノナリ全ク教育ナキモノハ第三位ニ在リ中等教育ヲ受ケタルモノハ無教育者ノ約十分ノ一ニシテ普通教育ヲ受ケタルモノハ約二十二分ノ一ナリ而シテ最少數ナルハ高等教育ヲ受ケタルモノニシテ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ高等教育ヲ受ケタルモノ〇人二分中等教育ヲ受ケタルモノ一人八分普通教育ヲ受ケタルモノ四十一人一分文字ノ讀ミ書キ得ルモノ四十人全ク教育ナキモノ十七人九分ニシテ普通教育ヲ受タルモノ、最高ヲ占ムルカ如キハ注目スヘシ以上ノ現象ハ社會關係ニ接觸スル所大ナルヲ以テ是亦一審ノ有罪犯人ト綜合シテ研究スヘシ

前表ニ依レハ最モ多數ナルハ普通教育ヲ受ケタルモノニシテ之ニ次クハ文字ノ讀ミ書キ得ルモノ

豫 審

豫審事件ノ受理、終結、未終結件數ヲ示セハ次表ノ如シ

豫 審 事 件 ノ 件 數

年 度	受 理			終 結				未 終 結
	舊 受	新 受	計	公判ニ付ス	免 訴	管轄違其他	計	
大正七年	608	4,476	5,084	4,157	177	34	4,368	716
大正六年	535	4,948	5,483	4,618	231	26	4,875	608
大正五年	782	5,251	6,033	5,176	286	26	5,498	535
大正四年	627	6,324	6,951	5,872	286	34	6,277	759
大正三年	635	6,269	6,904	5,946	290	41	6,277	627
大正二年	929	7,735	8,664	7,542	456	31	8,029	635
大正元年	943	9,326	10,269	8,747	450	43	9,340	929
明治四十四年	1,041	10,317	11,358	9,679	655	82	10,416	942
明治四十三年	1,126	10,518	11,644	9,718	819	66	10,603	1,041
明治四十二年	920	11,202	12,122	10,012	895	82	10,989	1,133

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受一割三分六厘増加シ新受九分五厘總件數七分三厘ヲ各減少シ終結シタルモノ一割〇四厘ヲ減少シ終結セサルモノ一割七分八厘ヲ増加シタリ又終結シタルモノニ付テハ公判ニ付スルモノ一割免訴シ

タルモノ二割三分四厘ヲ各減少シ管轄違消滅其ノ他ノモノ三割〇八厘ヲ増加シタリ公判ニ付シタルモノト免訴シタルモノノ總數百ニ對スル最近五年間ノ地方別比例ヲ列舉スレハ次表ノ如シ

地方裁判所	大正七年		大正六年		大正五年		大正四年		大正三年		五ヶ年平均			
	公判ニ付ス	免訴	公判ニ付ス	免訴	公判ニ付ス	免訴	公判ニ付ス	免訴	公判ニ付ス	免訴	公判ニ付ス	免訴		
東横浦千水字静甲長新	京濱	96.4	3.6	94.1	5.9	96.2	3.8	96.1	3.9	96.0	4.0	95.8	4.2	
	濱和栗戸	91.7	8.3	92.5	7.5	92.8	7.2	96.3	3.7	93.2	6.8	93.3	6.7	
	千水	97.2	2.8	93.4	6.6	96.4	3.6	93.7	6.3	96.8	3.2	95.5	4.5	
	字	96.8	3.2	96.2	3.8	94.1	5.9	96.6	3.4	93.4	6.6	95.4	4.6	
	静	73.7	6.3	94.3	5.7	90.9	9.1	92.1	7.9	93.1	6.9	92.8	7.2	
	甲	89.9	10.1	96.2	3.8	98.7	1.3	96.1	3.9	100.0	0.0	96.2	3.8	
	長	96.9	3.1	92.4	7.6	90.8	9.2	96.1	3.9	95.7	4.3	94.4	5.6	
	新	92.5	7.5	92.8	7.2	95.8	4.2	91.9	8.1	96.5	3.5	93.9	6.1	
		90.9	9.1	94.8	5.2	94.9	5.1	98.1	1.9	98.8	1.2	95.5	4.5	
		95.1	4.9	96.3	3.7	91.4	8.6	97.0	3.0	95.2	4.8	95.0	5.0	
	96.5	3.5	97.5	2.5	89.4	10.6	92.6	7.4	95.6	4.4	94.3	5.7		
京大神奈大和徳高	都	93.8	6.2	98.4	1.6	98.7	1.3	95.5	4.5	90.9	9.1	95.5	4.5	
	阪	98.8	1.2	98.3	1.7	100.0	0.0	97.4	2.6	95.3	4.7	98.0	2.0	
	奈	100.0	—	97.7	2.3	92.3	7.7	98.2	1.8	98.4	1.6	97.3	2.7	
	大	97.1	2.9	100.0	—	97.2	2.8	95.1	4.9	96.8	3.2	97.2	2.8	
	和	94.1	5.9	100.0	—	100.0	0.0	100.0	0.0	91.7	8.3	97.2	2.8	
	徳	97.1	2.9	100.0	—	97.0	3.0	94.1	5.9	98.6	1.4	97.4	2.6	
	高	95.6	4.4	94.9	5.1	96.1	3.9	97.0	3.0	94.3	5.7	95.6	4.4	
		97.0	3.0	90.3	9.7	100.0	0.0	97.9	2.1	98.8	1.2	96.8	3.2	
		100.0	—	100.0	—	100.0	0.0	98.2	1.8	96.4	3.6	98.9	1.1	
		95.8	4.2	93.8	6.2	91.8	8.2	94.9	5.1	96.5	3.5	94.6	5.4	
名安岐福金富	古	100.0	—	86.4	13.6	92.2	7.8	96.2	3.8	98.4	1.6	94.6	5.4	
	津	94.3	5.7	94.1	5.9	96.0	4.0	97.1	2.9	91.3	8.7	94.6	5.4	
	福	100.0	—	95.0	5.0	91.8	8.2	94.1	5.9	96.0	4.0	95.4	4.6	
	金	96.0	4.0	96.6	3.4	97.1	2.9	98.1	1.9	96.7	3.3	96.9	3.1	
	富	97.3	2.7	92.5	7.5	95.7	4.3	97.7	2.3	98.1	1.9	96.3	3.7	
	廣山岡島松	島	96.1	3.9	95.7	4.3	97.0	3.0	97.8	2.2	96.3	3.7	96.6	3.4
		山	95.5	4.5	93.4	6.6	94.3	5.7	90.1	9.9	89.9	10.1	92.6	7.4
		岡	95.5	4.5	96.6	3.4	93.6	6.4	90.7	9.3	93.8	6.2	94.0	6.0
		島	96.3	3.7	91.3	8.7	93.2	6.8	96.3	3.7	93.6	6.4	94.1	5.9
		松	100.0	—	95.8	4.2	95.3	4.7	89.7	10.3	93.9	6.1	94.9	5.1
		97.2	2.8	94.1	5.9	93.3	6.7	94.2	5.8	97.1	2.9	95.2	4.8	
長佐福大熊鹿宮那		崎	90.7	9.3	95.4	4.6	91.7	8.3	94.8	5.2	93.1	6.9	93.1	6.9
		賀	98.1	1.5	98.5	1.5	95.2	4.8	95.5	4.5	100.0	0.0	97.5	2.5
		福	96.9	3.1	97.8	2.2	96.0	4.0	98.5	1.5	98.3	1.7	97.5	2.5
		大	97.9	2.1	98.4	1.6	94.8	5.2	95.1	4.9	95.3	4.7	96.3	3.7
	熊	97.9	2.1	97.9	2.1	97.5	2.5	99.0	1.0	97.6	2.4	97.8	2.2	
	鹿	100.0	—	93.2	6.8	95.5	4.5	92.0	8.0	88.5	11.5	93.8	6.2	
	宮	97.2	2.8	85.7	14.3	90.8	9.2	90.6	9.4	95.4	4.6	91.9	8.1	
	那	98.3	1.7	98.3	1.7	100.0	0.0	97.2	2.8	96.2	3.8	98.0	2.0	
	仙福山盛秋青	臺	92.9	7.1	98.6	1.4	96.4	3.6	96.8	3.2	92.1	7.9	95.4	4.6
		島	92.4	7.6	98.9	1.1	94.7	5.3	95.5	4.5	93.4	6.6	94.6	5.4
山		94.0	6.0	93.3	6.7	87.4	12.6	92.8	7.2	90.7	9.3	91.6	8.4	
盛		98.1	1.9	98.7	1.3	97.8	2.2	96.4	3.6	98.3	1.7	97.9	2.1	
秋		93.3	6.7	95.0	5.0	95.7	4.3	91.9	8.1	94.3	5.7	94.0	6.0	
青		95.7	4.3	94.3	5.7	94.7	5.3	96.6	3.4	94.9	5.1	95.2	4.8	
函札旭鋼樺		館	95.7	4.3	94.4	5.6	98.4	1.6	98.0	2.0	100.0	0.0	97.3	2.7
		崎	97.9	2.1	97.1	2.9	95.4	4.6	94.4	5.6	96.6	3.4	96.3	3.7
		川	94.7	5.3	94.2	5.8	100.0	0.0	—	—	—	—	96.3	3.7
		路	98.6	1.4	97.3	2.7	96.3	3.7	98.6	1.4	95.3	4.7	97.2	2.8
	太	88.0	12.0	97.3	2.7	93.1	6.9	100.0	0.0	92.0	8.0	94.1	5.9	
	平	95.9	4.1	95.2	4.8	94.8	5.2	95.4	4.6	95.3	4.7	95.3	4.7	

前表ニ依レハ大正七年ノ平均ハ公判ニ付シタルモノ九十五件九分免訴シタルモノ四件一分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ公判ニ付シタルモノ〇件七分ヲ増加シ免訴ハ之ニ反シ〇件七分ヲ減少シタリ

免訴ノ平均ハ大正五年ニ聊カ増加ヲ示シタルノミニシテ概シテ減少ノ傾向ニアリ然レトモ各應別ニ見レハ免訴ノ割合減少セザル地方アリ平均ヨリ三件以上多數ナルモノヲ擧クレハ

樺太十二件 宇都宮十件一分 長崎九件三分
甲府九件一分 横濱八件三分 福島七件六分
静岡七件五分 仙臺七件一分

ニシテ其ノ他比較の多數ナルハ
秋田六件七分 水戸六件三分 京都六件二分
山形六件 大津五件九分 岐阜五件七分
旭川五件三分

ナリ之ニ反シ公判ニ付シタルモノノ割合多數ニシテ平均以上ニアルハ二十七地方ニシテ神戸、高知、安濃津、福井、松江、鹿児島ハ全部公判ニ付シタルモノニシテ免訴シタルモノ無シ

猶ホ之ヲ五年平均ニ付テ見ルニ免訴比例ハ四件七分ニシテ割合ノ最モ少ナキハ高知ナリ大阪、那覇、盛岡、熊本、福岡、佐賀ハ二件乃至二件五分ニ過キス和歌山、函館、神戸、大津、奈良、釧路ハ二件六分乃至二件八分ニシテ千葉、浦和、仙臺、福井、京都、甲府、東京ハ比較の多數ナルモ猶ホ平均ヨリ少ナシ之ニ反シ平

均以上ニアルハ二十二地方ニシテ其ノ割合多數ナルハ山形、宮崎、山口、水戸、長崎、横濱、鹿児島、静岡、岡山、秋田六件乃至八件四分島取、樺太、新潟、前橋、名古屋、安濃津、岐阜、福島、松江、長野五件乃至五件九分ニシテ松山、青森モ亦免訴ノ割合ハ平均ヨリ多數ナリ

豫審事件ノ趨勢ハ大正四年ニ少許ノ増加アリタルノミニテ其ノ他ハ逐年減少シ前年ハ議員選挙違犯アリ又本年ハ騒擾事件ノアリシニ拘ラス猶ホ減少ノ傾向ヲ持スルハ検事ノ捜査事件ノ説明ニ聊カ述ヘタルカ如ク一般ニ起訴件數ノ減少シツツアルニモ因ルヘシ

豫審終結被告人ニ付テ終結區分ヲ示セハ次表ノ如シ

豫審終結被告人人員

年	度	終結總被告人人員	公判ニ付ス	免訴	管轄違其他
大正	七年	12,573	11,923	607	43
大正	六年	12,062	11,444	613	5
大正	五年	9,836	9,072	757	7
大正	四年	14,463	13,551	904	8
大正	三年	10,648	9,793	850	5

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ終結總人員ニ付テハ四分三厘ノ増加ニシテ公判ニ付シタルモノ四分二厘増加シ免訴シタルモノ一分ヲ減少シ其ノ他ハ七十六割ノ増加ナルモ實數ハ五人ニ對スル三十八人ノ増加ニシテ其ノ割合多數ナルモ實數ハ僅少ナルモノナリ

免訴人員ニ付テ其ノ理由區別ヲ示セハ次ノ如シ

豫審免訴理由区分

年 度	免訴人員	免 訴 理 由						
		罪トナラス	心神喪失者	證據不十分	親告罪取下	時効	確定判決ノ除外	起訴不合法
大正七年	607	21	19	520	27	14	3	3
大正六年	613	3	26	526	29	2	—	27
大正五年	757	6	23	686	28	—	—	11
大正四年	904	10	41	790	62	4	—	20
大正三年	850	21	22	719	55	1	—	30

時効確定判決等ハ本年ハ之ヲ區別シタルモ前年マテハ法律ニ於テ其ノ罪ヲ全免スノ欄ニ掲載シタルヲ以テ其ノ儘併セテ掲載ス

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ心神喪失者二割六分九厘證據不十分一分一厘親告罪ニ係ル告訴拋棄、取下六分九厘ヲ各減少シ罪トナラスハ三倍ニ増加シ起訴ノ不合法ハ前年無カリシモ本年ハ三人アリ其ノ他ハ併セテ三割一分四厘ヲ減少シタリ

終結總人員百ニ對スル免訴、公判、其ノ他ノ割合ヲ舉クレハ公判九十四人八分免訴四人八分其ノ他〇人四分ノ割合ニシテ免訴人員ハ最モ多數ナル年ニ於テ猶ホ百分ノ十人ヲ出テス而シテ免訴中ノ大部分ハ證據不十分ニシテ免訴總人員中百分ノ八十五人七分ヲ占メ之ニ次クハ親告罪ニ係ル告訴拋棄、取下及罪トナラス等ナルモ其ノ割合ハ百分ノ五人未滿ナリ

豫審終結被告人ノ所遇

豫審終結被告人一萬二千三百八十二人ニシテ前年ニ比スレハ三分八厘ヲ増加シ勾留シタルモノ

一萬〇四百七十七人勾留セサルモノ千九百六十五人ニシテ勾留人員ハ前年ニ比スレハ一割七分六厘ヲ増加シタリ勾留ト不勾留ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ勾留シタルモノ八十四人一分勾留セサルモノ十五人九分ニシテ前年ニ比スレハ勾留シタルモノ九人八分ヲ増加シ勾留セサルモノハ之ニ反シ九人八分ヲ減少シタリ

勾留期間ヲ區別スレハ十五日以内千三百五十九人 一月以内千九百〇七人 二月以内三千六百十三人 三月以内千七百八十五人 六月以内千四百九十四人 一年以内二百七十七人 一年以上四十二人ニシテ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ十五日以内十三人一分 一月以内十八人三分 二月以内三十四人七分 三月以内十七人一分 六月以内十四人三分 一年以内二人一分 一年以上〇人四分ニシテ前年ニ比スレハ一月以内百分ノ二十八人一分ヲ減少シ二月以内ヨリ以上ハ全部増加シタリ

勾留シタルモノノ内責付シタルモノ千三百〇六人 保釋シタルモノ二千三百〇六人 保釋請求ヲ棄却シタルモノ二千〇七十九人ニシテ前年ニ比スレハ責付シタルモノ七分九厘保釋シタルモノ一割五分二厘ヲ各減少シ保釋請求ヲ棄却シタルモノ八割三分五厘ヲ増加シタリ 保釋ニ付テハ許可シタルモノ五割二分七厘請求ヲ棄却シタルモノ四割七分三厘ノ割合ニシテ前年ニ比スレハ許可シタルモノ一割八分三厘減少

シ棄却ハ之ニ反シ一割八分三厘ヲ増加シタリ 勾留人員ニ付テ責付シタルモノト保釋シタルモノト保釋請求ヲ棄却シタルモノトニ區別シ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ責付十二人五分保釋二十二一分保釋請求棄却十九人九分保釋請求ナキモノ四十五人五分ニシテ前年ノ比例ニ比較スレハ責付三人五分保釋八人六分ヲ各減少シ保

釋請求棄却六人二分保釋請求ナキモノ五人九分ヲ各増加シタリ 保釋取消九人責付取消一人ニシテ前年ニ比スレハ保釋取消五人増加シ責付取消一人減少シ保釋取消ハ保釋千人ニ付テ三人九分責付取消ハ〇人八分ノ割合ニシテ前年ニ比スレハ保釋取消二人四分増加シ責付取消〇人六分ヲ減少シタリ

第一 審

第一審裁判事件ノ總件數及總被告人員

通常第一審事件、略式手續法第三條第六條ニ依ル通常裁判事件、略式命令ニ對スル正式裁判事件、警察署ノ即決ニ對スル正式裁判事件、略式手續ニ依ル事件ノ總件數ヲ示セハ次表ノ如シ

第一審裁判事件ノ總件數

事 件	受 理			終 局				未 終 局	
	舊 受	新 受	計	有 罪	無罪免訴	消滅其他	計		
通常第一審事件	大正七年	5,770	44,627	50,397	43,959	663	110	44,732	5,665
	大正六年	6,107	48,723	54,830	47,732	787	101	48,620	6,210
略式手續法第三條第六條ニ依ル通常裁判事件	大正七年	206	1,959	2,165	1,863	177	13	2,053	112
	大正六年	134	2,884	3,018	2,598	254	15	2,867	151
略式命令ニ對スル正式裁判事件	大正七年	65	868	933	831	67	3	901	32
	大正六年	40	1,020	1,060	937	58	2	997	63
警察署ノ即決ニ對スル正式裁判事件	大正七年	61	726	787	474	233	14	721	66
	大正六年	54	851	905	618	204	22	844	61
略 式 事 件	大正七年	1,096	57,343	58,439	57,102	—	5	57,107	1,332
	大正六年	858	57,015	57,873	56,822	—	11	56,833	1,040
合 計	大正七年	7,198	105,523	112,721	104,229	1,140	145	105,514	7,207
	大正六年	7,193	110,493	117,686	108,707	1,303	151	110,161	7,525
比 較	增	5	—	—	—	—	—	—	—
	減	—	4,970	4,965	4,478	163	6	4,847	318

前年ノ未終局件數ト翌年ノ舊受件數ト符合セサルハ前年未終局ニ誤謬アリシニ因ル 略式手續ニ依ル事件ハ略式請求ニ係ル全部ヲ計上スルトキハ通常事件ト重複スルニヨリ命令ノ確定シタルモノト消滅ニ係ルモノ及ヒ審理中ニ係ルモノノミヲ計上シタリ略式全部ニ付テハ別頁ヲ参照スヘシ

前表=依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受事件ハ僅カニ五件ヲ増加シタルノミニシテ新受事件ハ約五千件ヲ減少シタリ其ノ割合ヲ示セハ舊受ハ厘位未滿ノ増加ニシテ新受四分五厘總件數ニ於テ四分二厘ヲ各減少シ終局シタルモノト終局セサルモノハ四分二厘ヲ各減少シタリ

終局シタルモノノ内有罪四分一厘無罪免訴一割二分六厘消滅其ノ他ノモノ三分三厘ヲ各減少シタリ

終局事件ニ付テ審理期間ヲ區別スレハ十五日以内八萬三千八百五十四件 一月以内一萬三千九百八十二件 二月以内五千三百七十一件 三月以内四千二百七十八件 六月以内八百一十件 六月以上二百二十八件ニシテ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ十五日以内七十九件五分 一月以内十三件二分 二月以内五件一分 三月以内一件二分 六月以内〇件八分 六月以上〇件二分ニシテ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ十五日以内〇件七分ヲ増加シ一月以内〇件二分二月以内〇件四分三月以内〇件一分ヲ各減少シ六月以内及六月以上ハ前年ト同一ナリ

第一審裁判事件ノ趨勢ハ最近十年間ニ於テハ明治四十二年以來漸次増加シ明治四十四年ハ十一萬九千四百五十二件ニ上リ最高ノ數ヲ示シ大正元年ヨリ漸次減少シ大正四年ハ十萬二千八百十九件ニ下リ最低ノ數ヲ示シ大正五年、六年ハ又増加シタルモ大正七年ハ再ヒ減少シタリ而シテ

前記件數中ニハ年ニ因リ特殊事件アル爲ニ様ナラスト雖モ最高ノ明治四十四年及最低ノ大正四年ヲ明治四十二年ニ比スレハ最高ハ五分二厘ノ増加ニシテ最低ハ九分四厘ノ減少ナリ又大正七年ノ件數ヲ明治四十二年即チ十年前ニ比スレハ七分一厘ヲ減少シタリ

最近十年間ノ新受件數ヲ示セハ次ノ如シ
 大正七年 十萬五千五百二十三件
 〇同 六年 十一萬〇四百九十三件
 同 五年 十萬五千四百五十件
 〇同 四年 十萬二千八百十九件
 同 三年 十萬二千九百〇九件
 同 二年 十一萬〇七百〇八件
 〇同 元年 十一萬六千七百七十六件
 △明治四十四年 十一萬九千四百五十二件
 同 四十三年 十一萬二千九百六十四件
 同 四十二年 十一萬三千五百三十二件

前記年別ノ上ニ〇印ヲ附シタルハ特殊ナル衆議院議員選舉法違犯事件△印ヲ附シタルハ府縣會議員選舉違犯事件多數ナリシニヨリ之ヲ平年ト同視スルハ適當ニアラサルヘシ

前記件數ニ對スル被告總人員十七萬九千六百七十九人内男十六萬五千八百四十二人女一萬三千八百三十七人ニシテ前年ニ比スレハ男一割二分七厘女四分七厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ一割二分二厘ヲ減少シタリ又男女ノ總數百ニ對スル比例ハ男九十二人三分女七人七分ニシテ之ヲ前

年ニ比スレハ男〇人六分ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇人六分ヲ減少シタリ

終局被告人ニ付テ有罪無罪其ノ他ヲ區別スレハ有罪十六萬六千三百七十一人(死刑四十人、懲役四萬七千八百五十二人、禁錮三百五十五人、罰金九萬七千七百五十九人、拘留三百九十一人、科料二萬〇〇十四人)無罪免訴二千〇七十二人消滅其ノ他二百三十二人ニシテ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ有罪九十八人六分、無罪免訴一人二分消滅其ノ他〇人二分ノ割合ナリ
 以上ノ總件數及總人員ヲ刑法犯ト特別法犯ニ區別スレハ次ノ如シ

刑法犯ニ係ルモノ舊受五千七百六十五件新受六萬一千四百五十四件合計六萬七千二百十九件ニシテ第一審事件全部ノ六割ヲ占メ終局シタルモノ六萬一千五百十四件終局セサルモノ五千七百〇五件ナリ之ヲ前年ニ比スレハ舊受二分八厘ヲ減少シ新受一分三厘ヲ増加シ合計件數ニ付テハ一分ヲ増加シタリ又終局シタルモノハ一分五厘ノ増加ニシテ終局セサルモノハ四分六厘ヲ減少シタリ

刑法犯ノ被告總人員十二萬六千四百十六人内男十一萬七千二百九十四人(九割二分七厘)女九千二百二十二(七分二厘)ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男七分二厘ヲ増加シ女一分ヲ減少シ總人員ニ付テハ六分五厘ヲ増加シ男女ノ比例ニ付テハ男〇分五厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分五厘ヲ

減少シタリ

終局被告人ニ付テ有罪無罪其ノ他ヲ區別スレハ有罪十一萬五千六百九十三人 無罪免訴千三百八十三人 消滅其ノ他百八十五人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ有罪六分一厘増加シ無罪免訴〇分六厘減少シ消滅其ノ他二割四分一厘増加シタリ
 特別法犯ニ係ルモノ舊受千四百三十三件新受四萬四千〇六十九件合計四萬五千五百〇二件ニシテ第一審事件全部ノ四割ヲ占メ終局シタルモノ四萬四千件終局セサルモノ千五百〇二件ナリ之ヲ前年ニ比スレハ舊受一割三分三厘ヲ増加シ新受一割一分六厘ヲ減少シ合計件數ニ付テハ一割〇八厘ヲ減少シ終局シタルモノ一割一分二厘終局セサルモノ二分八厘ヲ各減少シタリ

特別法犯ノ被告總人員五萬三千二百六十三人内男四萬八千五百四十八人(九割一分一厘)女四千七百十五人(八分九厘)ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男三割九分八厘女一割一分三厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ三割八分ヲ減少シ男女ノ比例ニ付テハ男二分七厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ二分七厘ヲ減少シタリ

終局被告人ニ付テ有罪無罪其ノ他ヲ區別スレハ有罪五萬〇六百七十八人 無罪免訴六百八十九人 消滅其ノ他四十七人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ有罪三割八分七厘無罪免訴四割四分三厘消滅其ノ他五割ヲ各減少シタリ

以上第一審事件ヲ通常第一審、略式手續法第三

條第六條ニ依ル通常裁判、略式命令ニ對スル正式裁判、違警罪即決ニ對スル正式裁判、略式手續法ニ依ル事件トニ區別スレハ次ノ如シ

通常第一審事件

通常第一審事件ノ件數ヲ示セハ次ノ如シ

通常第一審事件ノ件數

Table with columns: 年度, 受理 (總件數, 有罪, 無罪免訴, 消滅其他), 終局 (計), 未終局. Rows for years 大正七年 to 大正三年.

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ受理總件數八分一厘ヲ減少シ又終局シタルモノハ八分終局セサルモノハ八分八厘ヲ各減少シタリ

受理件數中舊受五千七百七十件新受四萬四千六百二十七件ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ舊受五分五厘新受八分四厘ヲ各減少シタリ

通常第一審事件ハ大正三年以降年々減少シ大正二年ニ比スレハ半數以下ニ減少シタリ此ノ如ク減少シタルハ略式手續ニ依リ終了スルモノ年々増加スルニ因ルモノナリ

通常第一審事件ノ被告總人員七萬七千七百十四人内男七萬三千九百九十六人(九割五分二厘)女三千七百十八人(四分八厘)ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男九分九厘女一割五分五厘ヲ各減少

シ總人員ニ付テハ一割〇二厘ヲ減少シ男女ノ割合ニ付テハ男〇分三厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分三厘ヲ減少シタリ

終局被告人ニ付テ有罪無罪其ノ他ヲ區別スレハ有罪六萬七千五百五十六人、無罪免訴千四百五十一人、消滅其ノ他百九十人ニシテ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ有罪九十七人六分、無罪免訴二人一分、消滅其ノ他〇人三分ノ割合ナリ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ無罪免訴〇人一分減少シ消滅其ノ他〇人一分ヲ増加シ有罪ハ同一割合ナリ

以上ノ件數人員ヲ刑法犯ト特別法犯ニ區別スレハ次ノ如シ

刑法犯ニ係ル舊受五千二百八十二件新受三萬九千八百四十七件合計四萬五千二百二十八件ニシテ通常第一審事件中ノ九割ヲ占ム之ヲ前年ニ比スレハ舊受五分七厘新受五分八厘總件數ニ付テ五分八厘ヲ各減少シ刑法犯ト特別法犯トノ割合ニ付テハ刑法犯ハ三分ヲ増加シ特別法犯ハ之ニ反シ三分ヲ減少シタリ

終局事件ニ付テ受理區別ヲ舉クレハ檢事ノ請求三萬五千八百九十一件豫審判事ノ決定四千〇二十九件裁判所ノ決定ニ因ルモノ五件ニシテ其ノ割合ハ檢事ノ請求八割九分九厘豫審判事ノ決定一割〇一厘裁判所ノ決定ニ因ルモノ厘位未滿ニシテ總テ前年ト同一割合ナリ

檢事ノ請求ト豫審判事ノ決定ニ付テ各總數百ニ對スル有罪、無罪免訴ノ比例ヲ各地方ニ區別シ最近三年間ヲ示セハ次表ノ如シ

Large table showing statistics for various locations (e.g., 東京, 大阪, 京都) across years 大正七年, 大正六年, 大正五年. Columns include 地方裁判所, 檢事ノ請求 (有罪, 無罪免訴), 豫審判事ノ決定 (有罪, 無罪免訴).

前表=依レハ大正七年ニ於テハ検事ノ直チニ公判ヲ求メタルモノノ平均比例ハ有罪九十八件八分無罪免訴一件二分ニシテ前年ノ比例ト同一ナリ之ヲ大正五年ニ比スレハ有罪二分ヲ減少シ無罪免訴ハ之ニ反シ二分ヲ増加シタリ

有罪ノ割合ニ付テ各地方別ニ比較スレハ奈良、高松、高知、廣島、佐賀ハ全部有罪ニシテ無罪免訴ノモノ無ク横濱、前橋、岡山ハ平均ト同一ナリ其ノ他平均ヨリ増加シタルハ十八地方ニシテ京都、和歌山各一件大阪、神戸、名古屋、大津、那覇、仙臺、静岡、徳島、鳥取ハ五分乃至九分松山外六地方ハ一分乃至三分ヲ増加シタリ

又有罪ノ割合減少シタルハ二十五地方ニシテ秋田三件二分青森二件八分旭川二件宮崎一件九分盛岡、松江、富山、山形、宇都宮、新潟、樺太、金澤一件乃至一件九分福井、福島、釧路、大分長崎、千葉、甲府、熊本、水戸、浦和五分乃至九分鹿兒島、安濃津、山口三分乃至四分ヲ各減少シタリ

豫審判事ノ決定ニ因ルモノノ平均比例ハ有罪九十六件九分無罪免訴三件一分ニシテ前年ニ比スレハ有罪一人一分ヲ増加シ無罪免訴ハ之ニ反シ一人一分ヲ減少シタリ

有罪ノ割合ニ付テ各地方別ニ比較スレハ甲府、京都、神戸、奈良、大津、和歌山、徳島、高知、名古屋、安濃津、廣島、佐賀、熊本、樺太ハ全

部有罪ニシテ無罪免訴ノモノ無ク前橋ハ平均ト同一ナリ其ノ他平均ヨリ増加シタルハ十一地方ニシテ大阪二件五分浦和二件二分福島二件一分福岡二件鹿兒島、旭川、盛岡、千葉一件乃至一件七分秋田、岡山、新潟二分乃至九分ヲ各増加シタリ

又有罪ノ割合減少セルハ二十五地方ニシテ富山六件二分金澤六件静岡四件九分岐阜四件六分宮崎、大分各三件六分福井、松江各三件四分長崎三件釧路、仙臺、山形、鳥取、長野、松山、水戸一件六分乃至二件九分宇都宮、山口、青森、高松、那覇、東京、横濱、函館、札幌一分乃至八分ヲ各減少シタリ

刑法犯ニ係ル被告人員七萬〇六百二十九人内男六萬七千〇二十五人(九割四分九厘)女三千六百〇四人(五分一厘)ニシテ通常第一審事件中ノ九割〇九厘ヲ占ム之ヲ前年ニ比スレハ男四分四厘女一割六分三厘總人員ニ付テ一割四分ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男〇分九厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分九厘ヲ減少シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ

死刑	三十九人
無期懲役	八十六人
有期懲役	四萬六千六百十人
有期禁錮	百二十二人
罰金	一萬三千八百八十一人
拘留	三人

科料	五百六十一人
以上有罪計	六萬一千三百〇二人
無罪免訴	千二百四十五人
管轄違、公訴不受理	百十一人
消滅其ノ他	六十四人

之ヲ前年ニ比スレハ有罪一分五厘ヲ減少シ(死刑四割一分減 無期懲役一割二分二厘減 有期懲役〇分九厘増 有期禁錮五割二分五厘増 罰金八分一厘減 科料二割三分五厘減 拘留前年ト同一)無罪免訴四分五厘管轄違、公訴不受理三割八分八厘消滅其ノ他四割八分八厘ヲ各増加シタリ

又有罪ト無罪免訴ノ總數百ニ對スル比例ハ有罪九十八人無罪免訴二人ノ割合ナリ

特別法犯ニ係ル舊受四百八十九件新受四千七百八十件合計五千二百六十九件ニシテ通常第一審事件中ノ一割ヲ占ム之ヲ前年ニ比スレハ舊受三分六厘新受二割五分八厘總件數ニ付テ二割四分二厘ヲ各減少シタリ

終局事件ニ付テ受理區別ヲ舉クレハ検事ヨリ直ニ公判ヲ求メタルモノ四千七百〇八件豫審判事ノ決定九十七件裁判所ノ決定九十七件ニシテ其割合ハ検事ヨリ直チニ公判ヲ求メタルモノ九割八分豫審判事ノ決定二分裁判所ノ決定厘位未滿ナリ刑法犯ニ付テハ既ニ述ヘタル如ク豫審判事ノ決定一割ナルニ特別法犯ニ付テハ前記ノ如ク少數ナルハ犯罪ノ多クハ輕罪ナルノミナラス

犯罪事實ノ豫審ヲ要スルモノ少ナキニ因ルヘシ検事ノ請求ト豫審判事ノ決定トニ付テ各總數百ニ對スル有罪無罪ノ比例ヲ舉クレハ検事ノ請求ニ付テハ有罪九十七件八分無罪免訴二件二分ニシテ前年ニ比スレハ無罪免訴〇件一分ヲ減少シ豫審判事ノ決定ニ付テハ有罪九十六件九分無罪免訴三件一分ニシテ前年ニ比スレハ無罪免訴一件一分ヲ減少シタリ

特別法犯ニ係ル被告人員七千〇八十五人内男六千九百七十一人(九割八分四厘)女百十四人(一分六厘)ニシテ通常第一審事件中ノ九分一厘ヲ占ム之ヲ前年ニ比スレハ男五割五分一厘女三割三分七厘總人員ニ付テ五割五分ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男〇分五厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分五厘ヲ減少シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ

死刑	一人
有期懲役	千〇九十八人
有期禁錮	百九十一人
罰金	三千九百十九人
拘留	百十三人
科料	九百三十二人
以上有罪計	一萬四千四百人
無罪免訴	二百〇六人
管轄違、公訴不受理	十三人
消滅	二人

之ヲ前年ニ比スレハ有罪五割六分六厘ヲ減少シ

(死刑前年ト同一 無期懲役前年二人アリシモ
 本年無之有期懲役四分五厘増 有期禁錮八割九
 分八厘減罰金六割一分八厘減 拘留六分六厘減
 科料一割四分七厘減) 無罪免訴六割二分八厘管
 轄違、公訴不受理二割七分八厘 消滅九割二分
 三厘ヲ各減少シタリ

又有罪ト無罪免訴ノ總數百ニ對スル比例ハ有罪
 九十八人六分無罪免訴一人四分ノ割合ナリ

前記比較中有期禁錮ト罰金刑ノ多數ニ減少シタ
 ルハ前年ハ衆議院議員選舉法違犯ニ係ルモノ約
 八千人府縣都市町村會議員選舉違犯ニ係ルモノ
 約三千九百人ナリシニ本年ハ是等ノモノ約千人
 餘ニ過キサルヲ以テ其ノ差既ニ九割以上ノ減少
 ナルニヨリ從テ前記ノ如ク減少スヘシ通常一審
 特別法犯ノ總人員モ亦前記ノ如ク前年ヨリ五割
 五分ヲ減少シタルハ之ニ因ルヘシ而シテ又大正
 六年ト同七年ノ特別法犯ニ付テ議員選舉違犯ヲ
 除キタルモノヲ以テ比較スレハ通常裁判ニ依リ
 タルモノ六分一厘減少シ略式手續ニ依リタルモ
 ノ〇分六厘ヲ増加シ結局全體ノ總人員ニ付テハ
 〇分七厘ノ減少ニ過キサルモノノ如シ

略式手續法第三條第
 六條ニ依ル通常裁判

略式命令ヲ爲スヲ得ヌ又ハ之ヲ爲スヲ相當トセ
 サルモノ及命令ノ豫告ニ對スル異議申出ニヨリ
 通常裁判ノ規定ニ依リタルモノ次ノ如シ

略式手續法第三條第六條ニ
 依ル通常裁判事件ノ件數

年 度	受 理			終 局			未終局
	舊受	新受	計	有罪	無罪免訴	消滅其他	
大正七年	206	1,959	2,165	1,863	177	13	2,053
大正六年	134	2,884	3,018	2,598	254	15	2,867
大正五年	164	2,525	2,689	2,369	196	6	2,571
大正四年	137	2,841	2,978	2,578	215	18	2,811
大正三年	62	2,194	1,957	1,957	151	11	2,117

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受五割三
 分七厘ヲ増加シ新受三割二分一厘ヲ減少シ總件
 數ニ付テハ二割八分三厘ヲ減少シタリ又終局シ
 タルモノ二割八分四厘終局セサルモノ二割五分
 八厘ヲ各減少シタリ

新受件數中路式命令ヲ爲スヲ得ヌ又ハ之ヲ爲ス
 ヲ相當トセサルモノ五百五十八件、命令ノ豫告
 ニ對シ異議申出ヲ爲シタルモノ千四百〇一件ニ
 シテ之ヲ前年ニ比スレハ命令ヲ爲スヲ得ヌ又ハ
 之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ二割二分八厘命令
 ノ豫告ニ對シ異議申出ヲ爲シタルモノ三割五分
 一厘ヲ各減少シタリ

略式命令ヲ爲スヲ得ヌ又ハ之ヲ爲スヲ相當トセ
 サルモノハ略式總件數ノ〇分九厘命令ノ豫告ニ
 對スル異議申出ハ二分三厘ニ當ル割合ニシテ之
 ヲ前年ノ割合ニ比スレハ命令ヲ爲スヲ得ヌ又ハ
 之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ〇分三厘豫告ニ對
 スル異議申出一分二厘ヲ各減少シタリ

前記件數ニ對スル被告總人員三千二百八十五人
 内男三千〇五十一人(九割二分九厘)女二百三
 十四人(七分一厘)ニシテ前年ニ比スレハ男四
 割六分九厘女三割〇二厘總人員ニ付テ四割五分
 九厘ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男一分八厘
 減少シ女ハ之ニ反シ一分八厘ヲ増加シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ
 有期懲役 五十六人
 有期禁錮 二人
 罰金 二千四百十一人
 科料 三百九十一人
 以上有罪人員計二千八百六十八

無罪免訴 二百四十四人
 管轄違、公訴不受理 十三人
 消滅 一人

之ヲ前年ニ比スレハ有罪四割五分六厘ヲ減少シ
 (有期懲役三割六分六厘増 有期禁錮六割減
 罰金四割八分減 科料三割一分五厘減) 無罪免
 訴五割三分九厘管轄違、公訴不受理五割八分一
 厘ヲ各減少シ消滅ハ前年ト同一ナリ

前記件數人員ヲ刑法犯ト特別法犯ニ區別スレハ
 刑法犯ニ係ル舊受七十一件新受九百三十七件合
 計千〇〇八件ニシテ全件數ノ四割六分六厘ヲ占
 メ終局シタルモノ九百六十件終局セサルモノ四
 十八件ニシテ前年ニ比スレハ舊受三割六分五厘
 ヲ増加シ新受一割二分八厘ヲ減少シ總件數ニ付
 テ一割〇五厘ヲ減少シタリ又終局シタルモノ一

割一分一厘ヲ減少シ終局セサルモノ四分三厘ヲ
 増加シタリ

刑法犯ニ係ル被告人千七百六十一人内男千六百
 〇八人(九割一分三厘)女百五十三人(八分七
 厘)ニシテ前年ニ比スレハ男二割一分九厘女七
 分八厘ヲ減少シ總人員ニ付テハ二割〇九厘ヲ減
 少シタリ又男女ノ割合ニ付テハ男一分二厘ヲ減
 少シ女ハ之ニ反シ一分二厘ヲ増加シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ有期
 懲役四十四人、有期禁錮二人、罰金千二百七十
 三人、科料二百五十四人、無罪免訴九十三人、
 管轄違、公訴不受理五人ナリ

特別法犯ニ係ル舊受百三十五件新受千〇二十二
 件合計千五百五十七件ニシテ全件數ノ五割三分四
 厘ヲ占メ終局シタルモノ千〇九十三件終局セサ
 ルモノ六十四件ニシテ前年ニ比スレハ舊受六割
 四分六厘ヲ増加シ新受四割三分五厘ヲ減少シ總
 件數ニ付テハ三割八分八厘ヲ減少シタリ又終局
 シタルモノ七分二厘終局セサルモノ三割九分ヲ
 各減少シタリ

特別法犯ニ係ル被告人千五百二十四人内男千四
 百四十三人(九割四分七厘)女八十一人(五分
 三厘)ニシテ前年ニ比スレハ男六割〇九厘女二
 割七分七厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ六割〇三
 厘ヲ減少シ男女ノ割合ニ付テハ男一分三厘ヲ減
 少シ女ハ之ニ反シ一分三厘ヲ増加シタリ
 終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ有期

懲役十二人、罰金千百三十八人、科料百三十七人、無罪免訴百五十一人、管轄違、公訴不受理八人、消滅一人ナリ

略式命令ニ對スル正式裁判

略式命令ニ對シ正式裁判ヲ爲シタルモノ次ノ如シ

略式命令ニ對スル正式裁判ノ件數

年度	受理			終局				未終局
	舊受	新受	計	有罪	無罪免訴	消滅其他	計	
大正七年	65	868	933	831	67	3	901	32
大正六年	40	1,020	1,060	937	58	2	997	63
大正五年	47	854	901	836	37	3	876	25
大正四年	25	893	918	830	45	4	879	39
大正三年	9	574	583	537	20	1	558	25

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受六割二分五厘ヲ増加シ新受一割四分六厘ヲ減少シ總件數ニ付テハ一割二分ヲ減少シタリ

終局未終局ノ件數ヲ前年ニ比スレハ終局シタルモノ九割六分三厘終局セサルモノ四割九分二厘ヲ各減少シタリ

前記件數ニ對スル被告總人員千五百六十七人内男千四百六十六人(九割三分六厘)女百〇一人(六分四厘)ニシテ前年ニ比スレハ男二割八分二厘女七分三厘總人員ニ付テ二割七分二厘ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男一分三厘減少シ女ハ之ニ反シ一分三厘ヲ増加シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ

罰金 千百九十四人

科料 百五十九人

以上有罪人員計千三百五十三人

無罪免訴 百二十二人

公訴不受理、消滅 三人

之ヲ前年ニ比スレハ有罪二割九分三厘ヲ減少シ

(有期懲役ハ前年二人アリシモ本年無之 罰金二割九分九厘減 科料二割三分二厘減)無罪免訴三分二厘管轄違、公訴不受理、消滅併セテ五割ヲ各減少シタリ

前記件數人員ヲ刑法犯ト特別法犯ニ區別スレハ

刑法犯ニ係ル舊受二十二件新受三百八十四件合計四百六件ニシテ全件數ノ四割三分五厘ヲ占メ

終局シタルモノ三百九十三件終局セサルモノ十三件ニシテ前年ニ比スレハ舊受十二割ヲ増加シ新受一分三厘ヲ減少シ總件數ニ付テ一分八厘ヲ増加シタリ又終局シタルモノ一分六厘終局セサルモノ八分三厘ヲ各増加シタリ

刑法犯ニ係ル被告人七百九十一人内男七百四十一人(九割三分七厘)女五十八人(六分三厘)

ニシテ前年ニ比スレハ男四分五厘女一割五分三厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ五分三厘ヲ減少シタリ又男女ノ割合ニ付テハ男〇分八厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分八厘ヲ減少シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ罰金六百十人、科料百二十三人、無罪免訴四十四

人ナリ

特別法犯ニ係ル舊受四十三件新受四百八十四件合計五百二十七件ニシテ全件數ノ五割六分五厘ヲ占メ終局シタルモノ五百八件終局セサルモノ

十九件ニシテ前年ニ比スレハ舊受四割三分三厘ヲ増加シ新受二割三分三厘ヲ減少シ總件數ニ付テハ二割〇三厘ヲ減少シタリ又終局シタルモノ

一割六分七厘終局セサルモノ六割二分七厘ヲ各減少シタリ

特別法犯ニ係ル被告人七百七十六人内男七百二十五人(九割三分四厘)女五十一人(六分六厘)

ニシテ前年ニ比スレハ男四割二分八厘ヲ減少シ女二分ヲ増加シ總人員ニ付テハ四割一分一厘ヲ

減少シタリ又男女ノ割合ニ付テハ男二分八厘ヲ減少シ女ハ之ニ反シ二分八厘ヲ増加シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其ノ他ヲ區別スレハ罰金五百八十四人、科料三十八人、無罪免訴七十九人、公訴不受理二人、消滅一人ナリ

刑法犯特別法犯全體ニ付テ略式命令ノ科刑ト正式裁判ノ結果ヲ對照スレハ

無罪免訴ト爲シタルモノ 百二十三人

命令ノ罰金ヲ科料ト爲シタルモノ八十六人

同一刑名ニテ金額ヲ加重シタルモノ 十七人

同上 減輕シタルモノ 百五十六人

管轄違、公訴不受理 二人

命令ト判決ト科刑同一ノモノ 七百六十人

前記異動ノ割合ハ無罪免訴一割〇八厘科刑ヲ重

クシタルモノ一分五厘、科刑ヲ輕クシタルモノ二割一分二厘、科刑同一ノモノ六割六分五厘ニ

シテ前年ニ比スレハ無罪免訴二分五厘科刑ヲ輕クシタルモノ五分七厘ヲ各増加シ科刑ヲ重クシタルモノ一分四厘科刑同一ノモノ六分二厘ヲ各減少シタリ

違警罪即決ニ對スル正式裁判

廳府縣警察署ノ即決ニ對シ正式裁判ヲ爲シタルモノ次ノ如シ

違警罪即決ニ對スル正式裁判ノ件數

年度	受理			終局				未終局
	舊受	新受	計	有罪	無罪免訴	消滅其他	計	
大正七年	61	726	787	474	233	14	721	66
大正六年	54	851	905	618	201	22	844	61
大正五年	39	1,021	1,060	687	292	27	1,006	54
大正四年	41	885	926	620	248	19	887	39
大正三年	30	724	754	542	151	20	713	41

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受一割三分ヲ増加シ新受一割四分七厘總件數ニ付テ一割三分ヲ各減少シタリ

終局未終局ノ件數ヲ前年ニ比スレハ終局シタルモノ一割四分六厘ヲ減少シ終局セサルモノ八分二厘ヲ増加シタリ

前記件數ニ對スル被告總人員八百八十五人内男六百六十九人(七割五分六厘)女二百十六人(二割四分四厘)ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男一割

三分六厘女四分總人員ニ付テ一割一分四厘ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男一分九厘ヲ減少シ女ハ之ニ反シ一分九厘ヲ増加シタリ

終局被告人ニ付テ科刑其他ヲ區別スレハ

有期懲役	二人
罰金	四人
拘留	二百七十五人
科料	二百五十九人

以上有罪人員計五百四十八人

無罪免訴 二百五十三人

管轄違、公訴不受理 五人

消滅 十人

之ヲ前年ニ比スレハ有罪二割一分二厘減少シ(有期懲役三割三分三厘減 罰金前年ト同一拘留一割一分三厘減 科料二割九分六厘減)無罪免訴一割二分四厘ヲ増加シ管轄違、公訴不受理、消滅ノモ併セテ三割七分五厘ヲ減少シタリ

前記件數人員中刑法犯ニ係ルモノ新受五件六人ニシテ〇分六厘ニ當ル割合ニシテ女ハ無之一人ハ無罪二人ハ有期懲役三人ハ罰金ニ處セラレタルモノナリ特別法ハ全件數ノ九割九分四厘ヲ占メ有罪無罪其ノ他ノ割合ハ總件數總人員ニ於ケルモノト略ホ同一ナルニヨリ別ニ刑法犯特別犯ノ區別ニ付テ説明セス

第一審總事件中刑法犯ニ付テ有期懲役

第一審事件全部ノ内刑法犯ニ係ル被告人員十二萬六千四百十六人終局シタルモノ十一萬七千二百六十一人(略式手續ニ依リ終了シタル刑法犯五萬二千〇八十五人ヲ算入ス略式ハ前年ヨリ一

割八分二厘増加シ又刑法犯ハ六分五厘ヲ増加シ特別法犯ハ三割八分減ニシテ刑法特別法全體ニ付テハ一割二分二厘ヲ減少ス)ニシテ有期懲役ニ處セラレタルモノ四萬六千六百五十六人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ〇分九厘ノ増加ナリ又通常裁判ニ依リタル人員ニ對スル有期懲役ノ比例ハ百分ノ七十一人六分ニシテ前年ニ比スレハ二人二分ヲ増加シタリ

有期懲役ノ刑期ヲ區別スレハ

一年未滿	二萬六千六百八十七人
一年以上五年未滿	一萬六千七百五十七人
五年以上十年未滿	二千七百七十五人
十年以上	千〇三十七人

之ヲ前年ニ比スレハ一年未滿一分五厘五年以上十年未滿八分七厘十年以上一分二厘ヲ各減少シ一年以上五年未滿七分四厘ヲ増加シタリ

前記刑期別百分比例ノ累年比較ヲ示セハ次ノ如シ

懲役刑期ノ累年比較 (百分比例)

懲役刑期	大正七年	大正六年	大正五年	大正四年	大正三年	大正二年	大正元年
一年未滿	57.2	58.6	59.0	61.5	65.2	72.2	72.4
一年以上	35.9	33.8	33.1	31.6	29.1	22.9	22.5
五年以上	4.7	5.1	5.7	5.2	4.4	3.5	3.7
十年以上	2.2	2.5	2.2	1.7	1.3	1.2	1.4

前表ニ依レハ一年未滿ハ漸次減少シ大正七年ハ最高ヨリ十五人二分ヲ減少シ一年以上ハ漸次増加シ最低ヨリ十三人四分ヲ増加シ五年以上、十年以上ハ稍々増加ノ傾向ニアリ最低ニ比スレハ五年以上ハ一人二分十年以上ハ一人ヲ各増加シ一年未滿ノ輕キモノハ年々減少シ一年以上ノ重キモノハ概シテ増加シツツアリ

以上各刑期ノ比例ヲ各地方裁判所ニ區別シ最近三年間ヲ示セハ次ノ如シ

地方裁判所	大 正 七 年				大 正 六 年				大 正 五 年			
	有 期 懲 役				有 期 懲 役				有 期 懲 役			
	一年未滿	一年以上	五年以上	十年以上	一年未滿	一年以上	五年以上	十年以上	一年未滿	一年以上	五年以上	十年以上
東 京	55.5	37.6	5.2	1.7	58.3	35.6	4.7	1.4	56.0	36.3	6.3	1.4
神 戶	65.3	29.6	4.1	1.0	62.7	30.8	4.8	1.7	63.7	23.1	5.6	2.6
大 阪	62.3	29.3	5.2	3.2	64.2	29.9	3.8	2.1	63.5	30.2	4.7	1.6
京 都	59.5	32.6	4.9	2.9	57.9	32.0	6.7	3.4	66.1	28.1	4.0	1.8
千 葉	69.5	27.8	3.4	1.3	70.6	24.7	3.0	1.7	62.8	31.5	4.1	1.6
水 戸	62.9	31.7	4.1	1.3	67.5	24.6	5.5	2.4	52.7	34.8	9.0	3.5
前 橋	58.3	35.8	3.9	2.0	59.2	33.0	5.4	2.4	58.9	33.5	4.9	2.7
靜 岡	62.7	32.5	2.7	2.1	58.3	34.3	4.8	2.6	58.2	33.7	6.1	2.0
甲 府	72.6	24.5	1.8	1.1	69.8	26.2	2.9	1.1	72.3	23.4	3.1	1.2
長 野	65.7	28.4	4.0	1.9	67.8	27.2	3.2	1.8	66.6	27.6	4.4	1.4
野 洲	77.4	20.0	2.1	0.5	71.2	22.4	4.2	2.2	70.2	23.9	4.6	1.3
東 横 濱	52.9	41.0	4.6	1.5	49.6	40.0	6.6	3.8	50.9	40.8	5.9	2.4
大 神 奈 川	29.0	58.2	7.7	5.1	35.6	50.8	8.4	5.2	42.6	45.2	7.9	4.3
京 都 府	38.9	52.0	6.5	2.6	42.9	47.9	6.3	2.9	37.9	49.9	8.9	3.3
大 阪 府	51.6	37.2	8.0	3.2	46.9	40.4	3.6	9.1	63.7	27.6	5.7	3.0
和 歌 山	34.4	53.4	8.7	3.5	37.7	48.3	9.7	4.3	46.8	38.1	9.9	5.2
大 和 郡	49.9	39.0	5.6	5.5	61.5	30.9	5.9	1.7	61.9	30.2	5.4	2.5
高 松 郡	55.6	32.8	7.9	3.7	54.0	32.2	10.6	3.2	56.1	32.1	7.1	4.7
高 知 郡	67.3	26.3	3.9	2.5	66.7	26.9	3.2	3.2	67.5	26.8	4.1	1.6
高 知 縣	55.2	35.2	6.6	3.0	47.8	41.9	6.8	3.5	53.3	32.6	10.2	3.9
名 古 屋	51.8	41.5	4.8	1.9	56.0	34.1	6.6	3.3	58.7	32.7	6.7	1.9
岐 阜	58.9	35.5	3.4	2.2	67.1	25.9	5.0	2.0	58.6	32.4	6.6	2.4
愛 知	64.0	31.5	3.3	1.2	61.5	32.5	4.3	1.7	50.7	40.0	7.2	2.1
富 山	92.7	24.0	2.4	0.9	67.7	26.4	3.7	2.2	66.7	27.8	3.6	1.9
石 川	59.3	34.9	3.4	2.4	69.1	25.0	4.5	1.4	67.4	26.8	2.7	3.1
福 井	71.3	25.4	2.3	1.0	76.3	20.9	1.6	1.2	61.7	30.8	4.1	3.4
廣 島	59.8	33.2	5.3	1.7	63.1	31.2	3.6	2.1	62.9	30.9	4.1	2.1
山 口	44.1	47.7	4.9	3.3	49.0	39.5	7.5	4.0	59.0	34.4	4.8	1.8
山 西	60.2	34.5	3.7	1.6	66.7	28.5	3.1	1.7	70.6	21.0	3.7	1.7
島 根	63.2	31.4	3.8	1.6	67.7	27.5	3.6	1.2	74.9	21.1	2.3	1.7
德 島	63.4	32.9	3.1	0.6	62.5	31.1	5.0	1.4	68.8	24.4	4.6	2.2
松 山	63.8	31.2	2.7	2.3	65.2	29.5	3.5	1.8	77.3	18.7	2.8	1.2
廣 島 縣	44.4	45.2	7.6	2.8	40.5	49.3	5.7	4.5	58.8	35.8	3.3	2.1
長 門	46.7	41.8	7.0	4.5	60.6	31.7	4.9	2.8	59.9	33.7	4.3	2.1
福 岡	50.1	40.7	5.5	3.7	49.9	38.1	7.1	4.9	46.0	40.3	10.0	3.7
大 分	59.1	34.1	4.9	1.9	55.0	37.8	4.9	2.3	59.7	31.2	7.2	1.9
熊 本	60.8	32.1	4.6	2.5	55.2	32.2	8.8	3.8	60.3	33.0	4.5	2.2
鹿 兒 島	52.7	39.6	5.8	1.9	52.8	41.0	4.6	1.6	57.2	35.0	6.1	1.7
宮 崎	57.2	36.2	5.4	1.2	58.8	34.0	5.3	1.9	60.6	32.2	4.2	3.0
那 霸	59.8	34.3	3.8	2.1	49.9	37.0	10.1	3.0	40.8	46.5	8.8	3.9
仙 臺	67.1	23.1	4.2	0.6	65.4	32.1	2.0	0.5	63.3	31.0	3.9	1.8
福 馬	64.7	30.6	3.5	1.0	61.9	31.1	4.9	2.1	62.4	30.3	5.8	1.5
山 形	71.4	25.6	2.0	1.0	59.7	34.2	4.3	1.3	58.0	35.1	4.7	2.2
盛 岡	64.1	31.6	3.3	1.0	61.4	32.3	4.9	1.4	69.6	26.4	3.8	0.2
秋 田	65.8	29.0	3.8	1.4	65.7	30.0	2.5	1.8	59.0	31.1	4.7	2.2
青 森	73.9	24.8	0.9	0.4	61.5	32.1	5.4	1.0	62.1	31.8	4.4	1.7
函 館	76.1	20.2	2.9	1.2	77.6	19.1	2.4	0.9	73.3	21.5	3.9	1.3
札 根	64.2	30.0	3.6	2.2	67.6	26.1	4.9	1.4	61.1	31.7	5.9	1.3
旭 川	67.6	27.7	3.6	1.1	73.2	20.8	4.2	1.8	80.4	16.5	2.2	0.9
釧 路	61.1	27.4	6.7	4.8	69.6	24.8	4.0	1.6	70.4	23.1	4.8	1.7
根 室	69.8	25.2	2.8	1.2	71.4	24.9	2.3	1.4	72.4	24.3	2.4	0.9
平 均	57.2	35.9	4.7	2.2	58.6	33.8	5.1	2.5	59.0	33.1	5.7	2.2

前表ニ依レハ十年以上ノ刑ヲ科シタルモノノ平均比例ハ二人二分ニシテ前年ニ比スレハ〇人三分ヲ減少シ大正五年ト同一比例ナリ之ヲ各地方別ニ比較スレハ最モ多數ナルハ和歌山ノ五人五分ニシテ最モ少數ナルハ青森ノ〇人四分ナリ之ヲ列擧スレハ次ノ如シ

平均人員ヨリ五分以上ノ多數ヲ有スルハ
(最モ多數ナルモノヲ首位ニ置ク以下同之)
和歌山 大阪 釧路 佐賀 徳島 福岡
大津 浦和 山口 奈良 高知 千葉
ニシテ

平均人員ヨリ五分以下ニアルハ
(最モ少數ナルモノヲ首位ニ置ク以下同之)
青森 松江 仙臺 新潟 福井 富山
横濱 福島 山形 盛岡 甲府 旭川
岐阜 宮崎 函館 樺太 水戸 宇都宮
秋田 長野 名古屋 京都 大分 鹿
兒島 鳥取 岡山 東京 廣島

ノ各地方ナリ

五年以上十年未満ノ刑ヲ科シタルモノノ平均比例ハ四人七分ニシテ前年ニ比スレハ〇人四分ヲ減少シタル之ヲ各地方別比例ニ比較スレハ最モ多數ナルハ奈良ノ八人ニシテ最モ少數ナルハ青森ノ〇人九分ナリ之ヲ列擧スレハ次ノ如シ

平均人員ヨリ一人以上ノ多數ヲ有スルハ
奈良 徳島 大阪 長崎 佐賀 高知
神戸 鹿兒島ニシテ

平均人員ヨリ一人以下ニアルハ

青森 甲府 山形 新潟 富山 福井
函館 静岡 松山 樺太 松江 岐阜
盛岡 水戸 金澤 安濃津 福岡 札幌
旭川 岡山ノ各地方ナリ

一年以上五年未満ノ刑ヲ科シタルモノノ平均比例ハ三十五人九分ニシテ前年ニ比スレハ二人一分ヲ増加シタル之ヲ各地方別比例ニ比較スレハ最モ多數ナルハ大阪ノ五十八人二分ニシテ最モ少數ナルハ新潟ノ二十人ナリ之ヲ列擧スレハ次ノ如シ

平均人員ヨリ三人以上ノ多數ヲ有スルハ
大阪 大津 神戸 山口 長崎 佐賀
名古屋 京都 福岡 鹿兒島 和歌山
ニシテ

平均人員ヨリ三人以下ニアルハ

新潟 函館 福井 甲府 青森 富山
山形 樺太 高知 釧路 旭川 水戸
仙臺 長野 秋田 浦和 横濱 札幌
福島 松山 鳥取 岐阜 盛岡 宇都
宮 熊本 静岡 千葉 徳島 松江ノ
各地方ナリ

一年未満ノ刑ヲ科シタルモノノ平均比例ハ五十七人二分ニシテ前年ニ比スレハ一人四分ヲ減少シタル之ヲ各地方別比例ニ比較スレハ最モ多數ナルハ函館十八人九分ニシテ最モ少數ナルハ大津ノ三十四人四分ナリ之ヲ列擧スレハ次ノ如シ

平均人員ヨリ四人以上ノ多數ヲ有スルハ
新潟 函館 青森 甲府 山形 富山
樺太 旭川 水戸 高松 仙臺 秋田
長野 横濱 福島 札幌 盛岡 岐阜
松山 松江 鳥取 宇都宮 静岡 福
井 浦和ニシテ

平均人員ヨリ四人以下ニアルハ

大阪 大津 神戸 山口 長崎 佐賀
和歌山 福岡 奈良 名古屋 鹿兒島
京都ノ各地方ナリ

以上列記ノ地方中一年以上ノ刑ニテ各期トモ平均ヨリ多數ナルハ大阪、神戸、大津、和歌山、山口、福岡、長崎、佐賀ニシテ平均以下ニアルハ

横濱 水戸 甲府 長野 岐阜
福井 富山 岡山 鳥取 松江 那覇
仙臺 福島 山形 盛岡 秋田 青森
函館 札幌 旭川 樺太ノ各地方ナリ

而シテ是等ノ地方ハ一年未満ノ輕キ刑ニ於テハ其ノ位置ヲ顛倒シ前ニ多數ナリシ大阪、大津ノ如キハ平均ヨリ二十二人八分乃至二十二人二分ヲ減少シ前ニ平均以下ナリシ函館、青森、甲府ノ如キハ平均ヨリ十五人四分乃至十八人九分ヲ増加シ而シテ一年未満ノ輕キ刑ハ各地方概シテ多數ナルニ大阪、神戸、大津、佐賀ノ如キハ平均ヨリ十人五分乃至二十八人二分ヲ減少シタルハ注目スヘシ

略式事件

略式手續ノ請求ヲ受ケタル事件ノ總件數及終局未終局件數ヲ示セハ次表ノ如シ

略式事件ノ件數

年 度	受 理 件 數			終 局 件 數				未 終 局 件 數
	舊 受	新 受	計	確 定 命 令	正 式 裁 判 申 立	豫 告 異 議 其 他	計	
大 正 七 年	1,120	60,146	61,266	57,102	868	1,964	59,934	1,332
大 正 六 年	913	60,864	61,777	56,822	1,020	2,895	60,737	1,040
大 正 五 年	877	52,387	53,264	49,078	854	2,531	52,463	801
大 正 四 年	1,145	47,285	48,430	43,855	893	2,853	47,601	829
大 正 三 年	1,067	43,123	44,190	40,323	574	2,199	43,096	1,094
大 正 二 年	—	21,146	21,146	18,706	205	1,168	20,079	1,067

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受二割二分七厘ヲ増加シ新受一分二厘ヲ減少シ總件數ニ付テハ〇分八厘ヲ減少シタル又終局シタルモノニ付テハ一分三厘ノ減少ニシテ終局セサルモノ

ニ付テハ二割八分一厘ヲ増加シタル
終局區別ヲ擧リレハ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ五百五十八件命令ノ豫告ニ對シ異議申出ヲ爲シタルモノ千四百〇一件

命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ八百六十八件命令=依リ確定シタルモノ五萬七千七百〇二件消滅シタルモノ五件ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ二割二分八厘命令ノ豫告=對シ異議申出ヲ爲シタルモノ三割五分二厘正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ一割四分九厘消滅シタルモノ五割四分五厘ヲ各減少シ命令=依リ確定シタルモノ〇分五厘ヲ増加シタリ

終局區別=付テ總數百=對スル比例ヲ舉クレハ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ〇件九分 命令ノ豫告=對シ異議申出ヲ爲シタルモノ二件四分 命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ一件四分 命令=依リ確定シタルモノ九十五件三分 消滅シタルモノ厘位未滿ノ割合ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ〇件三分 命令ノ豫告=對シ異議申出ヲ爲シタルモノ一件一分 命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ〇件三分ヲ各減少シ命令=依リ確定シタルモノ一件七分ヲ増加シタリ

略式事件ノ被告總人員十萬〇〇六百六十七人ニシテ終局シタルモノ九萬八千五百一十一人終局セアルモノ二千五百六十六人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ總人員=付テハ三割三分八厘終局シタルモノ=付テハ一割四分五厘ヲ各減少シ終局セサルモノ=付テハ四割一分一厘ヲ増加シタリ

終局被告人=付テ終局區別ヲ舉クレハ命令ヲ爲

スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ七百五十二人 命令ノ豫告=對シ異議申出ヲ爲シタルモノ二千二百二十四人 命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ千四百六十三人ニシテ通常裁判ノ規定=依リタルモノ四千四百三十九人(總人員ノ六分八厘) 命令=依リ確定シタルモノ九萬四千〇六十二人(總人員ノ九割一分九厘) 消滅シタルモノ十人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ三割六分六厘 命令ノ豫告=對シ異議申出ヲ爲シタルモノ五割二分一厘 命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ三割〇四厘 命令=依リ確定シタルモノ一割二分三厘 消滅シタルモノ三割三分三厘ヲ各減少シタリ

科刑ヲ區別スレハ罰金七萬六千三百五十人科料一萬七千七百七十二人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ罰金一割三分科料九分四厘ヲ各減少シタリ

前記件數人員ヲ刑法犯ト特別法犯ニ區別スレハ刑法犯ハ舊受三百九十四件新受二萬一千五百九十九件合計二萬一千九百九十二件ニシテ略式全部ノ三割六分ヲ占ム而シテ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ及命令ノ豫告=對スル異議申出ノモノ合セテ九百三十七件(總件數ノ四分三厘) 命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ三百八十四件(總件數ノ一分九厘) 命令=依リ確定シタルモノ二萬〇二百二十九件 消滅シタルモノ二件ナリ之ヲ前年ニ比スレハ總

件數=付テハ一割八分ヲ増加シ正式裁判ノ申立等=因リ通常裁判ノ規定=依リタルモノハ九分七厘ヲ減少シ命令=依リ確定シタルモノ二割〇一厘ヲ増加シタリ

刑法犯=係ル被告總人員五萬五千六百五十八人ニシテ命令=依リ確定シタルモノ五萬二千〇八十八人(男四萬六千八百五十四人女五千二百二十六人) 正式裁判申立等=因リ通常裁判ノ規定=依リタルモノ二千四百二十九人消滅シタルモノ五人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ總人員=付テ一割六分七厘命令=依リ確定シタルモノ一割八分三厘ヲ各増加シ通常裁判ノ規定=依リタルモノ一割六分五厘ヲ減少シタリ

科刑ヲ區別スレハ罰金四萬三千七百七十九人科料八千三百〇一人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ罰金二割七分六厘ヲ増加シ科料一割四分九厘ヲ減少シタリ

特別法犯ハ舊受七百二十六件新受三萬八千五百四十七件合計三萬九千二百七十三件ニシテ略式全部ノ六割四分ヲ占ム而シテ命令ヲ爲スヲ得ス又ハ之ヲ爲スヲ相當トセサルモノ及命令ノ豫告=對スル異議申出ヲ爲シタルモノ合セテ千〇二十二件命令=對シ正式裁判ノ申立ヲ爲シタルモノ四百八十四件命令=依リ確定シタルモノ三萬六千八百七十三件消滅シタルモノ三件ナリ之ヲ前年ニ比スレハ總件數=付テハ九分ヲ減少シ正式裁判申立等=因リ通常裁判ノ規定=依リタルモノ三割七分四厘命令=依リ確定シタルモノ七分八厘ヲ各減少シタリ

特別法犯=係ル被告總人員四萬五千〇〇九人ニシテ命令=依リ確定シタルモノ四萬一千九百八十二人(男三萬七千八百十三人女四千六百六十九人) 正式裁判申立等=因リ通常裁判ノ規定=依

リタルモノ二千〇十人消滅シタルモノ五人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ總人員=付テ三割四分八厘命令=依リ確定シタルモノ三割三分六厘通常裁判ノ規定=依リタルモノ六割ヲ各減少シタリ

科刑ヲ區別スレハ罰金三萬二千五百七十一人科料九千四百一十一人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ罰金三割九分科料三分九厘ヲ各減少シタリ

前記ノ區別=依レハ刑法犯ハ件數人員トモ一割以上ノ増加ニシテ特別法犯ハ件數人員トモ減少シ總數ノ上ニ於テハ件數ハ僅カノ減少ナルモ人員ハ一割以上ヲ減少セリ然レトモ特別法犯ハ前年ニ於テハ議員選舉違犯事件約二萬二千人アリ臨時増加ナルヲ以テ前年ヨリ之ヲ控除シテ比較スレハ特別法犯ノ人員ハ五分四厘ノ減少ニ過キス又其ノ控除セルモノヲ以テ刑法犯特別法犯ノ總人員ニ比較スレハ本年ハ却テ五分七厘ヲ増加シタリ

又罪名=付テ見ルニ刑法犯ニアリテハ最モ多數ナルハ賭博罪ニシテ七割七分ヲ占メ失火罪六分二厘遺失物漂流物橫領罪五分二厘過失傷害罪二分五厘ヲ占メ其ノ他稍々多數ナルハ文書偽造、住居侵入罪等ナルモノ一分ニ滿タサル割合ナリ

特別法犯ニアリテハ最モ多數ナルハ古物商取締規則違犯ニシテ一割四分ヲ占メ廳府縣令違犯一割一分陸軍召集令、森林法、狩獵法、清涼飲料水營業取締規則、度量衡法違犯五分一厘乃至六分二厘ヲ占メ其ノ他稍々多數ナルハ銃砲火藥類取締法、陸軍軍人服役令、酒造税法、醫師法、漁業法違犯ニシテ齒科醫師法、郵便法、工場法違犯モ亦比較的多數ナリ

略式命令ノ豫告=對スル異議及正式裁判申立等ノ割合=付テ地方別件數ヲ示セハ次表ノ如シ

地方裁判所管轄別略式事件ノ件數

地方裁判所	略式手續 求ノ總件數	略式命令ヲ スルハ之ヲ 略式命令 トシテ 申立 タルモノ	略式事件ノ終 局百件ニ對ス ル同上歩合	略式命令 ヲ爲シタル モノ	同上命令ニ對 スル正式裁判 ノ申立ヲ爲シ タルモノ	略式命令百件 ニ對スル同上 申立ノ歩合	未終局
東横浦千水	4,111	44	1.1	4,027	35	0.9	40
京濱和葉戸宮橋岡府野湯	1,906	4	0.2	1,902	9	0.5	—
都	1,088	11	1.0	1,071	5	0.5	6
前靜甲長新	1,013	37	3.7	974	14	1.5	2
京大神奈大和德高	1,086	31	2.9	1,047	9	0.9	8
歌	711	11	1.5	697	2	0.3	3
名安岐福金富	838	18	2.0	820	10	1.2	—
古濃	1,608	33	2.1	1,564	12	0.8	11
廣山岡島松	886	19	2.1	838	9	1.1	29
島口山取江山	1,718	33	1.9	1,674	10	0.6	10
長佐福大熊鹿宮那	1,148	75	6.5	1,053	22	2.1	20
仙福山盛秋青	1,444	26	1.8	1,357	17	1.3	60
函札旭鋼樺	3,122	90	2.9	2,996	46	1.6	35
合計	1,998	16	0.8	1,973	2	0.1	9
大正六	492	14	2.8	474	8	1.7	4
大正五	463	—	—	461	4	0.9	2
大正四	1,292	19	1.5	1,269	15	1.2	4
大正三	809	21	2.6	787	6	0.8	1
大正二	770	25	3.2	729	21	3.0	16
大正	791	13	1.6	776	6	0.8	1
合計	1,493	13	0.9	1,393	17	1.2	87
大正六	851	41	4.8	818	32	4.1	2
大正五	1,217	71	5.8	1,120	26	2.4	26
大正四	978	50	5.1	914	33	3.8	14
大正三	1,227	29	2.4	1,171	12	1.0	27
大正二	1,142	46	4.0	1,078	38	3.7	18
大正	1,468	38	2.6	1,409	15	1.1	21
合計	537	34	5.3	561	11	2.0	42
大正六	979	51	5.2	901	28	3.2	27
大正五	1,102	31	5.8	1,026	14	1.4	43
大正四	530	13	2.5	478	3	0.6	39
大正三	1,440	60	4.2	1,352	43	3.3	28
大正二	858	42	4.9	778	12	1.6	38
大正	528	18	3.4	500	7	1.4	10
合計	2,456	114	4.6	2,104	34	1.6	238
大正六	722	25	3.5	674	11	1.7	23
大正五	1,295	59	4.6	1,208	29	2.5	28
大正四	741	37	5.0	681	20	3.0	23
大正三	549	34	6.2	498	16	3.3	17
大正二	627	22	3.5	570	5	0.9	35
大正	1,264	4	0.3	1,250	3	0.2	10
合計	1,471	62	4.3	1,392	29	2.1	16
大正六	614	42	6.8	560	16	2.9	12
大正五	1,286	43	3.3	1,208	33	2.8	35
大正四	1,202	91	7.6	1,095	22	2.0	16
大正三	2,142	61	2.9	2,063	35	1.7	18
大正二	911	63	6.9	837	7	0.8	11
大正	1,468	71	4.8	1,315	19	1.5	82
合計	1,115	94	8.4	1,003	11	1.1	18
大正六	1,114	21	1.9	1,047	22	2.2	46
大正五	585	38	7.1	477	3	0.6	20
合計	61,266	1,959	3.2	57,970	868	1.5	1,332
大正六	61,777	2,884	4.7	57,842	1,020	1.8	1,040
大正五	53,264	2,525	4.8	49,932	854	1.7	801
大正四	48,430	2,841	6.0	44,748	895	2.0	829
大正三	44,190	2,194	5.1	40,897	574	1.4	1,094
大正二	20,643	1,167	5.8	18,911	205	1.1	564

前表ニ依リ命令ニ依リ確定シタル件數ヲ第一審事件ノ總件數十萬五千五百十四件ニ對スレハ其ノ五割四分一厘ハ略式命令ニ依リ四割五分九厘ハ通常裁判ニ依リ又ハ消滅シタルモノナリ之ヲ前年ニ比スレハ略式命令ハ二分五厘ヲ増加シ通常裁判ニ依リタルモノハ之ニ反シ二分五厘ヲ減少シタル割合ナリ

選擇刑累犯加重及刑ノ減免

以上第一審事件中刑法犯ニ於ケルモノ、内選擇刑ニ係ル被告人一萬三千三百八十三人（略式命令ノ確定包含）ニシテ自由刑ヲ科シタルモノ三千九百九十四人財産刑ヲ科シタルモノ一萬〇百八十九人ナリ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ自由刑二十三人九分財産刑七十六人一分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ自由刑三人五分ヲ減少シ財産刑ハ之ニ反シ三人五分ヲ増加シタリ

各罪ノ比例ニ付テ見ルニ自由刑ノミナルハ富籤罪一罪ニシテ財産刑ノミナルハ溢水ニ關スル罪飲料水ニ關スル罪、禮拜所及墳墓ニ對スル罪ナリ自由刑ニ就テ比較的多數ナルモノヲ舉クレハ放火罪七十五人詐欺罪六十九人五分脅迫罪、信用、業務ニ對スル罪、犯人藏匿罪、猥褻罪、文書偽造罪四十人四分乃至五十人五分ニシテ又毀棄罪、傷害罪、秘密侵害罪、住居侵入罪ハ二十四人二分乃至三十四人八分ニシテ其ノ他ハ一割内外ナリ又財産刑ニ就テ多數ナルモノヲ舉クレハ往來妨害罪九十八人八分横領罪九十六人四分

過失傷害罪九十五人一分公務妨害、名譽ニ對スル罪、贖職、住居侵入七十五人八分乃至八十七人五分ニシテ傷害罪、毀棄罪モ亦比較的多數ナリ

累犯ニ因リ刑ヲ加重シタルモノ一萬二千五百三十一人初犯者及累犯加重ナキモノ三萬四千二百二十五人ニシテ有期懲役ニ處セラレタル被告總人員四萬六千六百五十六人ニ付テ比例スレハ累犯加重二十六人九分累犯加重ナキモノ七十三人一分ナリ之ヲ前年ニ比スレハ累犯加重五人一分ヲ減少シ累犯加重ナキモノハ之ニ反シ五人一分ヲ増加シタリ

累犯加重ニ付テ各罪ノ比例ハ最モ多數ナルハ逃走罪五十九人一分ニシテ賭博罪三十五人八分窃盜罪三十四人七分住居侵入罪三十一人、強盜罪二十九人詐欺恐喝罪、名譽ニ對スル罪、横領罪逮捕監禁罪、傷害罪十七人四分乃至二十四人三分誘拐、脅迫、通貨偽造罪十三人乃至十六人五分ニシテ放火、殺人罪ハ七人三分乃至七人四分騷擾罪ハ四人五分ノ割合ナリ

酌量ニ因リ刑ヲ減輕シタルモノ千五百〇一人法律上刑ヲ減輕シタルモノ七百六十二人ニシテ有罪總人員十一萬五千六百九十八人ニ付テ比例スレハ酌量減一人六分法律上減〇人七分ニシテ前年ニ比スレハ酌量減〇人三分ヲ減少シ法律上減〇人一分ヲ増加シタリ

各罪ニ付テ前記事由ノ比例ヲ示セハ次表ノ如シ

罪名	選擇刑=依ルモノ、 總數百=對スル比例		有期ノ懲役ノ總數 百=對スル比例		有罪ノ總數百=對 スル比例		有罪ノ總數百=對 スル比例	
	自由刑	財産刑	再犯ニ依リ 刑ヲ加重シ モノ	再犯加重 ニアラサ ルモノ	酌量シテ 刑ヲ減輕 セシモノ	酌量減輕 アラサル モノ	法律上刑 ヲ減輕セ シモノ	法律上ノ 減輕アラ サルモノ
皇室ニ對スル罪	—	—	100.0	—	—	100.0	—	100.0
公務ノ執行ヲ妨害スル罪	12.5	87.5	7.3	92.7	8.5	91.5	17.5	82.5
逃走ノ罪	—	—	59.1	40.9	—	100.0	—	100.0
犯人竊匿及證憑湮滅ノ罪	46.9	53.1	13.0	87.0	4.1	95.9	—	100.0
騷擾ノ罪	—	—	4.5	95.5	2.4	97.6	—	100.0
放火ノ罪	75.0	25.0	7.4	92.6	6.5	93.5	6.7	93.3
失火ノ罪	—	—	—	100.0	20.1	79.9	—	100.0
溢水又水利ニ關スル罪	—	10.0	—	100.0	—	100.0	—	100.0
往來ヲ妨害スル罪	1.2	98.8	2.9	97.1	7.1	92.9	0.7	99.3
住居ヲ侵スル罪	24.2	75.8	31.0	69.0	5.2	94.8	9.9	99.1
秘密ヲ侵スル罪	25.0	75.0	—	100.0	25.0	75.0	—	100.0
阿片煙ニ關スル罪	—	—	11.8	88.2	—	100.0	5.9	94.1
飲料水ニ關スル罪	—	10.0	—	100.0	9.1	90.9	—	100.0
通貨偽造ノ罪	—	—	13.0	87.0	11.4	88.6	—	100.0
文書偽造ノ罪	40.4	59.6	8.8	91.2	5.2	94.8	3.8	96.2
有價證券偽造ノ罪	—	—	12.0	88.0	—	100.0	—	100.0
印章偽造ノ罪	—	—	1.4	98.6	4.2	95.8	—	100.0
偽證ノ罪	—	—	3.5	96.5	0.8	99.2	2.3	97.7
誣告ノ罪	—	—	7.4	92.6	—	100.0	1.3	98.7
猥褻、姦淫及重婚ノ罪	41.7	58.3	9.4	90.6	5.1	94.9	0.7	99.3
賭博及當籤ニ關スル罪	100.0	—	35.8	64.2	0.4	99.6	0.7	99.3
禮拜所及墳墓ニ關スル罪	—	100.0	5.0	95.0	—	100.0	—	100.0
瀆職ノ罪	18.6	81.4	0.8	99.2	3.4	96.6	0.3	99.7
殺人ノ罪	—	—	7.3	92.7	7.9	92.1	10.2	89.8
傷害ノ罪	34.5	65.5	17.4	82.6	0.6	99.4	0.1	99.9
過失傷害ノ罪	4.9	95.1	—	—	3.8	96.2	0.1	99.9
墮胎ノ罪	—	—	3.7	96.3	—	100.0	5.9	94.1
遺棄ノ罪	—	—	5.1	94.9	10.3	89.7	2.6	97.4
逮捕及監禁ノ罪	—	—	17.5	82.5	—	100.0	—	100.0
脅迫ノ罪	50.5	49.5	15.7	84.3	0.6	99.4	0.6	99.4
略取及誘拐ノ罪	—	—	16.5	83.5	2.1	97.9	5.2	94.8
名譽ニ對スル罪	13.4	86.6	22.2	77.8	—	100.0	—	100.0
信用及業務ニ對スル罪	50.0	50.0	—	100.0	—	100.0	—	100.0
竊盜ノ罪	—	—	34.7	65.3	0	100.0	0.1	99.9
強盜ノ罪	—	—	29.0	71.0	6.7	93.3	6.2	93.8
詐欺及恐喝ノ罪	69.5	30.5	24.3	75.7	0	100.0	0.2	99.8
横領ノ罪	3.6	96.4	19.5	80.5	1.7	98.3	0	100.0
贓物ニ關スル罪	—	—	9.2	90.8	0.3	99.7	0.1	99.9
毀棄及墮匿ノ罪	34.8	65.2	12.1	87.9	0.3	99.7	0.3	99.7
平均	23.9	76.1	26.9	73.1	1.8	98.7	0.7	99.3
大正六年ノ平均	27.4	72.6	32.0	68.0	1.6	98.4	0.6	99.4
大正五年ノ平均	33.4	66.6	33.1	66.9	2.1	97.9	0.6	99.4
大正四年ノ平均	33.5	70.5	33.2	66.8	2.3	97.7	0.9	99.1

一審有罪者ノ事實上ノ前科

第一審刑法犯有罪ニ付テ法律上累犯加重ヲ爲シタルモノハ前項ノ如クナルモ事實上再犯以上ノモノハ男三萬二千二百十八人女千二百三十四人合計三萬三千四百五十二人ニシテ有罪人員ニ對スレハ男三割一女割四分三厘總人員ニ付テ二割八分九厘ナリ之ヲ法律上加重シタルモノニ比較スレハ事實上ノ再犯者ハ男一萬九千九百十五人女千〇〇六人ノ多數ニシテ是等ハ即チ刑ヲ加重セラレサルモノナリ而シテ再犯ト三犯以上ノモノヲ區別スレハ再犯者ハ男一萬五千五百十人女六百九十一人三犯以上ハ男一萬七千〇六十八人女五百四十三人ニシテ再犯者ハ男九十五人六分女四人四分三犯以上ノモノハ男九十六人九分女三人一分ノ割合ナリ

違警罪即決

各廳及ヒ各府縣警察署ニ於テ違警罪即決令ニ依リ處分ヲ爲シタルモノ次表ノ如シ

違警罪即決人員

年度	被告 總人員	科 刑		免 除
		拘 留	料 料	
大正七年	459,568	54,351	399,325	5,892
大正六年	472,147	51,829	416,450	3,868
大正五年	463,860	57,385	398,515	7,960
大正四年	417,413	58,347	356,166	2,900
大正三年	407,974	55,436	350,495	2,043

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ被告總人員二分七厘ヲ減少シタリ
被告人ノ體性ヲ區別スレハ男四十一萬二千六百五十四人女四萬六千九百十四人ニシテ男八割九分八厘女一割〇二厘ノ割合ナリ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ男〇分八厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分八厘ヲ減少シタリ
違警罪即決處分ノ成果ニ付テ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ拘留十一人八分科料八十六人九分免除一人三分ニシテ前年ニ比スレハ拘留〇人八分免除〇人五分ヲ各増加シ科料一人三分ヲ減少シタリ
罪名ニ付テ見ルニ廳府縣令違犯二十八萬八千九百〇一人ニシテ前年ヨリ一割ヲ増加シ同數ノ六割二分九厘ヲ占メ之ニ次クハ警察犯處罰令違犯十五萬五千三百四十五人ニシテ三割三分八厘ヲ占メ其ノ他鐵道營業法違犯四千七百七十人ナルモ全數ヨリ見レハ一分ニ過キス又比較の多數ナルハ娼妓取締規則違犯、宿泊規定違犯、牛馬商取締規則違犯、度量衡違犯ナルモ〇分五厘以下ノ割合ナリ

總人員ニ付テハ年々幾分ノ増加アルハ自然ノ趨勢ナルヘキモ大正七年ハ前年ヨリ二分七厘ヲ減少シ大正三年ニ比スレハ五萬一千五百九十四件ヲ増加シ之ヲ各廳ニ平均スレハ一廳千〇七十五件ノ増加ニシテ即チ一廳一ケ年平均二百六十九件ツツ増加シ來レル割合ナリ

第一審終局被告人ノ所遇

第一審事件ノ終局被告人十六萬八千五百三十六人内略式手續ニ依リタルモノ九萬四千〇七十二人通常裁判ニ依リタルモノ七萬四千四百六十四人ニシテ通常裁判ニ依リタルモノニ付テハ拘留シタルモノ四萬一千〇三十五人、拘留セサルモノ三萬二千四百二十九人（拘留五割五分一厘不拘留四割四分九厘）ニシテ前年ニ比スレハ通常裁判ニ依リタルモノ一割三分九厘略式裁判ニ依リタルモノ一割二分三厘ヲ各減少シ拘留ニ付テハ厘位未滿ノ増加ニシテ不拘留ハ二割六分四厘ヲ減少シタリ又拘留ト不拘留トノ割合ニ付テハ拘留七分七厘ヲ増加シ不拘留ハ之ニ反シ七分七厘ヲ減少シタル割合ナリ（各表ノ報告人員ト符合セサルハ各表ハ科刑別ニ計上シタルモノ本項人員ハ實數ニ依リ計上シ重複人員ナキニ因ル）

拘留期間ヲ區別スレハ十五日以内二萬三千三百五十七人一月以内一萬一千三百三十人二月以内四千三百九十九人三月以内千〇〇九人六月以内七百三十四人一年以内百六十三人一年以上四十三人ニシテ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ十五日以内五十六人九分一月以内二十七人六分二月以内十人七分三月以内二人五分六月以内一人八分一年以内〇人四分一年以上〇人一分ナリ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ一年以内ハ前年ト同一ニシテ十五日以内五人ヲ減少シ一月以内三人四分二月以内〇人七分三月以内〇人三分六月以内〇人五分一年以上〇人一分ヲ各増加シタリ

被告總人員ハ前年ヨリ減少シタルニ拘ラス拘留人員ハ前年ト殆ント同一ナルノミナラス拘留期間ニ付テハ十五日以内ノ短期ニ係ルモノノミ減少シ一月以上ノ長期ニ係ルモノノ總テ増加シタルハ注目スヘシ

拘留人員中責付シタルモノ二百〇五人 保釋シタルモノ二千五百九十一人 保釋ノ請求ヲ棄却シタルモノ四千〇二十三人ニシテ保釋ニ付テハ請求ノ六割〇八厘ハ棄却セラレ三割九分二厘ハ許可セラレタルモノナリ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ許可シタルモノハ四分四厘ヲ減少シ棄却シタルモノハ之ニ反シ四分四厘ヲ増加シタリ

拘留人員ニ付テ責付シタルモノ、保釋シタルモノ、保釋請求ヲ棄却シタルモノ、保釋請求ヲ爲ササルモノトニ區別シ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ責付〇人五分 保釋六人三分 保釋請求棄却九人八分 保釋請求ナキモノ八十三人四分ニシテ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ責付〇人二分保釋〇人七分 保釋請求棄却二人六分ヲ各増加シ保釋請求ヲ爲ササルモノ三人五分ヲ減少シタリ

保釋ヲ取消シタルモノ二十四人責付ヲ取消シタルモノ五人ニシテ保釋、責付ノ各總人員ニ對スレハ保釋百人ニ付テ取消〇人九分責付百人ニ付テ取消二人四分ノ割合ナリ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ保釋取消〇人五分ヲ増加シ責付取消三人三分ヲ減少シタリ

犯 罪 地

第一審有罪犯人十一萬五千六百六十九人（内地ニテ犯罪二十人ニシテ現住人口十萬ニ對スル比例ハ二百〇四人二分ナリ之ヲ前年ニ比スレハ二十一人一分ヲ増加シタリ）

前年ハ確定裁判ヲ經タルモノヲ以テ本年ハ一審有罪ヲ以テシタルモノ其ノ比較ニ付テハ大差ナカルヘシ月別、年齢、教育等亦同シ

人口ノ多數ナル地方ハ從テ犯人多數ナルモ人口ニ對スル割合ヲ見レハ北海道ノ如キ人口多數ナラサルニ却テ其ノ割合ハ常ニ多數ノ首位ヲ占メ鳥取、福井ノ如キハ福岡、神戸ノ上ニアリ是等ハ附録圖表ニ概説シタルヲ以テ見ルヘシ

犯罪地ヲ市街、村落ニ區別スレハ市街ニ於ケルモノ六萬〇百四十七人村落ニ於ケルモノ五萬五千五百二十二人ニシテ市街五十二人村落四十八人ノ割合ナリ之ヲ前年ニ比スレハ市街ニ於ケルモノ一人八分減少シ村落ニ於ケルモノハ之ニ反シ一人八分ヲ増加セリ

初犯者及前科者ヲ區別スレハ（事實上ノ再犯者ヲ前科者トス以下同之）初犯者八萬二千二百四十一人前科者三萬三千四百五十二人ニシテ前年ニ比スレハ前科者一分八厘ヲ増加セリ而シテ市街ニ於ケル前科者一萬八千三百三十六人村落ニ於ケル前科者一萬五千百十六人ニシテ各總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ市街ハ初犯者六十九人五分前科者三十人五分 村落ハ初犯者七十二人八分前科者二十七人二分ニシテ前年ニ比スレハ市街ニ於ケル前科者一人九分減少シ村落ニ於ケル前科者六人三分ヲ増加シタリ又前科者ノニニ付テ市街村落ノ比例ヲ舉クレハ市街五十四人八分 村落四十五人二分ニシテ前年ニ比スレハ市街ニ於ケルモノ一人八分ヲ減少シ村落ニ於ケルモノハ之ニ反シ一人八分ヲ増加シタリ

控訴院別罪質ヲ示セハ次表ノ如シ

控訴院別犯罪地及罪質

控 訴 院	國家及公ノ秩序ニ對スル罪	人ニ對スル罪	財產ニ對スル罪	計	總數百ニ對スル比例		
					國家及公ノ秩序ニ對スル罪	人ニ對スル罪	財產ニ對スル罪
東京控訴院	21,073	2,628	10,038	33,739	62.5	7.8	29.7
大阪控訴院	18,141	1,561	6,634	26,336	68.9	5.9	25.2
名古屋控訴院	9,295	715	3,603	13,613	68.3	5.3	26.4
廣島控訴院	5,979	1,011	3,987	10,977	54.5	9.2	36.3
長崎控訴院	6,564	1,851	4,343	12,758	51.5	14.5	34.0
宮城控訴院	5,388	1,000	3,158	9,546	56.4	10.5	33.1
函館控訴院	5,245	853	2,602	8,700	60.3	9.8	29.9
計	71,685	9,619	34,365	115,669	62.0	8.3	29.7

地方別犯罪人員及地方別人口十萬ニ對スル比例ヲ示セハ次表ノ如シ猶ホ賭博、窃盜、詐欺其ノ

他ノ特殊犯罪ニ付テハ附録圖表ヲ見ルヘシ

地方 裁判所	大 正 七 年						大 正 六 年						大 正 五 年					
	被告 人員	總數百=對 スル比例		人口十萬=對 スル比例		被告 人員	總數百=對 スル比例		人口十萬=對 スル比例		被告 人員	總數百=對 スル比例		人口十萬=對 スル比例				
		市街	村落	市街	村落		市街	村落	市街	村落		市街	村落	市街	村落			
東京 東横 浦和 千葉 水戸 前橋 野田 長野	9,799 4,369 1,479 2,291 2,601 1,640 1,377 3,605 1,169 2,671 2,748	95 78 38 41 24 55 54 33 24 35 46	5 22 62 59 76 45 46 67 76 65 54	333 364 107 160 190 153 120 223 187 171 138	317 81 66 95 45 84 69 73 45 60 63	15 283 41 66 145 70 60 151 142 111 75	10,586 4,264 1,445 2,689 1,915 1,191 1,150 2,895 1,199 2,130 1,964	94 79 38 22 31 48 32 38 23 34 40	6 21 62 78 69 52 68 62 77 66 60	363 359 108 199 136 123 109 183 195 139 100	343 283 40 66 43 55 35 70 45 47 40	20 76 66 94 156 58 74 113 150 92 60	10,856 3,804 1,371 2,126 1,544 1,218 1,231 2,108 1,497 2,493 1,803	91 79 35 33 18 31 37 39 19 26 40	9 21 65 67 82 69 63 61 81 74 60	376 323 101 110 159 117 119 136 246 165 93	342 255 36 36 29 36 44 53 47 43 37	34 68 65 74 130 81 75 83 199 122 56
京都 大阪 神戶 奈良 和歌山 高松	8,738 8,597 4,967 1,036 922 2,626 1,514 1,732 1,204	71 83 59 36 29 47 36 31 32	29 17 41 64 71 53 64 69 68	275 354 215 169 135 320 201 220 164	194 293 123 61 39 151 129 68 52	80 61 92 108 95 169 931 1,363 757	2,966 7,609 4,858 1,006 416 2,051 931 1,363 757	68 82 64 38 34 45 33 29 33	32 18 36 62 66 55 67 71 67	223 320 223 166 61 254 125 176 105	153 263 142 63 103 139 83 124 35	70 57 81 877 673 1,590 814 1,296 930	69 85 54 38 25 49 33 38 29	31 15 41 62 75 51 67 62 71	219 355 227 146 99 200 107 169 129	151 302 134 55 25 98 35 64 37	68 93 53 91 74 102 72 105 92	
名古屋 岐阜 富山	4,439 2,425 2,305 1,779 1,072 1,595	74 40 42 41 49 45	26 60 58 59 51 55	206 215 202 268 133 194	153 86 85 112 64 87	53 129 117 156 69 107	3,886 1,994 1,541 1,426 1,028 1,139	68 32 47 39 43 47	32 68 53 61 57 53	184 179 137 217 128 140	124 57 64 84 55 65	60 122 73 133 73 75	3,487 1,500 1,549 1,032 727 1,055	58 38 39 43 40 46	42 62 61 57 60 54	168 136 140 158 91 131	97 84 85 90 55 71	
廣島 山口 岡山 鳥取 松江 松山	2,238 1,207 2,854 1,379 1,012 2,287	57 36 42 33 39 36	43 64 58 67 61 64	130 109 220 284 130 197	73 39 127 94 51 71	57 70 93 190 79 126	2,737 1,150 2,442 911 741 2,160	54 40 36 28 21 27	46 60 64 72 79 73	161 105 190 190 96 188	86 42 68 54 20 50	75 63 122 136 76 138	2,980 1,207 2,601 984 740 2,481	51 36 42 58 23 26	49 64 58 205 71 74	177 111 205 86 208 218	90 40 86 119 148 161	
長崎 佐賀 福岡 大分 熊本 鹿兒島 宮崎 那覇	1,375 1,016 4,428 1,278 1,820 1,031 1,005 805	29 24 55 41 28 19 34 26	61 76 45 59 72 81 66 74	123 144 221 135 134 69 155 142	47 35 121 55 37 13 52 37	76 109 100 81 97 56 634 105	1,201 817 3,901 954 1,554 995 634 495	39 19 51 45 20 17 29 28	61 20 49 55 89 83 71 72	108 117 199 102 116 68 100 88	42 23 101 46 24 12 56 24	66 94 98 56 92 56 71 64	2,227 699 3,428 1,092 1,377 1,094 623 379	32 24 57 31 27 17 23 36	68 76 43 69 73 83 77 64	202 100 478 118 104 76 100 69	65 24 101 37 28 13 23 25	137 76 77 81 76 63 77 44
仙臺 福島 山形 盛岡 秋田 青森	1,365 2,355 1,127 1,060 1,377 2,254	45 38 49 40 42 23	55 62 51 60 58 77	140 175 111 119 142 282	62 67 55 48 60 65	78 108 57 71 82 217	1,251 2,055 820 858 1,329 1,510	42 34 41 29 46 20	58 66 59 71 54 80	130 155 82 97 139 192	55 52 33 28 64 38	75 103 49 69 75 154	1,081 1,579 940 1,033 1,598 1,241	48 36 40 31 40 22	52 64 60 69 60 78	114 128 95 119 168 160	55 46 38 82 101 35	
函館 札幌 旭川 釧路 帯広 網走	1,720 2,846 2,002 1,351 691	51 51 24 37 43	49 49 76 63 57	562 344 441 529 1,044	289 186 106 192 447	273 178 335 338 597	1,825 3,059 2,141 1,657 841	51 43 24 30 49	49 57 76 70 51	596 391 451 649 1,256	306 170 343 192 611	290 221 343 457 645	1,595 3,506 1,260 1,473 508	66 38 16 38 52	34 62 84 62 48	521 448 266 577 768	344 170 43 219 399	

犯時月別

第一審有罪刑法犯ニ係ル犯罪ノ月別區別スレハ
 一月一萬四千二百五十八人 二月一萬四千三百
 三十五人 三月一萬一千四百四十五人 四月九千
 六百六十三人 五月八千三百八十六人 六月六千
 六百六十五人 七月七千三百三十七人 八月一萬
 一千三百三十一人 九月九千四百六十六人 十月八
 千二百二十人 十一月七千二百七十七人 十二月
 八千九百三十人平均一ヶ月九千六百四十一人ニ
 シテ犯人ノ最モ多キハ二月ニシテ之ニ次クハ一
 月、三月ナリ而シテ犯人ノ最モ少キハ六月ナリ
 之ヲ前年ニ比スレハ犯人ノ割合ハ略ホ相似タリ
 犯罪ノ月別ニ春季(三月乃至五月)夏季(六月乃至八月)秋季(九月乃至十一月)冬季(十二月乃至二月)ニ區別スレハ春季ニ於テ二萬八千
 六百九十四人夏季ニ於テ二萬四千九百三十三人
 秋季ニ於テ二萬四千五百四十三人冬季ニ於テ三
 萬七千五百二十三人ニシテ前年ニ比スレハ春季
 一割四分二厘夏季一割〇一厘ヲ各増加シ秋季ハ
 厘位未滿ヲ減少シ冬季ハ九分一厘ヲ増加シタリ
 各季ノ總數百=對スル比例ヲ舉クレハ春季二十
 四人八分 夏季二十一人六分 秋季二十一人二
 分 冬季三十二人四分ニシテ前年ニ比スレハ春
 季一人二分夏季〇人四分冬季〇人二分ヲ各増加
 シ秋季一人八分ヲ減少シタリ
 各季ニ付テ三割以上ヲ占ムル犯罪ヲ舉クレハ春
 季ニ於テハ犯人藏匿罪四十七人信用業務ニ對ス

ル罪四十五人逃走罪三十六人禮拜所及墳墓ニ關
 スル罪三十五人失火罪三十三人猥褻、證券偽造
 罪、往來妨害罪各三十一人公務妨害罪三十人ヲ
 有シ 夏季ニ於テハ騷擾罪八十七人溢水罪七十
 三人毀棄罪六十人秘密侵害罪五十人住居侵入、
 通貨偽造罪各四十六人脅迫罪四十二人阿片煙ニ
 關スル罪四十一人放火三十六人信用業務ニ對ス
 ル罪三十五人誣告、傷害罪各三十一人横領罪三
 十人ヲ有シ 秋季ニ於テハ逮捕監禁罪三十八人
 横領罪三十一人ニ有シ 冬季ニ於テハ印章偽造
 罪四十三人賭博罪、阿片煙ニ關スル罪各四十一
 人贖職罪三十六人失火罪三十二人公務妨害、逃
 走、偽造罪各三十人ナリ冬季ニ於ケル犯人ノ數
 ハ既往五年間略ホ相同シク最モ多數ナルハ冬季
 ニシテ之ニ次クハ春季ナリ夏季ハ最モ少キ季節
 ナルモ本年ニ於ケル夏季ハ秋季ヨリ三百九十八
 人増加シタリ
 之ヲ各罪ニ付テ概説スレハ失火、往來妨害、犯
 人藏匿、過失傷害罪ハ春季ニ多ク遺棄、誘拐罪
 ハ秋季冬季ニ多ク偽造罪ハ冬季ニ多ク窃盜、詐
 欺、横領、贓物等ノ各罪ハ各季二十人以上ナル
 モ冬季ハ稍ヤ多數ナルカ如シ
 是等ハ既ニ略述シタル檢事及警察ノ取扱ニ係ル
 起訴猶豫及釋放ノ犯罪月別年齡其ノ他ノ事項ト
 綜合シテ研究スヘシ
 各季ニ於ケル各罪ノ比例ヲ示セハ次表ノ如シ

罪名	大正七年				大正六年				大正五年						
	被告人員	總數百=對スル比例				被告人員	總數百=對スル比例				被告人員	總數百=對スル比例			
		春季	夏季	秋季	冬季		春季	夏季	秋季	冬季		春季	夏季	秋季	冬季
皇室=對スル罪	2	—	100	—	—	4	—	75	—	25	—	—	—	—	
公務ノ執行ヲ妨害スル罪	200	30	23	17	30	143	18	36	26	20	213	22	33	19	26
逃走ノ罪	44	36	23	11	30	33	46	21	27	6	51	23	35	20	22
犯人藏匿及證憑滅没ノ罪	49	47	12	18	23	30	37	13	13	37	56	30	27	13	30
竊盜ノ罪	3,264	4	87	8	1	180	23	28	8	41	367	6	24	44	26
放火ノ罪	496	26	36	14	24	390	26	26	20	28	531	29	21	20	30
失火ノ罪	3,406	33	18	17	38	3,145	37	16	15	32	2,852	34	18	15	33
澁水及水利=關スル罪	40	16	73	17	—	40	13	80	2	5	29	10	66	24	—
往來ヲ妨害スル罪	140	31	26	19	24	101	18	26	30	26	100	27	15	45	13
住居ヲ侵スル罪	773	24	46	20	10	666	21	38	26	17	711	21	39	23	17
秘密ヲ侵スル罪	4	25	50	—	25	8	25	25	13	37	2	50	50	—	—
阿片煙=關スル罪	17	—	41	18	41	15	26	27	27	20	39	18	31	31	20
飲料水=關スル罪	11	27	27	27	19	18	28	22	22	23	12	17	25	25	33
通貨偽造ノ罪	35	26	46	8	20	45	47	14	10	29	133	21	27	21	31
文書偽造ノ罪	1,178	29	21	23	27	1,457	32	19	22	27	1,587	27	21	22	30
有價證券偽造ノ罪	225	31	19	25	25	201	31	24	18	27	227	26	22	24	28
印章偽造ノ罪	72	23	9	20	43	38	26	24	21	29	46	26	22	33	10
偽證ノ罪	259	26	22	22	30	274	35	20	25	20	297	28	20	27	25
誣告ノ罪	149	21	31	22	26	181	33	17	24	26	186	30	17	20	33
猥褻淫及重婚ノ罪	430	32	25	27	16	483	29	29	19	22	430	28	33	23	16
賭博及當籤=關スル罪	60,135	25	14	20	41	57,336	22	17	22	39	50,752	25	15	20	40
禮拜所及墳墓=關スル罪	91	35	26	18	21	94	30	21	31	18	82	27	26	24	23
瀆職ノ罪	667	21	25	18	36	420	29	18	20	33	424	26	28	19	27
殺人ノ罪	810	29	28	18	25	479	26	29	23	23	881	27	25	23	25
傷害ノ罪	5,968	27	31	22	20	5,569	23	34	24	19	5,722	23	32	25	20
過失傷害ノ罪	1,669	28	24	24	24	1,372	24	26	26	24	1,061	26	26	24	24
墮胎ノ罪	563	27	26	26	21	497	25	25	28	22	506	29	28	18	25
遺棄ノ罪	39	28	13	31	28	51	25	39	16	20	50	22	24	38	16
逮捕及監禁ノ罪	40	25	25	38	12	41	22	22	44	12	29	14	28	41	17
脅迫ノ罪	335	17	42	25	16	203	27	25	25	23	202	21	23	23	33
略取及誘拐ノ罪	97	25	18	29	28	65	12	29	34	25	73	26	23	22	29
名譽=對スル罪	82	24	28	26	22	83	23	29	24	24	88	19	27	31	23
信用及業務=對スル罪	20	45	35	15	5	26	31	35	11	23	57	14	11	47	28
竊盜ノ罪	18,981	27	23	24	26	18,766	24	25	26	25	20,212	25	25	23	27
強盜ノ罪	404	27	26	20	27	410	23	23	27	27	551	19	21	29	31
詐欺及恐喝ノ罪	6,854	23	29	22	26	6,436	24	26	23	27	7,788	25	24	22	29
横領ノ罪	5,775	21	30	31	18	5,056	22	24	34	20	4,424	24	27	24	25
贓物=關スル罪	2,000	29	22	25	24	1,856	28	24	24	24	1,611	27	20	21	32
毀棄及隠匿ノ罪	387	17	60	11	12	208	21	47	19	13	228	28	28	25	19

年 齡

第一審刑法犯有罪犯人ノ年齢ヲ區別スレハ次表ノ如シ(年齢不明ノモノ七十三人ヲ除ク)

第一審 有罪刑法犯人ノ年齢別

年齢別	刑法犯有罪犯人例	總數百=對スル比	前年=對スル		總數百=對スル比例=付テ	
			増	減	増	減
十四年以上	510	0.4	—	223	—	0.3
十六年未滿	2,289	2.0	—	184	—	0.3
十八年未滿	4,509	3.9	—	178	—	0.5
二十年未滿	15,899	13.8	921	—	—	0.2
二十五年未滿	18,897	16.3	873	—	—	0.6
三十年未滿	36,305	31.4	2,453	—	—	—
四十年未滿	23,506	20.3	3,329	—	—	0.3
五十年未滿	9,559	8.3	1,280	—	1.4	—
六十年未滿	3,557	3.1	516	—	0.5	—
七十年未滿	589	0.5	112	—	0.3	—
七十以上	—	—	—	—	—	—
合計	115,620	100.0	9,484	585	2.2	2.2

前表ニ依レハ犯人ノ實數ハ二十年未滿全部減少シ二十年以上全部増加シタリ前年ハ五十年未滿ハ全部増加シ五十年以上ハ全部減少シタルニ本年ハ前年ト反對ノ現象ヲ示シタリ

有罪人員ハ前年ヨリ八千八百九十九人(八分三厘)ヲ増加シタリ是等ハ騷擾罪及賭博罪ニテ約六千人詐欺及横領罪ニテ約千人其ノ他失火罪、過失傷害罪、竊盜罪等ニテ約千人餘ヲ増加シ概シテ各罪トモニ増加シ減少セルハ通貨偽造、墮胎、強盜等ノ十餘罪ナルカ爲ナリ而シテ未成年

者ノ割合ハ騷擾罪及過失傷害罪ニ於テ多少増加セルノミニテ賭博、竊盜、詐欺、横領罪ニ付テ總テ百分ノ一人餘ヲ減少シタルニ因リ結局前記ノ現象ヲ示セルモノナルヘシ

未成年者ニ付テハ別項ヲ見ルヘシ
年齢別本籍人口十萬ニ對スル刑法犯人ノ比例ヲ舉ケレハ

十四年以上	百二十二人四分
二十年未滿	三百七十二人二分
二十五年未滿	四百七十六人一分
三十年未滿	四百九十三人八分
四十年未滿	四百三十五人六分
五十年未滿	二百三十二人八分
六十年未滿	百十六人九分
七十年未滿	三十五人七分
七十以上	—
平均	三百二十三人四分

前記比例ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ二十年未滿九人八分ヲ減少シタルノミニシテ二十五年未滿二十一人六分三十年未滿二十二入四十年未滿三十三人三分五十年未滿六十一人七十年未滿十六人九分七十以上六人七分ヲ各増加シ平均人員二十五人ヲ増加シタリ

(人口ハ第三十七統計年盤所載本籍人口ニ依ル但シ樺太ハ年齢別不明ニヨリ算入セズ)

又年齢ヲ未成年者(二十年未滿)壯年者(二十年以上四十年未滿)老年者(四十年以上六十年未滿)老年者(六十以上)ノ四階級ニ區別スレハ未成年者七千三百〇八人壯年者七萬一千百〇

一人高年者三萬三千〇六十五人老年者四千四百十六人ニシテ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ未成年者六人三分壯年者六十一人五分高年者二十八人六分老年者三人六分ナリ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ未成年者壯年者各一人一分ヲ減少シ高年者一人九分老年者〇人三分ヲ各増加シタリ

年齢階級別ニ付テ各罪ノ割合ヲ略記スレハ次ノ如シ實數僅少ナルモノハ除外ス

未成年者ノ犯罪ハ平均六分三厘ニシテ放火罪二割二分往來妨害、騷擾、竊盜ノ各罪ハ一割五分乃至二割一分ヲ占メ其ノ他一割以上ヲ占ムルハ通貨偽造、毀棄、墮胎、強盜、住居侵入、證券偽造ノ六罪ナリ

壯年者ノ犯罪ハ平均六割一分五厘ニシテ過失傷害七割三分住居侵入、傷害、猥褻罪各七割二分殺人、強盜、竊盜、誘拐、詐欺、騷擾、監禁ノ各罪ハ六割五分乃至七割二分ヲ占メ其ノ他六割以上ヲ占ムルハ證券偽造、毀棄ノ二罪ナリ

高年者ノ犯罪ハ平均二割八分六厘ニシテ偽證罪五割一分瀆職、禮拜所及墳墓ニ對スル罪、印章、文書偽造、誣告ノ各罪ハ四割三分乃至四割六分名譽ニ對スル罪、贓物、賭博、公務妨害、通貨偽造、橫領、監禁、脅迫ノ各罪ハ三割三分乃至三割九分ヲ占メ其ノ他三割以上ヲ占ムルハ失火、墮胎、溢水ニ關スル三罪ナリ

老年者ノ犯罪ハ平均三分六厘ニシテ墮胎罪一割三分失火罪一割二分誣告罪一割偽證罪九分放火

罪六分ヲ占メ其ノ他四分以上ヲ占ムルハ橫領、賭博、瀆職、贓物ノ四罪ナリ

未成年者ノ有罪人及累犯關係

第一審刑法犯有罪人員中未成年ニ係ルモノ七千三百八人内男六千七百九十一人(九割二分九厘)女五百七十七人(七分一厘)ニシテ前年ニ比スレハ男七分女一割二分四厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ七分四厘ヲ減少シ男女ノ割合ニ付テハ男〇分四厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇分四厘ヲ減少シタリ

未成年者ノ内事實上再犯ニ係ルモノ七百三十人(初犯者九割〇分八厘前科者九分二厘)ニシテ前年ニ比スレハ三割二分五厘ヲ減少シ初犯者ノ割合ニ付テハ四分五厘ヲ増加シ前科者ノ割合ハ之ニ反シ四分五厘ヲ減少シタリ

有罪未成年者ノ累年比較

年度	種別	未成年者ノ有罪總人員	初犯者		累犯者		有罪總人員百ニ對スル比例	
			初犯者	累犯者	初犯者	累犯者	初犯者	累犯者
大正七年	男	6,791	6,082	709	89.6	10.4		
	女	517	496	21	95.9	4.1		
大正六年	男	7,308	6,578	730	90.0	10.0		
	女	7,303	6,257	1,046	85.7	14.3		
大正五年	男	590	554	36	93.9	6.1		
	女	7,893	6,311	1,082	86.3	13.7		
大正四年	男	6,351	5,423	928	85.4	14.6		
	女	543	496	47	91.3	8.7		
大正三年	男	6,894	5,919	975	85.9	14.1		
	女	6,149	5,101	1,048	83.0	17.0		
大正二年	男	568	522	46	91.9	8.1		
	女	6,717	5,623	1,094	83.7	16.3		
大正一年	男	6,822	5,511	1,311	80.8	19.2		
	女	620	576	44	91.6	8.4		
計		7,451	6,087	1,364	81.7	18.3		

前科者ノ體性ヲ區別スレハ男七百九人女二十一人ニシテ前年ニ比スレハ男三割二分三厘女四割

一分六厘ヲ各減少シタリ

體性別前科者ノ割合ヲ舉クレハ男ニアリテハ前科者一割〇分四厘女ニアリテハ前科者四分一厘ナリ

又男女ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ男ノ前科者九十七人一分女ノ前科者二人九分ニシテ前年ニ比スレハ男〇人四分ヲ増加シ女ハ之ニ反シ〇人四分ヲ減少シタリ

未成年者ノ罪質ヲ大別スレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪二千九百四十五人、人ニ對スル罪六百四十七人、財産ニ對スル罪三千七百十六人ニシテ前年ニ比スレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪五分六厘人ニ對スル罪四分五厘ヲ各増加シ財産ニ對スル罪一割七分二厘ヲ減少シタリ

又罪質ニ依リ體性ヲ區別スレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪ニアリテハ男二千七百四十一人女二百四人(男九割三分一厘女六分九厘)人ニ對スル罪ニアリテハ男五百二十八人女百十九人(男八割一分六厘女一割八分四厘)財産ニ對スル罪ニアリテハ男九千八百二十二二人女百九十三人(男九割八分一厘女一分九厘)ニシテ男ノ割合ハ各罪概シテ八割乃至九割ヲ占メ比較的多數ナルハ財産ニ對スル罪ナリ是等ハ一般犯罪ニ於テモ竊盜ノ如キハ賭博ニ次テ多數ナルモノナルニヨリ未成年者ニ於テモ亦多數ナルモノナルヘシ女ノ割合ハ財産ニ對スル罪及國家公ノ秩序ニ對ス

ル罪ニ於テ二分乃至七分ナルモノニ對スル罪ニアリテ比較的多數ナルハ嬰兒殺又ハ墮胎罪ニ於ケルモノ多數ナルニ因ルヘシ男女ノ割合ヲ前年ニ比スレハ國家公ノ秩序ニ對スル罪ニアリテハ男一厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ一厘ヲ減少シ人ニ對スル罪ニアリテハ男二分九厘ヲ増加シ女ハ之ニ反シ二分九厘ヲ減少シ財産權ニ對スル罪ニアリテハ男四分ヲ増加シ女ハ之ニ反シ四分ヲ減少シタリ

猶ホ罪質ニ付テ未成年者ノ初犯者前科者ノ區別ヲ舉クレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪ニアリテハ初犯者二千八百七十一人(九割七分五厘)前科者七十四人(二分五厘)人ニ對スル罪ニアリテハ初犯者六百二十七人(九割六分九厘)前科者二十人(三分一厘)財産ニ對スル罪ニアリテハ初犯者三千〇八十人(八割二分九厘)前科者六百三十六人(一割七分一厘)ニシテ前科者ハ財産ニ對スル罪ニアリテ一割七分一厘ヲ有スルノミ他ハ舉クルニ足ラス又女ノ前科者ハ財産ニ對スル罪ノミニシテ女ノ總人員ニ對スレハ四分二厘ナリ之ヲ前年ノ割合ニ比スルモ亦一分九厘ヲ減少シタリ

前記未成年者及成年者全部ノ刑法犯有罪總人員ニ付テ年齢階級ニ於ケル各罪ノ比例ヲ示セハ次表ノ如シ是亦檢事ノ起訴猶豫及警察ニ於ケル釋放人員ノ年齢別ト綜合シテ研究スヘシ

罪名	大正七年				大正六年				大正五年						
	被告人員	總數百=對スル比例			被告人員	總數百=對スル比例			被告人員	總數百=對スル比例					
		未成年者	壯年者	老年者		未成年者	壯年者	老年者		未成年者	壯年者	老年者			
皇室ニ對スル罪	2	—	100	—	4	25	75	—	—	—	—	—	—		
公務ノ執行ヲ妨害スル罪	200	2	60	34	4	142	1	65	31	3	213	7	52	36	5
逃走ノ罪	44	10	86	4	—	33	12	79	9	—	51	12	82	6	—
犯人藏匿及證憑湮滅ノ罪	49	12	45	37	6	30	3	50	47	—	56	7	46	43	4
騷擾ノ罪	3,264	18	65	17	—	180	16	65	18	1	367	15	67	17	1
放水ノ罪	495	22	55	17	6	391	21	48	26	5	531	19	46	26	9
失火ノ罪	3,406	8	48	32	12	3,144	8	47	33	12	2,852	8	48	32	12
溢水及水利ニ關スル罪	40	—	55	30	15	40	2	40	50	8	29	3	66	28	3
往來ヲ妨害スル罪	140	21	59	17	3	101	25	63	12	—	100	29	56	15	—
住居ヲ侵スル罪	773	11	72	16	1	666	16	69	14	1	711	15	69	15	1
秘密ヲ侵スル罪	4	—	50	50	—	8	—	50	50	—	2	—	50	50	—
阿片煙ニ關スル罪	17	—	88	12	—	15	—	60	40	—	39	—	51	46	3
飲料水ニ關スル罪	11	—	27	55	18	18	6	50	38	6	12	16	42	42	—
通貨偽造ノ罪	35	14	46	34	6	49	8	49	35	8	133	2	47	45	6
文書偽造ノ罪	1,171	3	49	42	6	1,458	3	49	43	5	1,590	2	53	40	5
有價證券偽造ノ罪	219	10	64	23	3	201	6	75	19	—	227	7	64	27	2
印章偽造ノ罪	70	—	54	43	3	38	3	42	52	3	47	2	66	30	2
偽證ノ罪	259	2	38	51	9	274	2	36	50	10	297	3	41	47	9
誣告ノ罪	149	3	44	43	10	181	1	44	45	10	186	2	44	47	7
猥褻、姦淫及重婚ノ罪	430	5	72	21	2	484	7	68	22	3	430	9	69	19	3
賭博及當籤ニ關スル罪	60,105	3	59	34	4	57,346	4	63	30	3	50,735	3	61	32	4
禮拜所及墳墓ニ關スル罪	91	1	44	48	7	94	6	49	32	13	87	6	44	41	9
瀆職ノ罪	667	—	49	46	5	421	1	48	45	6	424	1	48	45	6
殺人ノ罪	809	8	68	21	3	749	7	69	20	4	881	10	67	19	4
傷害ノ罪	5,967	6	72	21	1	5,567	6	73	19	2	5,723	7	71	20	2
過失傷害ノ罪	1,669	9	73	16	2	1,372	8	76	14	2	1,061	10	72	16	2
墮胎ノ罪	563	12	45	30	13	497	17	43	26	14	506	10	50	25	15
遺棄ノ罪	39	3	41	41	15	51	4	63	33	—	50	2	52	44	2
逮捕及監禁ノ罪	40	—	65	33	2	41	—	59	41	—	29	7	72	17	4
脅迫ノ罪	335	5	58	33	4	204	4	64	31	1	202	12	64	19	5
略取及誘拐ノ罪	97	4	67	27	2	65	—	68	26	6	73	—	63	30	7
名譽ニ對スル罪	82	2	55	39	4	83	1	65	33	1	88	2	48	43	7
信用及業務ニ對スル罪	20	—	75	25	—	26	—	62	38	—	57	4	61	33	2
竊盜ノ罪	18,966	15	67	16	2	18,772	19	63	16	2	20,262	16	66	16	2
強盜ノ罪	399	11	69	17	3	410	12	71	14	3	551	12	69	18	1
詐欺及恐喝ノ罪	6,852	5	66	27	2	6,438	8	66	24	2	7,790	6	65	27	2
横領ノ罪	5,774	5	57	33	5	5,060	6	61	29	4	4,441	6	61	30	3
贓物ニ關スル罪	2,000	2	58	36	4	1,859	2	55	38	5	1,612	3	56	36	5
毀棄及隱匿ノ罪	367	13	64	20	3	208	10	68	20	2	228	4	63	26	7

職業
被告人ノ犯時職業ヲ區別スレハ

(職業不明ノモノ五百六十一人ヲ除ク)

農業者 三萬三千八百九十九人
工業者 二萬六千二百二十六人
商業、交通業者 二萬六千六百九十八人
公務、自由業者 二千四百十八人
奴婢日雇人夫其ノ他 一萬一千六百〇四人
無職業者 一萬四千二百八十七人

ニシテ其ノ總數百=對スル比例ヲ舉クレハ農業者二十九人四分 工業者二十二人八分 商業、交通業者二十三人二分 公務、自由業者二人一分 奴婢日雇人夫其ノ他十人一分 無職業者十二人四分ニシテ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ農業者三人八分工業者〇人三分ヲ各増加シ商業、交通業者〇人三分公務、自由業者〇人三分奴婢日雇人夫其ノ他〇人六分無職業者二人七分ヲ各減少シタリ

業務ノ關係ヲ區別スレハ主業者及家長者十萬〇六百八十五人補助者五千九百九十七人家族者八千四百五十人ニシテ前年ニ比スレハ主業者及家長者一割九分一厘増加シ補助者一割八分八厘家族者四割一分九厘ヲ各減少シタリ之ヲ各業ニ區別スレハ農業者ハ主業者二萬八千九百七十人補助者三千四百〇七人家族者千五百二十二人工業者ハ主業者二萬四千四百六十人補助者千七百七十二人家族者五百九十四人 商業、交通業者ハ主

業者二萬四千七百七十八人補助者千三百三十六人家族者五百八十四人 公務、自由業者ハ主業者二千二百三十九人補助者八十二人家族者九十七人 奴婢日雇人夫其ノ他ニアリテハ主業者一萬一千二百三十九人家族者三百六十五人無職業者ニアリテハ家長者八千九百九十九人家族者五千二百八十八人ニシテ各其ノ總數百=對スル比例ヲ舉クレハ

農業者 主業者八五、五補助者一〇、〇 家族者四、五
工業者 主業者九三、三補助者 四、五 家族者二、二
商業、交通業者 主業者九二、八補助者 五、〇 家族者二、二
公務、自由業者 主業者九二、六補助者 三、四 家族者四、〇
奴婢日雇人夫其ノ他 主業者九六、九 家族者三、一
無職業者 家長者六三、〇 家族者三七、〇

之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ主業者ハ公務、自由業者ニ於テ減少セルノミニシテ農工商其ノ他、總テ増加シタリ又補助者ハ之ニ反シ公務、自由業者ニ於テ増加セルノミニシテ他ハ總テ減少シタリ家族者ハ商業、交通業者及公務、自由業者ニ於テ増加セルノミニシテ他ハ總テ減少シタリ職業別ニ付テ各罪ノ割合ヲ示セハ次表ノ如シ

Table with columns for years (大正七年, 大正六年, 大正五年) and various crime categories (e.g., 竊盜, 強盜, 殺人). It includes sub-columns for '人員' (Personnel) and '總數百=對スル比例' (Percentage of total).

前表ニ依リ犯罪人千人以上ヲ有スル犯罪ニ付テ職業ヲ區別スレハ

騷擾罪三千二百八人ニ付テハ最も多數ナルハ工業者千五百〇五人(百分ノ四十七人)ニシテ之ニ次クハ農業者六百八十三人(百分ノ二十一)商業、交通業者六百四十五人(百分ノ二十)ナリ

失火罪三千三百九十三人ニ付テハ最も多數ナルハ農業者千七百九十七人(百分ノ五十三)ニシテ之ニ次クハ工業者四百九十四人(百分ノ十五)無職業者四百七人(百分ノ十二)ナリ

文書偽造罪千六百六十三人ニ付テハ最も多數ナルハ農業者四百四十四人(百分ノ三十八)ニシテ之ニ次クハ商業、交通業者二百三十人(百分ノ二十)公務、自由業者百七十三人(百分ノ十五)ナリ

賭博罪五萬九千八百二十七人ニ付テハ最も多數ナルハ農業者一萬九千八百八十人(百分ノ三十三)ニシテ之ニ次クハ商業、交通業者一萬五千三百七十人(百分ノ二十六)工業者一萬三千六百七十四人(百分ノ二十三)ナリ

雇人夫其ノ他及無職業者ハ百分ノ七人乃至十人ニシテ公務、自由業者ハ百分ノ一人ナリ

傷害罪五千九百四十二人ニ付テハ最も多數ナルハ工業者二千〇二十四人(百分ノ三十四)ニシテ之ニ次クハ農業者千七百二十五人(百分ノ二十九)商業、交通業者千二百三十二人(百分ノ二十一)ナリ

過失傷害罪千六百六十九人ニ付テハ最も多數ナルハ商業、交通業者一千〇八十八人(百分ノ六十五)ニシテ之ニ次クハ農業者二百七十六人(百分ノ十六)ナリ

竊盜罪一萬八千九百四十三人ニ付テハ最も多數ナルハ無職業者五千八百八十三人(百分ノ三十一)ニシテ之ニ次クハ工業者四千四百十四人(百分ノ二十三)ナリ

詐欺、恐喝罪六千八百二十三三人ニ付テハ最も多數ナルハ無職業者千六百四十三人(百分ノ三十八)ニシテ之ニ次クハ商業、交通業者千五百六十四人(百分ノ二十三)ナリ

横領罪五千七百五十六人ニ付テハ最も多數ナルハ農業者二千三百二十六人(百分ノ四十人)ニシテ之ニ次クハ商業、交通業者一千〇六十八人(百分ノ十九人)ナリ工業者ハ百分ノ十五人無職業者ハ百分ノ十一人ニシテ奴婢日雇人夫其ノ他ハ百分ノ八人公務、自由業者ハ百分ノ七人ナリ

脏物罪千九百八十九人ニ付テハ最も多數ナルハ商業、交通業者千三百三十四人(百分ノ五十七人)ニシテ之ニ次クハ工業者三百二十二人(百分ノ十六人)農業者二百二十人(百分ノ十一人)ナリ奴婢日雇人夫其ノ他ト無職業者ハ殆ント相同シク百分ノ七人乃至八人ニシテ最も少キハ公務自由業者ノ百分ノ一人ナリ

而シテ又放火、強盜、殺人罪ニ付テ其ノ割合ヲ舉クレハ放火罪ハ農業者三割三分工業者二割七分奴婢日雇人夫其ノ他一割五分商業、交通業者一割三分無職業者一割一分公務、自由業者一分ナリ強盜罪ハ無職業者三割八分工業者三割商業交通業者一割一分農業者一割奴婢日雇人夫其ノ他九分公務、自由業者二分ナリ殺人罪ハ工業者四割農業者二割七分商業、交通業者及無職業者一割一分乃至一割二分奴婢日雇人夫其ノ他八分公務、自由業者二分ノ割合ナリ

教 育

第一審刑法犯有罪犯人ノ教育程度ヲ區別スレハ(教育程度不明ノモノ及略式手續ニ依リタル爲メ調査セサルモノ五萬二千七百八十六人ヲ除ク)

高等教育ヲ受ケタルモノ百十四人中等教育ヲ受ケタルモノ八百七十人普通教育ヲ受ケタルモノ二萬四千三百七十八人文字ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノ二萬九千三百五十二人全ク教育ナキモノ八千九百九十三人ニシテ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ高等教育ヲ受ケタルモノ〇人二分中等教育ヲ受ケタルモノ一人四分普通教育ヲ受ケタルモノ三十八人七分文字ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノ四十六人七分全ク教育ナキモノ十三人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ高等教育ヲ受ケタルモノハ五倍ニ増加シ中等教育ヲ受ケタルモノハ減少シ普通教育ヲ受ケタルモノハ増加シタルモ共ニ厘位未滿ナリ文字ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノ二分八厘ヲ増加シ全ク教育ナキモノ四分六厘ヲ減少シタルモ而シテ猶ホ之ヲ前年ノ比例ニ比較スレハ高等教育ヲ受ケタルモノ〇人一分ヲ増加シ中等教育ヲ受ケタルモノハ前年ト同一ナリ普通教育ヲ受ケタルモノ〇人一分ヲ減少シ文字ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノ〇人八分ヲ増加シ全ク教育ナキモノ〇人八分ヲ減少シタルモ又有罪總人員ニ對スル教育關係ノ割合ヲ示セハ高等教育ヲ受ケタルモノ〇分一厘中等教育ヲ受ケタルモノ〇分七厘普通教育ヲ受ケタルモノ二割五分四厘全ク教育ナキモノ七分一厘ニシテ其ノ他ノ四割五分六厘ハ不詳又ハ略式手續ニ依リタル爲メ調査セサルモノナリ

教育關係ニ付テハ略式手續ニ依ルモノ年々増加

スル爲メ從テ之ニ對スル調査ヲ逸シ本年ニ於テハ全數ノ四割五分ヲ除外セルヲ以テ累年比較ニ付テハ注意スル所アルヘシ

教育程度累年比較

(百分比例)

年 度	高等教育ヲ受ケタルモノ	中等教育ヲ受ケタルモノ	普通教育ヲ受ケタルモノ	文字ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノ	全ク教育ナキモノ
大正七年	0.2	1.4	38.7	46.7	13.0
大正六年	0.1	1.4	38.8	45.9	13.8
大正五年	0.2	1.2	36.9	47.6	14.1
大正四年	0.1	1.8	34.5	48.7	15.4
大正三年	0.1	0.9	25.7	55.5	17.8

前表ニ依レハ高等教育ヲ受ケタルモノハ前年減少シタルモ本年ハ増加シタルモ又中等教育ヲ受ケタルモノハ前年ト同一ニシテ普通教育ヲ受ケタルモノハ減少シタルモ共ニ増加ノ傾向アリ文字ノ讀ミ書キヲ爲シ得ルモノハ前年ヨリ増加シタルモ其ノ以前ニ比較スレハ減少セリ又全ク教育ナキモノハ年々減少シ來リタル

高等教育ヲ受ケタルモノハ年々二十人内外ナルニ本年ハ百十四人ニ上リ從テ其ノ割合大ニ増加シタルハ瀆職、詐欺、横領、偽證、賭博ノ各罪ニ多數ナリシカ爲ナリ全ク教育ナキモノノ犯罪減少シタルハ國民教育ノ普及ニモ因ルヘシト雖モ教育アルモノノ犯罪増加シツツアルハ注目スヘシ

犯 罪 原 因

犯罪原因ニ付テハ遠因アリ近因アリ又殆ント一定セルモノアリ賭博罪ニアリテハ多ク射倖、利

慾又ハ習癖ニ基ツキ殺人又ハ傷害罪ニアリテハ怨恨、憤怒、痴情ニ基ツクモノノ如シ

而シテ最も多數ナルハ利慾、射倖、習癖、出來心ニシテ合セテ七割九分ヲ占ム是等ハ賭博、竊盜ノ犯人多數ナルニヨリ從テ多數ナルヘシ

總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ利慾ニ因ルモノ三十九人七分 射倖ニ因ルモノ十三人四分 習癖ニ因ルモノ十三人二分 出來心ニ因ルモノ十二人六分ニシテ此ノ原因ヲ有スル犯罪ハ前ニ述ヘタル如シ 遊蕩、懶惰ニ因ルモノ五人九分ニシテ是等ハ詐欺、竊盜、横領、賭博罪ニ於テ多數ナリ 憤怒ニ因ルモノ五人四分ニシテ傷害、殺人、騷擾、放火罪ニ於テ多數ナリ 貧困ニ因ルモノ三人二分ニシテ竊盜罪ニ於テ多數ナリ 惡戯、娛樂、酒興ニ因ルモノ一人四分ニシテ往來妨害、賭博、公務妨害罪ニ於テ多數ナリ 疎虞ニ因ルモノ一人一分ニシテ失火、傷害、往來危險罪ニ於テ多數ナリ 怨恨、復讐ニ因ルモノ一人ニシテ傷害、殺人、誣告罪ニ於テ多數ナリ 友誼、交友不良、誘惑ニ因ルモノ〇人八分ニシテ犯人藏匿、竊盜罪ニ於テ多數ナリ、嫉妬、痴情ニ因ルモノ〇人七分ニシテ猥褻、殺人、傷害罪ニ於テ多數ナリ浮浪ニ因ルモノ〇人三分虛榮、驕奢ニ因ルモノ〇人二分ニシテ二ツナカラ竊盜罪ニ於テ多數ナリ 家内不和、家庭不良、無監督ニ因ルモノ〇人二分ニシテ殺人、傷害、墮胎罪ニ於テ多數ナリ但シ無監督ニ因ルモノハ

竊盜罪ニ於テ最モ多數ナリ其ノ他迷信、政事上ノ争、刑餘ノ不信用等ニ因ルモノ合セテ一人ノ割合ナリ

上 訴 控 訴

控訴事件ノ件數ヲ示セハ次表ノ如シ

控訴事件ノ總件數

Table with 6 columns: Year, Received, New Received, Total, Final, Not Final. Rows for years 1918-1920 and averages.

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受一分四厘新受九分二厘總件數ニ付テハ八分五厘ヲ各減少シ終局シタルモノ七分九厘終局セサルモノ一割五分ヲ各減少シタリ

終局區別ヲ舉クレハ原判決ヲ取消シタルモノ三千三百七十一件控訴ヲ棄却シタルモノ五千八百六十五件控訴ヲ取下タルモノ二千七百〇六件消滅シタルモノ三十四件ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ原判決ノ取消四分三厘控訴棄却八分九厘控訴取下九分九厘ヲ各減少シ消滅ハ前年ト同一ナリ

控訴ノ新受件數ニ付テ最近五年間ノ傾向ヲ見ルニ大正二年ハ聊カ増加シタルモ同三年四年ハ續イテ減少シ同五年六年ハ再ヒ増加シ同七年ハ又減少シタリ

最近五年間ノ新受件數及其ノ平均件數ヲ示セハ次表ノ如シ

控訴新受件數

Table with 7 columns: Court, 1918, 1919, 1920, 1921, 1922, Average. Rows for District Court, Local Court, and Total.

前表ニ依レハ大正七年ノ控訴新受事件ハ控訴院二千二百〇九件地方裁判所九千五百八十六件ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ控訴院ハ一割四分八厘地方裁判所ハ七分八厘ヲ各減少シタリ

第一審判決件數ト控訴ノ新受件數ヲ對照スルニ大正七年ニ於ケル地方裁判所ノ第一審判決件數四千八百八十一件(前年ヨリ一割五分八厘減)ニシテ之ニ對スル控訴院ノ控訴新受件數二千二百〇九件ナルニヨリ其ノ割合ハ一審判決ノ五割二分八厘ニシテ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ〇分六厘ヲ増加シタリ又區裁判所ノ第一審判決件數四萬四千六百六十一件(前年ヨリ八分六厘減)ニシテ之ニ對スル地方裁判所ノ控訴新受件數九千五百八十六件ナルニヨリ其ノ割合ハ一審判決ノ二割一分七厘ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ〇分二厘ヲ増加シタリ

而シテ又之ヲ地方裁判所ト區裁判所ノ全體ヨリ見レハ控訴ノ割合ハ一審判決ノ二割四分四厘ニシテ前年ニ於ケル割合ト同一ナリ

控訴事件ノ増減ハ常ニ一審事件ノ消長ニ伴フヘシト思惟セラル、モ地方裁判所ノ受理シタル控訴ハ區裁判所ニ於ケル略式命令増加ノ爲メ判決件數ノ減少スル割合ニ減少セス大正七年ハ五年平均ニ比シ二分二厘ヲ増加シタリ又控訴院ノ受理シタル控訴ハ地方裁判所ニ於ケル判決件數ノ減少スルニ隨テ減少シツツアルモノノ如ク大正七年ハ五年平均ニ比シ一割七分ヲ減少シ即チ區裁判所ノ事件ニ對スル控訴ハ増加シタルモ地方裁判所ノ事件ニ對スル控訴ハ比較的減少シタルヲ以テ全體ノ控訴ハ近來減少ノ傾向ナリ

一審判決ト控訴申立ノ關係

Table with 6 columns: Year, Total Cases, Appeals, Appeals per 100 judgments, Appeals per 100 judgments (District), Appeals per 100 judgments (Local). Rows for years 1918-1920 and averages.

前表ニ依レハ一審判決件數ハ明治四十四年マテ漸次昂騰シ大正二年以降漸次低下シ後期五年平均ハ前期五年平均ニ比シ約半數ニ減少シタリ後期ノ減少ハ略式手續法ノ施行ニ原因スルモノナルモ控訴ハ其ノ割合ニ減少セス前期平均ニ比スレハ一割三分七厘ノ減少ナルモ其ノ割合ハ却テ八分八厘ヲ増加シタリ

控訴ノ割合増加ニ付テハ種々ナル原因アルヘシト雖モ後期ノ一審判決ハ略式命令ヲ除外シタル件數ナルニヨリ之ヲ以テ算定セルニモ因ルヘシ大正七年ノ判決件數ニ略式命令ノ件數ヲ合算シ即チ略式手續法施行前後ノ權衡ヲ同量トシテ大正元年ノ割合ニ比スレハ大正七年ハ十一件二分ノ割合ナルヲ以テ僅カニ〇件四分ノ増加ニ過キヌ又原判決取消ノ割合ニ付テモ前表ニ依レハ後期ノ平均ハ前期ニ比シ二件一分ノ増加ナルモ前記ノ理由ヲ以テ算出スレハ大正七年ハ三件二分ニシテ大正元年ノ割合ト全ク同一ナルヲ見ル

原判決ヲ取消シ更ニ裁判ヲ爲シタルモノ三千三百七十一件ニ付テ取消理由ノ割合ヲ舉クレハ擬律ノ錯誤一割三分八厘、訴訟手續ノ不適法四分四厘、無罪ヲ有罪トシタルニ因ルモノ九分九厘、有罪ヲ無罪トナシタルニ因ルモノ四分八厘、科刑重キニ失シタルモノ一割九分七厘、科刑輕キニ失シタルモノ七分、管轄違、公訟不受理ニ因ルモノ〇分五厘、其他ノ理由ニ因ルモノ三割九分九厘ニシテ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ訴訟手續

ノ不適法一分一厘、科刑輕キニ失シタルニ因ルモノ一分五厘、其他ノ理由ニ因ルモノ二分三厘ヲ各増加シ擬律ノ錯誤一分九厘、無罪ヲ有罪トシタルニ因ルモノ一分七厘、有罪ヲ無罪トシタルニ因ルモノ〇分九厘、科刑重キニ失シタルモノ〇分四厘ヲ各減少シタリ

原判決ヲ取消シ更ニ裁判ヲ爲シタル被告人員四千八百四十二人ニ付テ原判決ト控訴判決ヲ對照スレハ次ノ如シ

- 無罪免訴ヲ取消シ
 - 死刑トナシタルモノ……………一人
 - 有期懲役又ハ有期禁錮トナリシモノ……………九十九人
 - 罰金トナシタルモノ……………四十七人
 - 拘留又ハ科料トナシタルモノ……………四人
 - 無罪ヲ免訴トシ又ハ免訴ヲ無罪トナシタルモノ……………七人
- 死刑ヲ取消シ
 - 無罪トナシタルモノ……………二人
 - 無期懲役トナシタルモノ……………四人
- 無期懲役ヲ取消シ
 - 死刑トナシタルモノ……………三人
 - 有期懲役トナシタルモノ……………五人
- 有期懲役ヲ取消シ
 - 無罪免訴トナシタルモノ……………三百九十二人
 - 無期懲役トナシタルモノ……………二人
 - 有期禁錮トナシタルモノ……………五人
 - 罰金トナシタルモノ……………二百九十五人
 - 拘留又ハ科料トナシタルモノ……………四人
- 有期禁錮ヲ取消シ
 - 無罪トナシタルモノ……………八人
 - 有期懲役トナシタルモノ……………一人
 - 罰金トナシタルモノ……………五十六人
 - 拘留トナシタルモノ……………一人

- 無罪免訴トナシタルモノ……………百九十三人
- 有期懲役トナシタルモノ……………七十七人
- 有期禁錮トナシタルモノ……………二十六人
- 罰金ヲ科料トナシタルモノ……………三十人
- 拘留ヲ罰金又ハ科料トナシタルモノ……………七人

原判決ト同一刑名ニテ重キニ處シタルモノ……………三百十八人

同上輕キニ處シタルモノ……………千二百七十三人

刑名刑期ニ異動ナキモノ……………千九百八十二人

控訴判決ニ對スル控訴申立人ノ區別ヲ舉クレハ檢事ヨリ八百八十件被告人ヨリ八千五百八十一件其ノ他ノ關係人ヨリ八十六件ニシテ其ノ割合ハ檢事九分二厘被告人ノ他ノ關係人九割〇八厘ナリ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ被告人ノ他ノ關係人四分二厘減少シ檢事ハ之ニ反シ四分二厘ヲ増加シタリ

各申立ニ付テ取消棄却ノ割合ヲ舉クレハ檢事ノ申立ニアリテ取消六割棄却四割、被告人ノ他關係人ノ申立ニアリテハ取消三割四分九厘棄却六割五分一厘ニシテ取消ノ割合ヲ前年ニ比スレハ檢事ノ申立ニアリテハ一分ヲ増加シ被告人ノ他關係人ノ申立ニアリテモ亦四分八厘ヲ増加シタリ

控訴判決結果ノ比較 (百分比例)

控訴所	大正七年		大正六年		大正五年		大正四年		大正三年		五年平均	
	取消	棄却	取消	棄却	取消	棄却	取消	棄却	取消	棄却	取消	棄却
控訴院	44.5	55.5	42.1	57.9	42.2	57.8	48.5	51.5	47.8	52.2	45.0	55.0
地方裁判所	34.5	65.5	33.5	66.5	36.5	63.5	36.5	63.5	37.8	62.2	35.8	64.2
平均	36.5	63.5	35.4	64.6	37.9	62.1	39.7	60.3	40.5	59.5	38.0	62.0

前表ニ依レハ大正七年ハ控訴院ニ於テハ取消四十四件五分棄却五十五件五分地方裁判所ニ於テハ取消三十四件五分棄却六十五件五分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ原判決ノ取消ハ控訴院ニ於テ二件四分地方裁判所ニ於テ一件全體ニ付テハ一件一分ヲ各増加シタリ

而シテ之ヲ五年平均ニ比スレハ控訴院ニ於テハ〇件五分地方裁判所ニ於テハ一件三分全體ニ付テハ一件五分ヲ各減少シ結局五ヶ年平均ニ比スレハ減少シタルモ前年ニ比スレハ増加ス

猶ホ各年ヲ通覽スルニ原判決取消ハ控訴院ニ於テハ大正五年六年トモ相次イテ減少シタルモ大正七年ニ至リ又増加シ地方裁判所ニ於テハ前年マテハ漸次減少シタルモ大正七年ニ至リ聊カ増加シ全體ノ平均ニ付テハ地方裁判所ニ於ケルモノト同一傾向ナリ

控訴判決件數ハ前年ヨリ七分三厘ノ減少ナルニ拘ラス原判決取消ノミ増加シタルハ亦攻究ヲ要スヘシ

控訴終局被告人ノ境遇

控訴審ニ於ケル終局被告人一萬六千九百九十四人ニシテ拘留シタルモノ七千八百五十人拘留セサルモノ八千三百四十四人ナリ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ拘留シタルモノ四十八人五分

勾留セサルモノ五十一人五分ノ割合ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ拘留シタルモノ六人七分ヲ増加シ勾留セサルモノハ之ニ反シ六人七分ヲ減少ス勾留期間ヲ區別シ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ十五日以内四十六人五分 一月以内三十人四分 二月以内十六人二分 三月以内四人 六月以内二人四分 一年以内〇人四分 一年以上〇人一分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ一月以内一人四分ヲ増加シタルノミニシテ其ノ他ハ悉ク減少シ一月以内〇人一分二月以内及三月以内〇人二分六月以内〇人八分一年以内〇人一分ヲ減少シタル割合ナリ

勾留人員中責付シタルモノ三十人保釋シタルモノ七百八十二人保釋請求ヲ棄却シタルモノ千八百二十四人ニシテ保釋ニ付テハ許可シタルモノ三割棄却シタルモノ七割ノ割合ナリ 又勾留人員中責付、保釋、保釋請求棄却、保釋請求ヲ爲ササルモノトニ付テ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ責付〇人四分保釋十人保釋請求棄却二十三人二分保釋請求ナキモノ六十六人四分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ責付〇人四分保釋〇人六分保釋請求棄却五人二分ヲ各増加シ保釋請求ヲ爲ササルモノ六人二分ヲ減少シタリ 責付取消一人保釋取消十四人ニシテ責付ハ百人ニ付テ取消二人七分保釋ハ百人ニ付テ取消一人八分ノ割合ナリ

上 告

上告事件ノ件數ヲ示セハ次表ノ如シ

上告事件ノ件數

年 度	舊 受	新 受	計	終 局	未終局
大 正 七 年	568	3,628	4,196	3,768	428
大 正 六 年	398	3,688	4,086	3,518	568
大 正 五 年	328	3,092	3,420	3,022	398
大 正 四 年	502	3,412	3,914	3,586	328
大 正 三 年	576	3,507	4,083	3,581	502

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受四割二分七厘ヲ増加シ新受一分六厘ヲ減少シ總件數ニ付テハ二分七厘ヲ増加シタリ而シテ終局シタルモノハ七分一厘ノ増加ニシテ終局セサルモノハ二割四分七厘ヲ減少シタリ

上告事件ノ新受件數ニ付テ刑法改正前後ヲ比較スレハ改正前明治三十七年乃至(明治四十年上告新受)受千七百四十七件)明治四十一年ノ五年平均ハ二千〇四十七件ヲ算シ改正後明治四十二年乃至大正二年ノ五年平均ハ三千六百三十四件ヲ算シ刑法改正後ハ七割七分六厘ヲ増加シ又之ヲ裁判所構成法ノ改正前後ニ比較スレハ構成法ノ改正前明治四十一年乃至(大正元年上告新受)三千五百七十三件)大正元年ノ五年平均ハ三千三百三十九件ヲ算シ構成法ノ改正後大正二年乃至大正六年ノ五年平均ハ三千三百九十八件ヲ算シ構成法改正後ハ一分八厘ヲ増加シタリ

猶ホ之ヲ約言スレハ刑法改正後ハ激増シタルモ

構成法ノ改正後ハ一進一退ノ勢ニシテ大正六年ハ増加シタルモ大正七年ハ減少シ概シテ増加スルニ至ラサルモノノ如シ

控訴判決件數ト上告申立ノ割合ヲ舉クレハ地方裁判所ノ二審判決七千三百九十五件ニシテ上告ノ新受二千五百四十二件ニ對スレハ三割四分四厘ニ當リ控訴院ノ二審判決ハ千八百四十一件ニシテ上告ノ新受件數千〇八十六件ニ對スレハ五割九分ニ當ル之ヲ地方裁判所ト控訴院ノ全體ヨリ見レハ二審判決ノ三割九分三厘ハ上告申立ヲ爲シタル割合ナリ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ地方裁判所ニ於テハ二分九厘控訴院ニ於テハ二分三厘全體ニ付テハ二分三厘ノ増加ナリ

終局區別ヲ舉クレハ原判決件數二百九十三件上告棄却二千八百二十三件 上告取下六百四十六件 消滅六件ニシテ前年ニ比スレハ上告破毀三割五分六厘上告棄却五分一厘上告取下五分六厘消滅五割ヲ各増加シ破毀増加ノ割合比較的多數ナルハ注目スヘシ

原判決破毀ノ理由ヲ區別シ其ノ割合ヲ舉クレハ規定ニ從ヒ裁判所ヲ構成セサルニ因ルモノ、職務ノ執行ヨリ除斥セラレタル判事裁判ニ參與シタルニ因ルモノ、法律ニ背キ公訴ヲ受理シ又ハ受理セサルニ因ルモノ、請求ヲ受ケタル事件ニ付キ判決ヲ爲サヌ又ハ請求ヲ受ケタル事件ニ付キ判決ヲ爲シタルニ因ルモノ各〇分三厘判決ヲ公行セヌ又ハ公開ヲ禁スル言渡ナクシテ

辯論ヲ公ニセサルニ因ルモノ〇分七厘 裁判ニ理由ヲ付セス又ハ其ノ理由ニ齟齬アルニ因ルモノ四分一厘 擬律ノ錯誤アルニ因ルモノ一割九分五厘其ノ他ノ理由ニ因ルモノ七割四分五厘ノ割合ナリ

原判決ヲ破毀シ更ニ裁判ヲ爲シタル被告人八十六人ニ就キ原判決ト上告判決ヲ對照スレハ

- 無罪ヲ破毀シ { 有期禁錮ト爲シタルモノ……………二人
 - { 罰金ト爲シタルモノ……………三人
 - 死刑ヲ破毀シ { 無期懲役ト爲シタルモノ……………一人
 - { 無罪免訴ト爲シタルモノ……………十二人
 - 有期懲役ヲ破毀シ { 有期禁錮ト爲シタルモノ……………三人
 - { 罰金ト爲シタルモノ……………一人
 - 罰金ヲ破毀シ { 無罪ト爲シタルモノ……………八人
 - 原判決ト同一刑名ニテ輕キニ處シタルモノ……………七人
 - 同上重キニ處シタルモノ……………一人
 - 刑名刑期ニ異動ナキモノ……………四十八人
 - 部ノ變更アリタルモノ……………一人
- 終局事件ニ付テ上告申立人ノ割合及申立人別

破毀棄却ノ割合ヲ舉クレハ檢事ノ申立ニ係ルモノ一分一厘被告人ノ申立ニ係ルモノ九割六分七厘其ノ他ノ關係人ノ申立ニ係ルモノ二分二厘ニシテ前年ノ割合ニ比スレハ檢事ノ申立〇分二厘ヲ増加シ被告人ノ申立〇分九厘減少シ其他ノ關係人ノ申立〇分七厘ヲ増加シタリ

檢事ノ申立ニアリテハ破毀五割二分九厘棄却四割七分一厘被告人ノ申立ニアリテハ破毀〇割九分棄却九割一分其ノ他ノ關係人ノ申立ニアリテハ破毀四分四厘棄却九割五分六厘ニシテ破毀ノ割合ヲ前年ニ比スレハ檢事ノ申立ニアリテ一割六分二厘ヲ増加シ被告人ノ申立ニアリテハ一分九厘其ノ他關係人ノ申立ニアリテハ七分八厘各減少シタリ

原判決ヲ破毀シタルモノト上告ヲ棄却シタルモノトニ付テ控訴院ト地方裁判所トニ區別シ總數百ニ對スル最近五年間ノ比例及ヒ其ノ平均ヲ示セハ次表ノ如シ

上告判決結果ノ比較 (百分比例)

原裁判所	大 正 七 年		大 正 六 年		大 正 五 年		大 正 四 年		大 正 三 年		五 年 平 均	
	破 毀	棄 却	破 毀	棄 却	破 毀	棄 却	破 毀	棄 却	破 毀	棄 却	破 毀	棄 却
控 訴 院	12.5	87.5	8.9	91.1	9.2	90.8	10.6	89.4	13.4	86.6	10.9	89.1
地 方 裁 判 所	8.0	92.0	6.6	93.4	6.6	93.4	8.5	91.5	9.6	90.4	7.9	92.1
平 均	9.4	90.6	7.4	92.6	7.6	92.4	9.4	90.6	11.2	88.8	9.0	91.0

前表ニ依レハ原判決破毀ノ平均ハ大正三年ノ百分ノ十一件二分ヲ最モ多數トシ大正四年ヨリ六

年マテハ漸次減少シタルモ大正七年ハ前年ニ比シ百分ノ二件ヲ増加シ之ヲ原裁判所ニ區別スレ

ハ地方裁判所ニアリテハ一件四分控訴院ニアリテハ三件六分ヲ各増加シタリ
 原裁判所破毀ノ割合ハ地方裁判所ヨリ控訴院ニ於ルモノ常ニ多數ニシテ地方裁判所ハ年々十件未滿ナルモ控訴院ハ大正三年ハ十三件四分ニ上リ大正六年以降漸次減少シ大正七年ハ十二件五分ヲ算シ五年平均ハ十件九分ニシテ地方裁判所ノ平均ヨリ百分ノ三件ヲ増加シタリ

上告審ニ於ケル終局被告人ノ所遇

上告審ニ於ケル終局被告人五千七百二十一人ニシテ前年ニ比スレハ一割三分二厘ヲ増加シタリ
 勾留シタルモノ七百四十一人勾留セサルモノ四千九百八十人ニシテ其ノ割合ヲ舉クレハ勾留シタルモノ一割三分勾留セサルモノ八割七分ナリ
 之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ勾留シタルモノ二分五厘ヲ減少シ勾留セサルモノハ之ニ反シ二分五厘ヲ増加セリ
 勾留期間ヲ區別シ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ十五日以内三十一人九分、一月以内八人五分二月以内二十四人八分、三月以内三十人五分、六月以内三人八分、六月以上〇人五分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ十五日以内四人七分二月以内十五人三分ヲ各減少シ一月以内〇人六分、三月以内十六人一分、六月以内二人八分、六月以上〇人五分ヲ各増加シタリ

保釋ヲ爲シタルモノ十五人ニシテ勾留百人ニ付テ二人ノ割合ナリ而シテ責付シタルモノ及保釋ヲ取消シタルモノ無シ

抗 告

抗告事件ノ件數ヲ示セハ次表ノ如シ

抗告事件ノ件數

年 度	舊 受	新 受	計	終 局	未終局
大 正 七 年	1	61	62	59	3
大 正 六 年	—	54	54	53	1
大 正 五 年	3	56	59	59	—
大 正 四 年	2	66	68	65	3
大 正 三 年	2	62	64	75	2

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ新受一割三分總件數ニ付テ一割四分八厘ヲ各増加シ終局ニ付テハ一割一分三厘ヲ増加シタリ未終局ニ付テハ實數二件ノ増加ナルモ割合ハ二十割ナリ
 終局區別ヲ舉クレハ原決定ヲ取消シタルモノ十二件抗告ヲ棄却シタルモノ四十七件ニシテ前年ニ比スレハ取消七分七厘ヲ減少シ棄却二割〇五厘ヲ増加シタリ
 抗告申立人ヲ區別スレハ檢事ノ申立二十件訴訟關係人ノ申立四十一件ニシテ其割合ヲ舉クレハ檢事ノ申立三割二分八厘訴訟關係人ノ申立七割五分九厘ニシテ之ヲ前年ノ割合ニ比スレハ檢事ノ申立八分七厘ヲ増加シ訴訟關係人ノ申立ハ之ニ反シ八分七厘ヲ減少シタリ

抗告申立ノ事由ハ年々略ホ同一ニシテ豫審終結決定ニ對スルモノ三割二分三厘刑ノ加重決定ニ對スルモノ二割四分二厘上告申立ノ棄却決定ニ對スルモノ九分七厘ヲ占メ其他ハ僅少ニシテ一割ニ當ルモノナシ

再 審

再審事件ノ件數ヲ示セハ次表ノ如シ

再審事件ノ件數

年 度	舊 受	新 受	計	終 局	未終局
大 正 七 年	4	34	38	37	1
大 正 六 年	—	28	28	24	4
大 正 五 年	2	35	37	37	—
大 正 四 年	9	55	64	62	2
大 正 三 年	5	46	51	42	9

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ新受二割一分四厘總件數ニ付テ三割五分七厘ヲ各増加シ終局ニ付テハ五割四分ヲ増加シ未終局ニ付テハ七割五分ヲ減少シタリ
 再審ノ訴ヲ爲シタルモノノ割合ヲ舉クレハ檢事ヨリ八分八厘受刑者ヨリ八割八分三厘受刑者ノ親屬ヨリ三分ノ割合ナリ
 終局區別ヲ舉クレハ原判決破毀三件棄却三十四件ニシテ前年ニ比スレハ原判決破毀二割五分減少シ棄却七割ヲ増加シタリ
 破毀理由ヲ區別スレハ共犯者ニ非スシテ別ニ刑ノ言渡ヲ受ケタル者アリタルニ因ルモノ二件公

正證書ヲ以テ犯罪當時其ノ場所ニ在サルコトヲ證明シタルニ因ルモノ一件ナリ

公訴附帶私訴

公訴附帶私訴事件ノ件數ヲ示セハ次表ノ如シ

公訴附帶私訴件數

年 度	舊 受	新 受	計	終 局	未終局
大 正 七 年	202	838	1,040	897	143
大 正 六 年	234	998	1,232	1,030	202
大 正 五 年	198	1,230	1,428	1,194	234
大 正 四 年	231	1,078	1,309	1,111	198
大 正 三 年	285	1,301	1,586	1,355	231

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ舊受一割三分七厘新受一割六分ヲ各減少シ總件數一割五分六厘ヲ減少シ終局シタルモノ一割二分九厘終局セサルモノ二割九分二厘ヲ各減少シタリ
 終局區別ヲ舉クレハ民事原告人ノ全部勝訴三百三十三件幾部勝訴二百〇二件敗訴九十六件拋棄、和解三十二件取下其ノ他二百三十四件ニシテ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ全部勝訴三十七件一分幾部勝訴二十二件五分敗訴十件七分拋棄、和解三件六分取下其ノ他二十六件一分ナリ

訴 訟 費 用

終局事件ニ付テ證人鑑定人等ヲ要シタル件數人員及之ニ要シタル金額ヲ示セハ次表ノ如シ

證人等ヲ要シタル件數
被告人員及證人等ノ人員

年度及裁判別	件數	被告人員	證人等ノ人員				
			證人	鑑定人	通事	計	
大正七年	豫審	4,280	12,266	48,477	1,001	31	49,509
	第一審	5,527	8,772	15,129	515	69	15,713
	控訴審	1,438	1,968	3,134	173	10	3,317
	計	11,245	23,006	66,740	1,689	110	68,539
大正六年		11,848	21,516	65,087	1,591	83	66,761
大正五年		12,820	19,609	68,434	1,809	90	70,333

證人、鑑定人等ニ
要シタル費用金額

年度及裁判別	費用總金額	負擔ノ區別		
		國庫負擔	被告人負擔	
大正七年	豫審	56,468,460	3,834,766	52,633,694
	第一審	17,954,185	3,268,710	14,685,475
	控訴審	10,161,113	2,415,990	7,745,123
	計	84,583,758	9,519,466	75,064,292
大正六年		85,494,333	12,974,842	72,519,491
大正五年		92,389,935	13,162,015	79,227,920

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ證人、鑑定人、通事ヲ要シタル件數ハ五分一厘ヲ減少シ被告人員ハ六分九厘ヲ増加シタリ又證人、鑑定人通事ノ人員ハ控訴審ニ於テ四分一厘ヲ減少セルノミニシテ豫審ハ一分三厘一審ハ八分八厘ヲ各増加シ總人員ニ付テハ二分七厘ヲ増加シタリ證人鑑定人等ヲ要シタル事件ニ付テ總數百ニ對スル各審ノ比例ヲ舉クレハ豫審ニ於テハ三十八件一分第一審ニ於テハ四十九件一分控訴審ニ於テハ十二件八分ニシテ其ノ割合ハ年々大差ナキモノノ如シ

訴訟費用ノ總金額八萬四千五百八十三圓七十五錢八厘ニシテ前年ニ比スレハ一分一厘ヲ減少シ被告人ノ負擔額三分五厘ヲ増加シ國庫負擔ハ二割六分六厘ヲ減少シタリ而シテ其ノ負擔ノ割合ハ被告人負擔八割八分七厘國庫負擔一割一分三厘ニシテ前年ニ比スレハ被告人負擔ハ三分九厘ヲ増加シタルモ國庫負擔ハ之ニ反シ三分九厘ヲ減少シタル割合ナリ

確定裁判

確定裁判ヲ經タルモノハ前年ニ比シ一審ニ於テハ一割四分六厘控訴審ニ於テハ四割二分六厘上告審ニ於テハ三割二分二厘ヲ各減少シ全體ニ付テハ一割六分二厘ヲ減少シタリ又一審ノ判決人員ニ比較スレハ有罪ニ付テハ一審ヨリ四分九厘ヲ減少シ無罪免訴ニ付テハ五分八厘ヲ増加シ有罪無罪ノ總人員ニ付テハ四分八厘ヲ減少シタリ確定ハ裁判上翌年ニ亘ルモノアリ又前年ノ一審事件ニテ本年ニ至リ確定スルモノアルニ因リ犯罪觀察ニハ適セサルモノアリト雖モ其ノ數一審ト大差ナキヲ以テ犯罪ノ大體ニ付テ前年ニ比スレハ特別法犯三割七分三厘刑法犯〇分二厘ヲ各減少シタリ是等ハ本年ハ騷擾事件アリシモ前年ハ衆議院議員選舉法違犯事件多數ナリシニ因リ前記ノ如ク特別法犯ノ減少多數ナリシナルヘシ猶ホ次ノ概説ヲ見ルヘシ

確定裁判ヲ經タル總人員

確定裁判ヲ經タル有罪無罪ノ總被告人員十六萬〇四百十人ニシテ前年ニ比スレハ一割六分二厘ヲ減少シタリ確定總人員ノ體性ヲ區別スレハ男十四萬七千八百二十三人女一萬二千五百八十七人（男九割二分二厘女七分八厘）ニシテ前年ニ比スレハ男一割六分五厘女一割〇五厘ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男〇分四厘ヲ減少シ女ハ之ニ反シ〇分四厘ヲ増加シタリ確定人員中有罪ノモノ男十四萬五千八百十九人女一萬二千三百九十九人（男九割二分二厘女七分八厘）合計十五萬八千二百十八人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男一割六分二厘女一割〇四厘ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ前記有罪無罪ノ總人員ニ於ケルモノト同シク男〇分四厘ヲ減少シ女ハ之ニ反シ〇分四厘ヲ増加シタリ無罪免訴ニ係ルモノ男二千〇〇四人女百八十八人合計二千百九十二人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男三割七分五厘女一割八分六厘總人員ニ付テハ三割六分二厘ヲ各減少シタリ各審ニ於ケル確定ノ割合ヲ舉クレハ一審ニ於テ確定シタルモノ九割五分五厘控訴審ニ於テ確定シタルモノ三分二厘上告審ニ於テ確定シタルモノ一分三厘ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ一審ニ於テ確定シタルモノ一分八厘ヲ増加シ控訴審ニ於テ

テ確定シタルモノ一分五厘上告審ニ於テ確定シタルモノ〇分三厘ヲ各減少シタリ各審ニ於ケル確定ヲ區別スレハ次ノ如シ

第一審ニ於ケル確定

第一審ニ於テ確定シタルモノ有罪十四萬九千二百二十五人無罪免訴千六百七十人合計十五萬三千百五十五人ニシテ前年ニ比スレハ有罪一割三分四厘無罪免訴二割二分一厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ一割四分六厘ヲ減少シタリ有罪ノ確定人員中略式命令ニ依リタルモノ九萬四千〇六十二人ニシテ略式六割一分四厘通常裁判三割八分六厘ノ割合ナリ之ヲ前年ニ比スレハ略式命令ニ依リタルモノ一割二分五厘通常裁判ニ依リタルモノ一割七分七厘ヲ各減少シ略式ト通常裁判トノ割合ニ付テハ略式一分四厘ヲ増加シ通常裁判ハ之ニ反シ一分四厘ヲ減少シタリ

控訴審ニ於ケル確定

控訴審ニ於テ確定シタルモノ有罪四千六百二十五人無罪免訴四百八十四人合計五千百〇九人ニシテ前年ニ比スレハ有罪四割一分無罪免訴五割四分七厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ四割二分六厘ヲ減少シタリ控訴ヲ棄却シタルモノ二千九百十三人原判決取消ニ係ルモノ千八百〇四人上告取下ニ係ルモノ

五百九十二人ニシテ前年ニ比スレハ棄却四割八分五厘取消三割八分五厘取下一割五分七厘ヲ各減少シタリ

原判決ヲ取消シタルモノノ内原判決ノ無罪免訴ヲ有罪トシタルモノ二十九人有罪ヲ無罪免訴トシタルモノ三百五十四人一部ノ變更ニ係ルモノ千四百二十一人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ無罪免訴ヲ有罪トシタルモノ六割四分六厘有罪ヲ無罪免訴トシタルモノ四割九分三厘一部ノ變更ニ係ルモノ三割四分ヲ各減少シタリ

上告審ニ於ケル確定

上告審ニ於テ確定シタルモノ有罪二千百〇八人無罪免訴三十八人合計二千百四十六人ニシテ前年ニ比スレハ有罪三割三分二厘ヲ減少シ無罪免訴ハ前年ト同一ナリ而シテ總人員ニ付テハ有罪ト同シク三割二分二厘ヲ減少セリ

上告ヲ棄却シタルモノ二千百十六人原判決破毀ニ係ルモノ三十人ニシテ前年ニ比スレハ棄却三割一分七厘破毀三割六分二厘ヲ各減少シタリ

原判決ヲ破毀シタルモノノ内原判決ノ無罪免訴ヲ有罪トシタルモノ三人有罪ヲ無罪免訴トシタルモノ十一人一部ノ變更ニ係ルモノ十六人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ無罪免訴ヲ有罪トシタルモノ二十割有罪ヲ無罪免訴トシタルモノ一割ヲ各増加シ一部ノ變更ニ係ルモノ五割五分六厘ヲ

減少シタリ

確定裁判ヲ經タル刑法犯

確定裁判ヲ經タル刑法犯ノ總人員十萬八千五百九十二人ニシテ有罪十萬七千二百五十八人無罪免訴千三百三十四人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ有罪〇分五厘ヲ増加シ無罪免訴三割四分九厘ヲ減少シ總人員ニ付テハ〇分二厘ヲ減少シタリ

有罪犯人ノ體性ヲ區別スレハ男九萬九千三百三十三人女八千二百二十五人ニシテ男ハ百分ノ九十二人四分女ハ百分ノ七人六分ノ割合ナリ之ヲ前年ニ比スレハ男ハ〇分九厘ヲ増加シ女ハ四分六厘ヲ減少シ男女ノ割合ニ付テハ男ハ百分ノ〇人四分ヲ増加シ女ハ之ニ反シ百分ノ〇人四分ヲ減少シタリ

人口ニ對スル比例ヲ舉クレハ刑法犯ノ有罪犯人ハ現往人口十萬ニ付テ八百八十八人四分ニシテ前年ニ比スレハ一人九分ヲ減少シ體性別人口ニ對スレハ男三百四十五人五分女二十八人八分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ男一人九分女一人八分ヲ各減少シタリ (人口ハ第三十七統計年概所載大正七年ノ現住人口ニ依ル但シ樺太ハ大正五年ノ現住人口ニ依ル)

人口ト犯人ノ比例ニ付テ既往本統計ノ示ス所ヲ見ルニ大正元年ハ人口十萬ニ付テ二百三十人ニシテ大正二年以降大正四年迄ハ漸次減少シ人口十萬ニ付テ約五十人ヲ減少スルニ至リ大正五年ハ聊カ増加シ大正六年ハ更ニ増加シタルモ大正

六年ハ賭博罪ノ多數ナルト水害ニ伴フ漂流物横領罪ノ多數ナリシニ因リ又大正七年ハ騷擾罪アリシニ因リ實數ハ前年ヨリ聊カ増加シタルモ人口トノ割合ハ前記ノ如ク二人一分ヲ減少シ大正五年六年ヲ平均シタルモノニ略ホ似タリ然レトモ犯人ノ實數ハ近來増加ノ傾向ナリトス

罪質ヲ區別スレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪六萬八千二百七十五人内男六萬二千三百八十二人女五千八百九十三人、人ニ對スル罪八千四百六十一人内男七千五百九十六人女八百六十五人、財産ニ對スル罪三萬〇五百二十二人内男二萬九千五百五十五人女千三百六十七人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪ニ付テハ四分五厘ヲ増加シ人ニ對スル罪ニ付テハ二分三厘財産ニ對スル罪ニ付テハ六分八厘ヲ各減少シタリ

前記増減ヲ各罪ニ付テ見ルニ國家及公ノ秩序ニ對スル罪ニアリテハ文書偽造、猥褻罪ノ如キハ減少シタルモ騷擾罪約二千人賭博罪約千六百人ヲ増加シタルヲ以テ前記ノ如ク増加シ人ニ對スル罪ニアリテハ瀆職罪、過失傷害罪ノ如キハ増加シタルモ殺人、傷害其ノ他ノ罪比較の多數ニ減少シタルヲ以テ前記ノ如ク減少シ財産ニ對スル罪ニアリテハ横領罪ハ多少ノ増加ヲ見ルモ竊盜、強盜、詐欺、贓物罪等總テ減少シタルヲ以テ前記ノ如ク減少シタリ

又罪質ニ付テ總數百ニ對スル男女ノ比例ヲ舉ク

レハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪ニアリテハ男九十一人四分女八人六分人對スル罪ニアリテハ男八十九人八分女十人二分財産ニ對スル罪ニアリテハ男九十五人五分女四人五分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ國家及公ノ秩序ニ對スル罪ニアリテハ男〇人七分人ニ對スル罪ニアリテハ男〇人六分財産ニ對スル罪ニアリテハ男〇人二分ヲ各増加シ女ハ前記ノ割合ニ反シ全部減少シタリ

確定裁判ヲ經タル特別法犯

確定裁判ヲ經タル特別法犯ノ總人員五萬一千八百十八人ニシテ有罪五萬〇九百六十人無罪免訴八百五十八人ナリ之ヲ前年ニ比スレハ有罪三割七分二厘無罪免訴三割八分一厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ三割七分三厘ヲ減少シタリ

有罪犯人ノ體性ヲ區別スレハ男四萬六千六百八十六人女四千二百七十四人ニシテ男ハ百分ノ九十一人六分女ハ百分ノ八人四分ノ割合ナリ之ヲ前年ニ比スレハ男三割七分五厘女一割九分ヲ各減少シ男女ノ割合ニ付テハ男一人八分ヲ減少シ女ハ之ニ反シ一人八分ヲ増加シタリ

人口ニ對スル比例ヲ舉クレハ特別法犯ノ有罪犯人ハ現往人口十萬ニ付テ八十九人五分ニシテ前年ニ比スレハ五十五人四分ヲ減少シ體性別人口ニ對スレハ男百六十二人七分女十五人一分ニシテ前年ニ比スレハ男百〇六人女四人一分ヲ各減少シタリ此ノ如ク多數ニ減少シタルハ既ニ述ヘタル如ク實數ニ於テモ減少シタルニ因リ人口増加ト反比例ヲ以テ減少スヘシ

而シテ又特別法犯ノ確定有罪ニ就キ既往ニ於ケル人口ト犯人ノ比例ヲ見ルニ最近五年間ニ於テ最モ少数ナルハ本年ニシテ犯人ノ實數モ亦大正三年ヲ除ケハ最モ少数ナリ

前年ハ特殊事件ノ増加アリシニ因リ之ニ比スルハ適當ニアラサルモ大正四五年ニ比スレハ稍ヤ減少ノ傾向ナリ詳細ハ各表ニ就テ見ルヘシ

確定刑法犯ノ有罪犯人ノ累犯關係及未成年者ニ係ル説明ハ前年マテ次項ニ掲載シタルモ本年ヨリ一審有罪ニ依リ未成年者ハ年齢別ニ累犯關係ハ一審有罪刑法犯ニ於テ概説シタルヲ以テ附録有罪犯人ノ累年比較表ト共ニ併セ見ルヘシ

刑ノ執行猶豫、刑ノ執行其他

刑ノ執行猶豫及執行猶豫取消人員ヲ示セハ次表ノ如シ

刑ノ執行猶豫及執行猶豫取消人

年 度	刑ノ執行猶豫總人員	職權ニ因ルモノ	檢事ノ請求ニ因ルモノ	執行猶豫取消人員
大正七年	5,574	5,210	364	310
大正六年	6,422	5,820	602	321
大正五年	7,055	6,077	978	405
大正四年	6,774	5,765	1,009	412
大正三年	7,046	5,932	1,116	442

前表ニ依レハ大正六年ハ前年ニ比シ刑ノ執行猶豫ヲ爲シタルモノ一割三分二厘ヲ減少シ執行猶豫ノ取消モ亦三分四厘ヲ減少シタリ

執行猶豫取消ノ理由ヲ區別シ其ノ割合ヲ擧ケルハ猶豫期間内更ニ罪ヲ犯シ處刑セラレタルニ因ルモノ九割七分七厘猶豫言渡前ニ犯シタル他ノ罪ニ付キ處刑セラレタルニ因ルモノ一分六厘猶豫言渡前ニ他ノ罪ニ付キ處刑セラレタルコトノ發覺シタルニ因ルモノ〇分七厘ノ割合ナリ

刑ノ執行猶豫ニ付テ最モ多數ナルハ東京控訴管内ニシテ之ニ次クハ長崎控訴管内ナリ而シ最モ少ナキハ大阪控訴管内ナリ

執行猶豫取消ノ最モ多數ナルハ東京控訴管内ニシテ執行猶豫百人ニ付テ六人六分ヲ算シ之ニ次クハ名古屋控訴管内ニシテ東京控訴管内ニ比スレハ約五分ノ一ナルモ其ノ割合ハ六人三分ナリ

而シテ割合ノ最モ少ナキハ宮城控訴管内ノ二人八分ナリトス

最近三年間ニ於ケル刑ノ執行猶豫及執行猶豫取消人員ヲ各罪ニ區別スレハ次表ノ如シ

罪 名	刑ノ執行猶豫			刑ノ執行猶豫ノ取消		
	大正七年	大正六年	大正五年	大正七年	大正六年	大正五年
刑法犯						
公務ノ執行ヲ妨害スル罪	57	48	69	2	1	—
逃走ノ罪	3	—	—	—	—	—
犯人藏匿及證憑湮滅ノ罪	6	3	2	—	—	—
懸擾ノ罪	187	85	145	—	1	1
放火ノ罪	17	26	33	1	—	—
溢水及水利ニ關スル罪	1	—	9	—	—	—
往來ヲ妨害スル罪	7	3	5	—	—	—
住居ヲ侵スル罪	9	18	16	1	2	2
秘密ヲ侵スル罪	1	—	—	—	—	—
阿片煙ニ關スル罪	1	4	2	—	—	—
飲料水ニ關スル罪	1	2	2	—	—	—
通貨偽造ノ罪	1	—	2	—	—	—
文書偽造ノ罪	190	307	385	8	8	22
有價證券偽造ノ罪	40	49	58	1	3	1
印章偽造ノ罪	48	28	23	—	1	1
偽造ノ罪	96	142	136	2	2	2
誣告ノ罪	38	57	47	—	—	1
猥褻及姦淫ノ罪	18	26	18	1	—	—
賭博及富籤ニ關スル罪	55	39	49	2	3	4
禮拜所及墳墓ニ關スル罪	14	30	20	—	—	—
遺囑ノ罪	71	50	92	—	—	—
殺人ノ罪	94	131	131	3	1	2
傷害ノ罪	230	224	313	6	2	8
過失傷害ノ罪	3	4	5	—	—	—
墮胎ノ罪	265	252	277	4	4	—
遺棄ノ罪	16	16	17	—	—	—
逮捕及監禁ノ罪	14	24	15	—	—	—
脅迫ノ罪	40	23	30	—	1	1
略取及誘拐ノ罪	9	6	4	—	—	—
名譽ニ對スル罪	—	—	1	—	—	—
信用及業務ニ對スル罪	7	1	1	—	—	—
竊盜ノ罪	1,644	1,826	1,827	159	173	207
強盜ノ罪	1	3	4	—	—	—
詐欺及恐喝ノ罪	884	958	1,211	55	53	96
横領ノ罪	615	813	916	39	41	41
贓物ニ關スル罪	571	708	548	21	17	10
毀棄及隱匿ノ罪	16	43	22	1	—	—
特別法犯						
森林法	231	231	485	4	3	4
衆議院議員選舉法	14	42	1	—	—	—
其他	59	150	134	—	2	2
合 計	5,574	6,422	7,055	310	321	405

刑ノ執行

裁判所検事局及廳府縣警察署ニ於テ刑ノ執行ヲ爲シタルモノヲ示セハ次表ノ如シ

刑ノ執行總人員

年 度	執行總人員	死 刑	自由刑	財産刑
大 正 七 年	720,392	51	98,129	622,207
大 正 六 年	761,076	53	94,448	666,575
大 正 五 年	716,676	63	101,836	614,777
大 正 四 年	678,456	94	104,897	573,465
大 正 三 年	658,534	5	104,186	554,643

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ死刑五分七厘自由刑三分九厘ヲ各増加シ財産刑六分七厘ヲ減少シ總人員ニ付テハ五分三厘ヲ減少シタリ

自由刑ニ付テ刑名別人員ノ區別ヲ舉クレハ無期懲役八十七人 有期懲役四萬一千六百六十七人 有期禁錮九百四十五人 拘留五萬五千四百三十人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ無期懲役ニ付テハ二分二厘有期禁錮ニ付テハ一分九厘四厘ヲ各減少シ有期懲役ニ付テハ一分二厘拘留ニ付テハ六分六厘ヲ各増加シタリ

財産刑ニ付テ刑名別人員ノ區別ヲ舉クレハ罰金十五萬七千三百八十人科料四十六萬四千八百二十七人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ罰金ニ付テハ一分三分一厘科料ニ付テハ四分二厘ヲ各減少シタリ

財産刑ニ付テ罰金、科料金額及執行ノ成果ヲ示セハ次表ノ如シ

財産刑ニ付テノ執行金額

年 度	執行總金額	罰 金	科 料
大 正 七 年	5,552,330,285	4,892,611,930	659,718,355
大 正 六 年	6,202,874,675	5,574,829,060	628,045,615
大 正 五 年	5,803,732,777	5,236,641,097	567,091,640
大 正 四 年	6,241,234,321	5,720,507,771	520,726,550
大 正 三 年	6,571,743,134	6,060,572,224	511,170,910

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ罰金ニ付テハ一分二分二厘ヲ減少シ科料ニ付テハ五分ヲ増加シ總金額ニ付テハ一分〇五厘ヲ減少シタリ

罰金科料ノ總金額ニ付テ執行成果ヲ區別スレハ完納シタルモノ二百八十七萬二千三百十八圓五十二錢 一部納ノモノ九萬四千九百九十七圓三十六錢 一部不納ノモノ四萬九千五百二十四圓二十五錢五厘 不完納ノモノ二十七萬七千〇一十一圓五十七錢 消滅ノモノ三十四萬三千五百四十五圓三十四錢 納否未定又ハ住所不明等ニテ執行不能ノモノ百九十一萬四千四百二十七圓〇四錢 假納シテ正式裁判ヲ求メタルモノ三百五十七圓七十錢 假納セサルニヨリ留置シタルモノ百四十八圓五十錢ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ完納シタルモノ九分九厘一部納ノモノ二割五分八厘ヲ各減少シ一部不納ノモノ六割二分五厘不完納ノモノ一割四分消滅ノモノ九分五厘納否未定又ハ住所不明等ニテ執行不能ノモノ六分七厘ヲ各減少シタリ又假納シテ正式裁判ヲ求メタルモノハ五割一分五厘ヲ増加シ假納セサルニヨリ留置シタルモノ一割二分九厘ヲ減少シタリ以上ノ執行ヲ檢事局ト廳府縣警察ニ於ケルモノトニ區別スレハ次ノ如シ

檢事局ニ於ケル刑ノ執行人員

年 度	執行總人員	死 刑	無期懲役	有期懲役	有期禁錮	拘 留	罰 金	科 料
大 正 七 年	226,752	56	87	41,667	945	333	157,380	26,284
大 正 六 年	253,706	53	89	41,184	1,173	286	181,162	2,9659
大 正 五 年	226,695	63	103	43,395	509	426	152,413	29,786
大 正 四 年	226,890	94	82	45,619	490	384	150,471	29,770
大 正 三 年	219,806	5	89	48,081	201	339	139,333	31,758

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ死刑五分七厘有期懲役一分二厘拘留六分四厘ヲ各増加シ無期懲役二分二厘有期禁錮一割九分四厘罰金一割三分一厘科料一割一分四厘ヲ各減少シ總人員ニ付テハ一分〇六厘ヲ減少シタリ
財産刑ニ付テ罰金、科料金額及執行ノ成果ヲ示セハ次ノ如シ

檢事局ニ於ケル執行金額

年 度	執行總金額	罰 金	科 料
大 正 七 年	5,111,013,145	4,892,611,930	218,401,215
大 正 六 年	5,818,407,520	5,574,829,060	243,578,460
大 正 五 年	5,470,439,217	5,236,641,097	233,798,120
大 正 四 年	5,951,208,571	5,720,507,771	230,700,800
大 正 三 年	6,293,799,417	6,060,572,224	233,227,190

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ罰金一割二分二厘科料一割〇三厘ヲ各減少シ執行總金額ニ付テハ一分二分二厘ヲ減少シタリ
執行成果ヲ區別スレハ罰金科料人員ニ付テハ完納十一萬二千二百九十三人 一部納四千四百八

十七人 一部不納十五人 不完納三千四百四十三人 消滅一萬一千五百八十九人 執行未済五萬二千三百三十七人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ完納一部納合セテ一割三分四厘一部不納、不完納合セテ四割五分四厘ヲ各減少シ消滅〇分八厘ヲ増加シ執行未済一割一分二厘ヲ減少シタリ
又罰金科料金額ニ付テハ完納二百五十二萬〇七百五十三圓六十三錢 一部納九萬四千九百十八圓三十錢 一部不納四萬九千四百七十七圓九十一錢五厘 不完納二十五萬五千三百三十六圓〇七錢 消滅三十三萬四千四百七十圓九十九錢 執行未済百八十五萬六千二百五十六圓二十四錢ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ完納、一部納合セテ一割二分三厘一部不納、不完納合セテ三割二分三厘消滅九分四厘執行未済八分ヲ各減少シタリ
罰金科料ヲ納付セサルニヨリ勞役場ニ留置シタルモノ六千三百十三人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ四割〇五厘ヲ減少シタリ留置期間ヲ區別スレハ十五日以内二千八百三十九人 一月以内二千二百二十人 三月以内千〇九十三人 六月以内

百二十五人 一年以内三十六人ニシテ其ノ總數百ニ對スル比例ヲ舉クレハ十五日以内四十四人九分 一月以内三十五人二分 三月以内十七人三分 六月以内二人 一年以内〇人六分ノ割合ナリ之ヲ前年ニ比スレハ十五日以内一人四分六月以内〇人四分ヲ各増加シ一月以内〇人八分三月以内一人ヲ各減少シ一年以内ハ前年ト同一比例ナリ

廳府縣警察署ニ於ケル
刑ノ執行人員及執行金額

廳府縣警察署ニ於テ違警罪即決ニ係ル拘留、科料刑ノ執行ヲ爲シタルモノヲ示セハ次表ノ如シ

廳府縣警察署ニ於ケル
刑ノ執行人員及執行金額

年 度	執行總人員	拘留人員	科料人員	科料金額
大正七年	493,640	55,097	438,543	441,317,140
大正六年	507,470	51,716	455,754	384,467,155
大正五年	489,981	57,403	432,578	333,239,520
大正四年	451,566	58,342	393,224	290,025,750
大正三年	439,028	55,476	383,552	277,943,720

前表ニ依レハ大正七年ハ前年ニ比シ拘留刑ニ付テハ六分五厘ヲ増加シ科料刑ニ付テハ三分八厘ヲ減少シ執行總人員ニ付テハ二分七厘ヲ減少シ科料金額ニ付テハ一割四分八厘ヲ増加シタリ科料人員ニ付テ執行成果ヲ區別スレハ完納三十

五萬〇百四十四人 一部納四十二人 一部不納三人 不完納一萬五千二百九十九人 消滅一萬二千〇九十七人 納否未定又ハ住所不明等ニテ執行不能ノモノ六萬〇七百八十一人 假納シテ正式裁判ヲ求メタルモノ百〇一人 假納セサルニヨリ留置シタルモノ七十六人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ完納、一部納、假納シテ正式裁判ヲ求メタルモノ即チ納付シタル人員ニ付テハ併セテ一割〇二厘ヲ減少シ不完納、一部不納、消滅假納セサルニヨリ留置シタルモノ即チ納付セサル人員ニ付テハ併セテ四割九分四厘ヲ増加シ納否未定又ハ住所不明等ニテ執行不能ノモノ二割八分二厘ヲ増加シタリ

科料金額ニ付テ執行成果ヲ區別スレハ完納三十五萬一千五百六十四圓八十九錢 一部納七十九圓〇六錢 一部不納四十六圓三十四錢 不完納二萬一千八百七十五圓五十錢 消滅九千〇七十四圓三十五錢 納否未定又ハ住所不明等ニテ執行不能ノモノ五萬八千七百七十圓八十錢 假納シテ正式裁判ヲ求メタルモノ三百五十七圓七十錢 假納セサルニヨリ留置シタルモノ百四十八圓五十錢ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ完納、一部納、假納シテ正式裁判ヲ求メタルモノ即チ納付シタル金額ニ付テハ併セテ五分二厘ヲ増加シ不完納一部不納、消滅、假納セサルニヨリ留置シタルモノ即チ納付セサル金額ニ付テハ併セテ十一割〇五厘ヲ増加シ納否未定又ハ住所不明等ニテ執

行不能ノモノニ付テモ亦六割六分ヲ増加シタリ科料刑ニ就キ一般ノ納、不納ヲ概觀スルニ前年ハ納付シタルモノ比較的多數ナリシニ本年ハ却テ納付セサルモノ多數トナレリ執行總人員ニ於テハ前年ヨリ減少シタルニ拘ラス納付セサルモノ増加シタル金額ハ前年ヨリ總額ニ於テ増加シタルニヨリ納、不納トモニ從テ増加スヘキモ納付シタルモノハ五分二厘ノ増加ニ止マリ納付セサルモノハ十一割ヲ増加シ之ヲ各府縣ニ就テ見ルニ完納甚タ少ナク殆ント比較シ能ハサル所アリ又未執行ニ付テモ人員、金額共ニ概シテ増加シタルハ別ニ原因アルヘシ

本刑ニ算入シタル未決拘留日數

未決中ニ於ケル拘留日數ヲ本刑ニ算入シタルモノ千二百七十五人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ一割一分四厘ヲ増加シタリ
本刑ニ算入シタル拘留日數ヲ區別スレハ七日以内五十一人 十五日以内百九十二人 一月以内四百八人 二月以内三百六十八人 三月以内百三十二人 四月以内七十二人 五月以内二十四人 六月以内十三人 一年以内十五人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ七日以内三分八厘減少シ十五日以内二割九分七厘一月以内四分六厘二月以内四割一分三月以内四割一分九厘ヲ各増加シ四月以内二割九分四厘五月以内三割八分五厘六月以内六割三分一年以内三割四分八厘ヲ各減少シ一

年以上ハ前年ハ一人アリタルモ本年ハ無之又未決拘留ヲ通算シタル本刑ヲ區別スレハ懲役一千二百二十九人 禁錮百六人 罰金二十九人 拘留九人 科料二人ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ懲役刑ニアリテハ一割二分九厘禁錮刑ニアリテハ一割六分五厘ヲ各増加シ罰金刑ニアリテハ二割〇分八厘ヲ減少シ拘留刑ニアリテハ十二割五分ヲ増加シ科料刑ニ付テハ本年ハ二人ナルモ前年ハ無之

外國人ニ關スル事件

檢事局ニ於ケル捜査事件ノ舊受九件新受三百二十六件合計三百三十五件ニシテ前年ニ比スレハ新受五分總件數三分二厘ヲ各減少シタリ
終局區別ヲ舉クレハ豫審請求二十件公判請求四十三件略式裁判請求五十四件不起訴其ノ他二百〇九件ニツテ前年ニ比スレハ豫審請求八割一分八厘ヲ増加シ公判請求八分五厘略式裁判請求一分八厘不起訴其ノ他六分三厘ヲ各減少シタリ
被告總人員五百二十七人ニシテ前年ニ比スレハ二割六分一厘ヲ増加シタリ其ノ國籍ヲ區別スレハ支那人三百八十八人英國人三十二人米國人二十九人獨逸人二十三人露西亞人十九人佛蘭西、和蘭人各七人印度人五人葡萄牙人四人希臘、瑞西人各三人埃洪國、埃及人各二人暹羅、比律賓亞爾然丁人各一人ナリ
豫審事件ニアリテハ舊受二件新受二十件合計二

十二件ニシテ前年ニ比スレハ新受八割二分總件數八割三分ヲ増加シ全部公判ニ付シタリ

被告總人員三十七人ニシテ前年ニ比スレハ三倍ニ増加シタリ其ノ國籍ヲ區別スレハ支那人三十人獨逸人四人米國、瑞西、希臘人各一人ナリ

一審事件ニアリテハ舊受二十四件新受百十四件合計百三十八件ニシテ前年ニ比スレハ新受一分八厘總件數七分ヲ各増加シタリ

終局シタルモノ百二十四件二百三十人ニシテ科料其ノ他ノ區別ヲ舉クレハ懲役四十人禁錮一人罰金百七十三人拘留一人科料十人無罪免訴五人ニシテ前年ニ比スレハ無罪免訴ハ同數ニシテ禁錮拘留ハ本年ハ各一人アルモ前年ハ無之懲役四割二分九厘罰金ハ二倍餘ニ各増加シ科料七割二分ヲ減少シタリ

被告總人員二百四十五人ニシテ前年ニ比スレハ三割七分六厘ヲ増加シタリ其ノ國籍ヲ區別スレハ支那人百九十五人獨逸人十一人英國人九人露西亞人七人米國、佛國人各五人瑞西人三人和蘭、馬尼刺人各二人伊太利、澳洪國、芬蘭、葡萄牙比律賓人各一人國籍不詳一人ナリ

外國人ノ犯罪ハ支那人八割ヲ占メ地方分布ノ關係ヲ見ルニ最モ多數ナルハ橫濱地方ノ百二十九人ニシテ之ニ次クハ長崎地方ノ三十七人ナリ福岡、神戸、大阪地方ハ比較的多數ナルモ十二人乃至十八人ニシテ其ノ他ハ舉クルニ足ラス之ヲ罪名ニ就テ見ルニ刑法犯四割八分六厘特別法犯五割一分四厘ニシテ刑法犯ハ賭博七十人（五割八分八厘）竊盜十人（七分九厘）阿片、傷害、

詐欺ハ比較的多數ナルモ五人乃至八人ニシテ其ノ他ハ五人未滿ナリ又特別法犯ハ金貨及金地金輸出禁止違犯六十六人（五割二分四厘）對敵取引禁止違犯十三人（一割〇三厘）賣藥税法、阿片法、要塞地帯法違犯ハ比較的多數ナルモ六人乃至八人ニシテ其ノ他ハ五人未滿ナリ

控訴事件ニアリテハ舊受七件新受二十一件合計二十八件ニシテ前年ニ比スレハ新受九割一分總件數六割五分ヲ各増加シタリ

終局シタルモノ二十二件ニシテ原判決取消九件控訴棄却十三件ナリ

被告總人員三十八人ニシテ前年ニ比スレハ八割一分ヲ増加シタリ其ノ國籍ヲ區別スレハ支那人二十七人米國人四人英國人三人獨逸人二人露西亞、瑞西人各一人ナリ

上告事件ニアリテハ舊受一件新受十一件合計十二件ニシテ前年ニ比スレハ新受八件總件數九件ヲ各増加シタリ

終局シタルモノ七件ニシテ原判決破毀一件上告棄却三件取下三件ナリ

被告總人員十二人ニシテ前年ニ比スレハ二割ヲ減少シタリ其ノ國籍ヲ區別スレハ支那人九人米國、獨逸、和蘭人各一人ナリ

抗告及再審事件ニ付テハ外國人ニ係ルモノナシ

附 錄

以上略記シタル刑事々件ノ各件數、審理期間、處刑別、有罪犯人ノ累年比較、犯罪ノ基本行為其ノ他人口十萬ニ對スル地方分布ノ犯罪關係等ニ付テハ次表ヲ見ルヘシ

事件別總件數

種 別	年 次	受 理 件 數			終 局	未 終 局	總數百ニ對スル比例	
		舊 受	新 受	計			終 局	未 終 局
捜 査	大正七年	5,474	315,715	321,190	316,630	4,560	99	1
	同 六年	3,841	303,395	307,236	301,761	5,475	98	2
	同 五年	4,617	291,956	296,573	292,732	3,841	99	1
	同 四年	4,314	277,654	281,968	277,351	4,617	98	2
	同 三年	3,286	276,375	279,661	275,347	4,314	98	2
豫 審	大正七年	608	4,476	5,084	4,368	716	86	14
	同 六年	535	4,948	5,483	4,875	608	89	11
	同 五年	782	5,251	6,033	5,498	535	91	9
	同 四年	627	6,324	6,951	6,192	759	89	11
	同 三年	635	6,269	6,904	6,277	627	91	9
略 式	大正七年	1,120	60,146	61,266	59,934	1,332	98	2
	同 六年	913	60,864	61,777	60,737	1,040	98	2
	同 五年	877	52,387	53,264	52,463	801	98	2
	同 四年	1,145	47,285	48,430	47,601	829	98	2
	同 三年	1,067	43,123	44,190	43,096	1,094	98	2
通常第一審	大正七年	6,102	48,180	54,282	48,407	5,875	89	11
	同 六年	6,335	53,478	59,813	53,328	6,485	89	11
	同 五年	7,844	56,408	64,292	57,603	6,689	90	10
	同 四年	8,185	59,268	67,453	59,414	8,039	88	12
	同 三年	9,481	62,554	72,035	63,349	8,686	88	12
控 訴	大正七年	1,224	11,795	13,019	11,976	1,043	92	8
	同 六年	1,242	12,979	14,221	12,997	1,224	91	9
	同 五年	1,079	12,096	13,175	11,933	1,242	91	9
	同 四年	1,332	11,893	12,725	11,646	1,079	91	9
	同 三年	1,407	11,914	13,321	11,989	1,332	90	10
上 告	大正七年	568	3,628	4,196	3,768	428	90	10
	同 六年	398	3,688	4,086	3,518	568	86	14
	同 五年	328	3,092	3,420	3,022	398	88	12
	同 四年	502	3,412	3,914	3,586	328	92	8
	同 三年	576	3,507	4,083	3,581	502	88	12
抗 告	大正七年	1	61	62	59	3	95	5
	同 六年	0	54	54	53	1	98	2
	同 五年	3	56	59	59	0	100	0
	同 四年	2	66	68	65	3	96	4
	同 三年	2	62	64	62	2	97	3
再 審	大正七年	4	34	38	37	1	97	3
	同 六年	0	28	28	24	4	86	14
	同 五年	2	35	37	37	0	100	0
	同 四年	9	55	64	62	2	97	3
	同 三年	5	46	51	42	9	82	18
總 計	大正七年	15,102	444,035	459,137	445,179	13,958	97	3
	同 六年	13,264	439,434	452,698	437,293	15,405	97	3
	同 五年	15,572	421,281	436,853	423,347	13,506	97	3
	同 四年	16,116	405,457	421,573	405,917	15,656	96	4
	同 三年	16,459	403,850	420,309	403,743	16,566	96	4

備考 略式事件ハ請求ヲ受ケタキ全部ヲ計上シ通常一審ニ移リタルモノヲ包含セルニヨリ次表ノ終局審理期間ノ件數ニ符合セス

終局事件ノ審理期間

種別年度	終局件數	審理期間						總數百ニ對スル比例						
		十五日 以內	一年 以內	二月 以內	三月 以內	六月 以內	六月 以上	十五日 以內	一月 以內	二月 以內	三月 以內	六月 以內	六月 以上	
捜査	大正七年	316,630	263,815	28,271	13,508	5,062	4,471	1,503	83	9	4	2	1	1
	同六年	301,761	257,179	23,894	11,525	4,490	3,622	1,051	85	8	4	2	1	0
	同五年	292,732	256,811	19,311	8,970	3,543	2,798	1,299	88	7	3	1	1	0
	同四年	277,351	240,591	19,042	9,348	3,781	3,385	1,204	87	7	4	1	1	0
豫審	大正七年	4,368	794	1,099	1,187	582	540	166	18	25	28	13	12	4
	同六年	4,875	1,114	1,307	1,307	533	472	142	23	27	27	11	9	3
	同五年	5,498	1,247	1,424	1,278	636	592	221	23	28	23	11	11	4
	同四年	6,192	1,620	1,640	1,548	667	566	151	26	27	25	11	9	2
略式	大正七年	57,107	54,690	2,128	236	29	22	2	96	4	0	0	0	0
	同六年	56,833	53,649	2,516	590	42	38	—	94	5	1	0	0	0
	同五年	49,084	45,930	2,327	611	150	62	4	94	5	1	0	0	0
	同四年	43,867	41,445	2,124	241	53	4	—	94	5	1	0	0	—
通常第一審	大正七年	48,407	29,164	11,854	5,135	1,249	779	226	60	24	10	3	2	1
	同六年	53,328	33,276	12,238	5,453	1,342	811	208	62	23	10	3	2	0
	同五年	57,603	37,771	12,015	5,183	1,374	951	309	66	21	9	2	2	0
	同四年	59,414	40,550	12,170	4,690	1,099	707	198	68	21	8	2	1	0
控訴	大正七年	11,976	4,461	3,586	2,353	793	582	201	37	30	20	6	5	2
	同六年	12,997	4,848	3,880	2,416	850	711	262	38	30	19	7	6	2
	同五年	11,933	4,802	3,304	2,148	741	685	253	40	28	18	6	6	2
	同四年	11,646	4,633	3,226	2,086	695	685	241	40	28	17	6	6	3
上告	大正七年	3,768	358	113	1,516	1,651	99	31	10	3	40	44	2	1
	同六年	3,518	391	106	1,940	912	146	23	11	3	55	26	4	1
	同五年	3,022	315	115	1,971	531	81	9	10	4	65	18	3	0
	同四年	3,586	380	137	1,880	1,021	162	6	11	4	52	28	5	0
抗告	大正七年	59	38	12	6	3	—	—	65	20	10	5	—	—
	同六年	53	27	12	13	1	—	—	51	23	24	2	—	—
	同五年	59	32	17	6	1	2	1	54	29	10	2	3	2
	同四年	65	36	14	5	2	1	7	55	21	8	3	2	11
再審	大正七年	37	14	21	2	—	—	—	38	57	5	—	—	—
	同六年	24	12	11	1	—	—	—	50	46	4	—	—	—
	同五年	37	12	20	5	—	—	—	32	54	14	—	—	—
	同四年	62	4	26	24	7	1	—	6	42	39	11	2	—
總計	大正七年	442,352	353,334	47,084	23,943	9,369	6,493	2,129	80	11	5	2	1	1
	同六年	433,389	350,526	43,964	23,245	8,170	5,798	1,686	81	10	6	2	1	0
	同五年	419,968	346,920	38,633	20,172	6,976	5,171	2,096	83	9	5	2	1	0
	同四年	402,183	329,280	38,379	19,772	7,325	5,511	1,907	82	10	5	2	1	0

備考 略式事件ハ正式裁判ノ申立ナキモノノミヲ計上シタルニヨリ前表事件別件數ニ符合セス

處刑別及無罪免訴人員

種別年度	被告人員	處刑別				無罪免訴	現住人口 十萬ニ對 スル比例	
		死刑	自由刑	財産刑	計			
第一審判決	大正七年	64,996	39	46,869	16,705	63,613	1,383	113
	同六年	66,421	66	46,403	18,561	65,030	1,391	119
	同五年	73,159	74	49,834	21,292	71,200	1,959	132
	同四年	73,680	79	49,807	21,975	71,861	1,799	139
特別法犯	大正七年	84,614	52	52,653	29,412	82,117	2,497	161
	同六年	9,385	1	1,689	7,006	8,696	689	17
	同五年	20,726	0	3,360	16,128	19,489	1,237	37
	同四年	15,259	0	2,561	11,704	14,265	994	28
計	大正七年	19,890	0	2,791	15,940	18,731	1,159	37
	同六年	15,065	0	1,806	12,523	14,329	736	29
	同五年	74,381	40	48,558	23,711	72,309	2,072	130
	同四年	87,147	67	49,763	34,689	84,519	2,628	156
略式命令	大正七年	88,418	74	52,395	32,996	85,465	2,953	160
	同六年	93,550	79	52,598	37,915	90,592	2,958	176
	同五年	99,679	52	54,459	11,935	96,446	3,233	190
	同四年	52,080	—	—	52,080	52,080	—	92
特別法犯	大正七年	44,049	—	—	44,049	44,049	—	78
	同六年	33,392	—	—	33,392	33,392	—	60
	同五年	25,388	—	—	25,388	25,388	—	48
	同四年	22,190	—	—	22,190	22,190	—	42
計	大正七年	41,982	—	—	41,982	41,982	—	74
	同六年	63,212	—	—	63,212	63,212	—	113
	同五年	40,618	—	—	40,618	40,618	—	74
	同四年	45,195	—	—	45,195	45,195	—	85
計	大正七年	94,062	—	—	94,062	94,062	—	166
	同六年	107,261	—	—	107,261	107,261	—	191
	同五年	74,010	—	—	74,010	74,010	—	134
	同四年	70,583	—	—	70,583	70,583	—	133
違警罪即決	大正七年	56,122	—	—	56,122	56,122	—	107
	同六年	186	—	4	182	186	—	0
	同五年	305	—	6	299	305	—	1
	同四年	127	—	4	123	127	—	0
特別法犯	大正七年	106	—	7	99	106	—	0
	同六年	41	—	3	38	41	—	0
	同五年	459,382	—	54,347	399,143	453,490	5,832	811
	同四年	471,842	—	51,823	416,151	467,974	3,868	842
計	大正七年	463,733	—	57,381	398,392	455,778	7,960	840
	同六年	417,307	—	58,340	356,067	414,407	2,900	786
	同五年	407,933	—	55,433	350,457	405,890	2,043	778
	同四年	459,568	—	54,351	399,325	453,676	5,892	811
總計	大正七年	472,147	—	51,829	416,450	468,279	3,868	843
	同六年	463,860	—	57,385	398,515	455,900	7,960	840
	同五年	417,413	—	53,347	356,166	414,513	2,900	786
	同四年	407,974	—	55,436	350,496	405,931	2,043	778
總計	大正七年	628,011	40	102,909	517,098	620,047	7,964	1,109
	同六年	668,555	67	101,592	558,400	660,639	6,496	1,190
	同五年	626,288	74	109,780	505,521	615,375	10,913	1,134
	同四年	581,546	79	110,945	464,664	575,688	5,858	1,095
同三年	563,775	52	109,895	448,552	558,499	5,276	1,075	

地方裁判所別

Table with columns for '未終局人員' (Unsettled Personnel) and '通常第一審事件' (Ordinary First Instance Events), subdivided by '刑罰犯' (Penal Offenses) and '特別法犯' (Special Law Offenses). Rows list various prefectural courts like 東京地方管内, 神奈川地方管内, etc., ending with a total '合計' row.

未終局人員

大正七年十二月末日現在

Table with columns for '略式命令=對スル正式裁判事件' (Summary Order = Formal Judgment Events) and '違警罪即決=對スル正式裁判事件' (Summary Judgment = Formal Judgment Events), subdivided by '刑罰犯' and '特別法犯'. Rows list various prefectural courts, ending with a total '合計' row.

罪名別犯罪行為ノ個數 (大正七年第一審)

Table with columns: 罪名, 有罪人員, 犯罪基本ノ履行爲ノ個數, 處斷罪 (單獨犯, 共同犯), 併合罪 (單獨犯, 共同犯), 牽連犯 (單獨犯, 共同犯), 連續犯 (單獨犯, 共同犯). Rows include various crimes like 竊盜, 強盜, 殺人, etc.

備考 犯罪行為ハ本年初メテ統計シタルモノニシテ牽連關係又ハ過失罪ニ共犯アル等疑義アルモ材料ノ示ス所ニ從ヒ其ノ儘統計ス

刑法犯確定有罪總人員及累犯人ノ累年比較 (實數)

Table with columns: 年度, 有罪總人員, 男, 女, 有罪人員中累犯者, 人口十萬ニ對スル比例 (有罪人員, 累犯者人員). Rows show annual data from 1904 to 1917 and 5-year averages.

人口十萬ニ對スル特殊犯罪人ノ累年比較 其一 (比例)

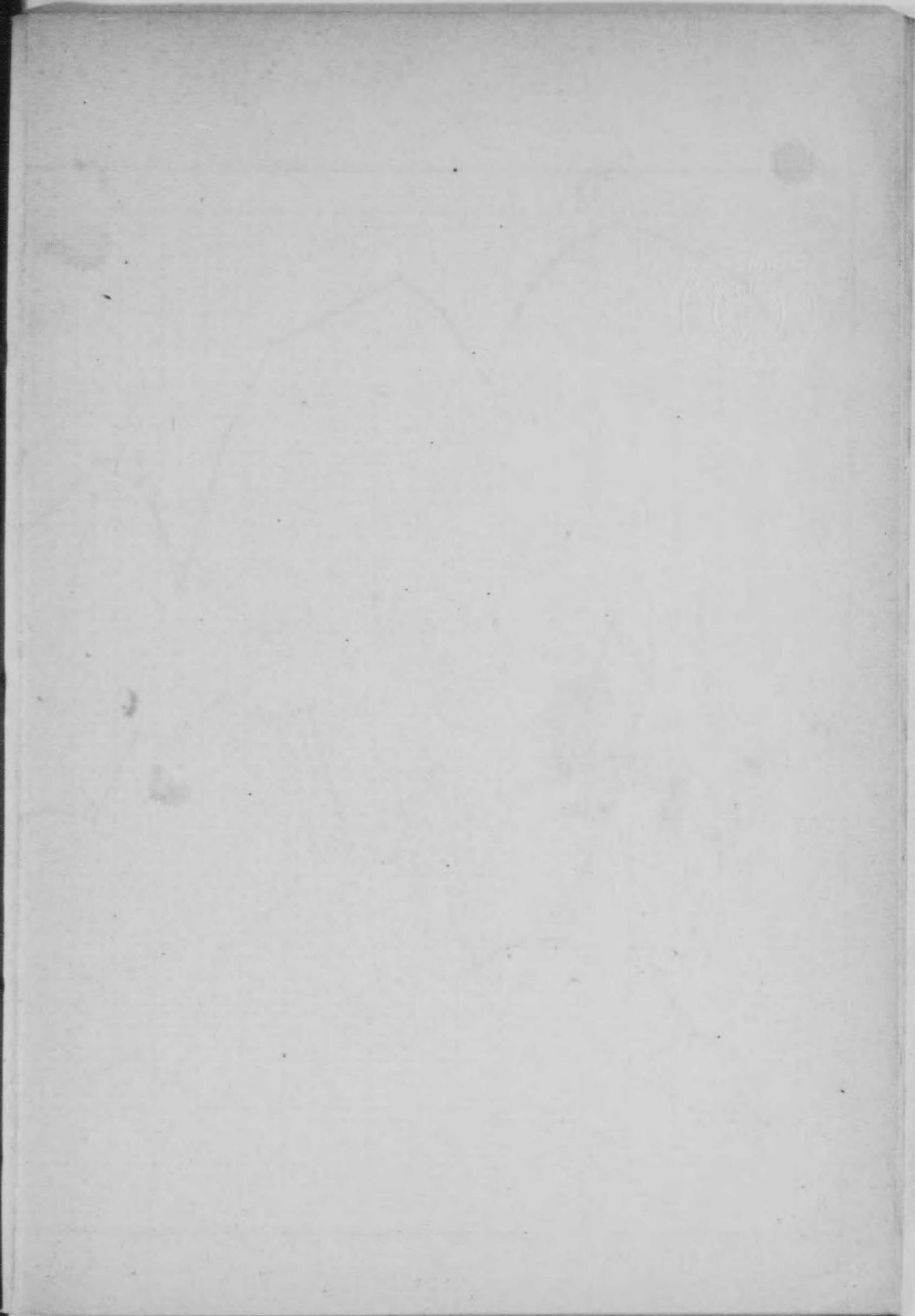
年 度	殺 人		放 火		強 盜		通 貨 偽 造	
	有罪總人員	累 犯 者	有罪總人員	累 犯 者	有罪總人員	累 犯 者	有罪總人員	累 犯 者
明治十五年	0.557	0.038	0.343	0.106	2.608	1.106	0.142	0.005
同十六年	0.732	0.026	0.505	0.084	4.181	1.564	0.411	0.043
同十七年	0.893	0.067	0.524	0.064	4.625	1.855	1.527	0.125
同十八年	1.308	0.100	0.783	0.105	5.701	2.202	1.357	0.129
同十九年	1.426	0.107	1.113	0.176	7.379	2.639	1.088	0.110
五年平均	0.988	0.069	0.657	0.107	4.923	1.880	0.916	0.082
明治二十年	1.101	0.099	0.842	0.114	5.279	1.966	0.911	0.077
同二十一年	1.060	0.076	0.831	0.123	3.317	1.340	0.682	0.076
同二十二年	0.938	0.087	0.731	0.117	2.008	0.891	0.577	0.089
同二十三年	1.267	0.122	1.075	0.171	2.944	0.964	0.695	0.078
同二十四年	1.250	0.118	0.953	0.167	3.257	1.061	1.056	0.120
五年平均	1.025	0.100	0.888	0.140	3.371	1.243	0.788	0.085
明治二十五年	1.448	0.131	0.971	0.180	3.035	1.051	0.852	0.088
同二十六年	1.326	0.147	1.165	0.236	2.542	0.934	0.898	0.142
同二十七年	1.272	0.134	1.138	0.186	2.135	0.722	0.832	0.126
同二十八年	1.324	0.127	1.154	0.173	1.769	0.608	0.750	0.092
同二十九年	1.381	0.152	1.041	0.208	1.348	0.461	0.402	0.060
五年平均	1.348	0.137	1.094	0.196	2.160	0.729	0.745	0.103
明治三十年	1.549	0.141	1.034	0.122	1.642	0.700	0.423	0.056
同三十一年	1.510	0.148	1.332	0.217	1.622	0.566	0.388	0.075
同三十二年	1.185	0.122	0.922	0.153	1.455	0.636	0.447	0.070
同三十三年	1.260	0.118	0.934	0.142	1.354	0.484	0.236	0.042
同三十四年	1.188	0.099	0.840	0.103	1.208	0.446	0.279	0.046
五年平均	1.350	0.124	1.009	0.147	1.453	0.548	0.351	0.056
明治三十五年	1.383	0.128	0.955	0.111	1.014	0.349	0.381	0.043
同三十六年	1.411	0.113	1.069	0.157	1.371	0.514	0.458	0.057
同三十七年	1.287	0.108	1.080	0.144	1.365	0.499	0.777	0.241
同三十八年	1.120	0.081	0.933	0.104	1.502	0.386	0.753	0.084
同三十九年	1.141	0.087	0.907	0.092	0.965	0.288	0.433	0.060
五年平均	1.281	0.104	0.992	0.121	1.244	0.407	0.560	0.098
明治四十年	0.975	0.111	0.885	0.129	0.809	0.247	0.280	0.023
同四十一年	1.198	0.099	0.811	0.095	0.815	0.264	0.232	0.055
同四十二年	1.181	0.131	0.825	0.121	0.668	0.340	0.230	0.072
同四十三年	1.496	0.184	1.026	0.153	0.945	0.475	0.251	0.075
同四十四年	1.482	0.220	1.063	0.166	0.956	0.471	0.259	0.052
五年平均	1.271	0.151	0.923	0.133	0.845	0.362	0.247	0.056
大正元年	1.587	0.240	1.173	0.174	1.040	0.541	0.174	0.058
同二年	1.501	0.284	1.279	0.215	0.902	0.470	0.178	0.041
同三年	1.655	0.231	1.186	0.230	0.957	0.506	0.145	0.046
同四年	1.521	0.286	0.964	0.211	1.028	0.536	0.225	0.066
同五年	1.484	0.253	0.961	0.179	1.000	0.617	0.241	0.067
五年平均	1.558	0.260	1.110	0.202	0.990	0.527	0.193	0.056
大正六年	1.249	0.211	0.694	0.141	0.732	0.391	0.080	0.023
大正七年	0.873	0.223	0.624	0.093	0.501	0.179	0.040	0.009

人口十萬ニ對スル特殊犯罪人ノ累年比較 其二 (比例)

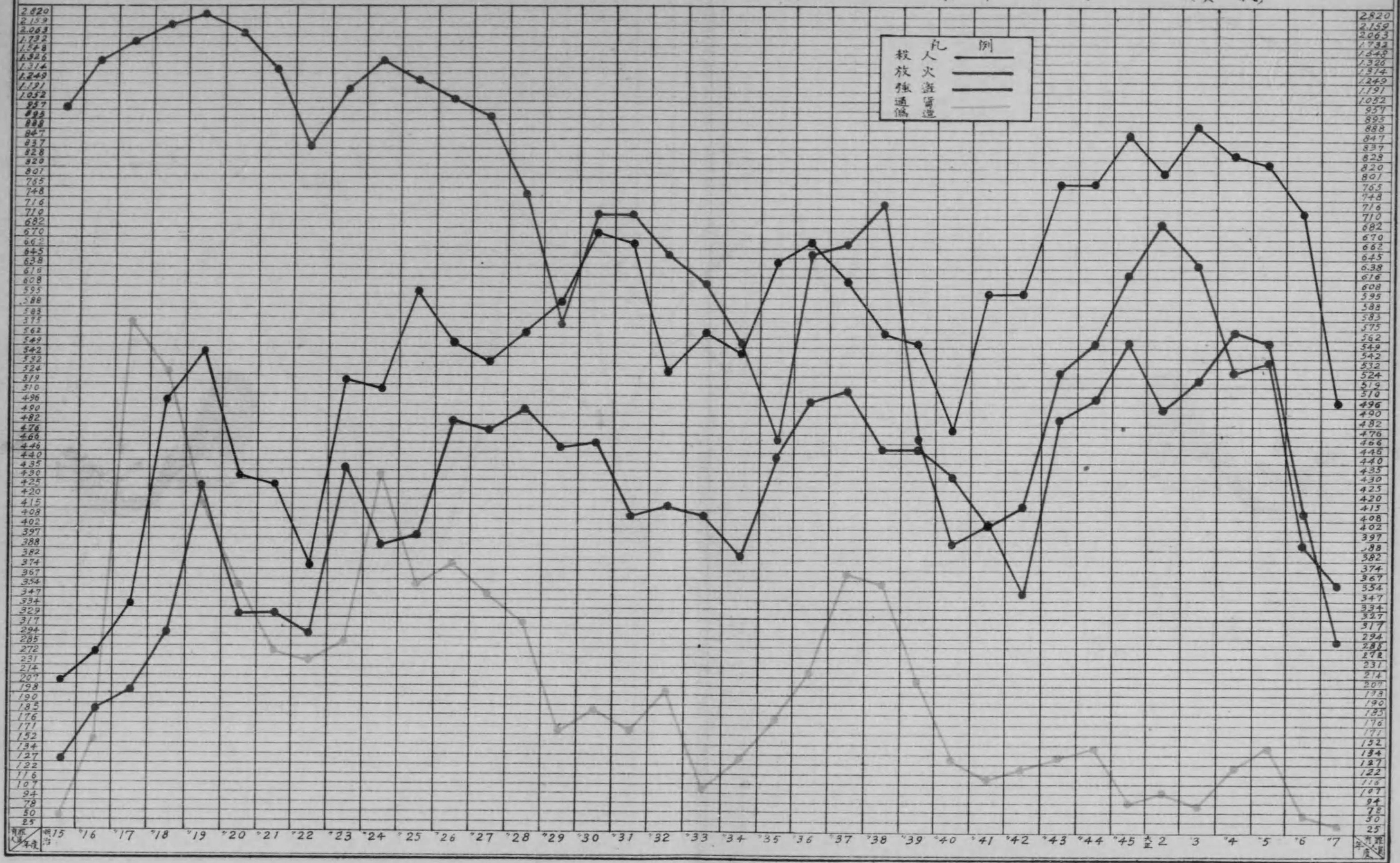
年 度	竊 盜		賭 博		文 書 偽 造	
	有罪總人員	累 犯 者	有罪總人員	累 犯 者	有罪總人員	累 犯 者
明治十五年	66.226	10.539	57.238	5.368	3.591	0.169
同十六年	86.248	16.966	71.177	8.659	6.988	0.399
同十七年	100.658	20.567	10.541	1.967	9.218	0.615
同十八年	147.800	33.575	0.751	0.129	8.233	0.525
同十九年	145.655	44.326	—	—	5.392	0.432
五年平均	109.769	25.373	34.606	3.999	6.694	0.454
明治二十年	103.919	40.619	0.003	—	3.355	0.315
同二十一年	91.044	33.408	—	—	3.007	0.363
同二十二年	94.649	32.458	34.654	2.717	2.687	0.341
同二十三年	148.469	48.831	82.561	7.809	3.018	0.312
同二十四年	155.614	54.245	93.460	11.415	3.759	0.484
五年平均	121.008	41.992	70.398	* 7.336	3.174	0.365
明治二十五年	142.044	40.409	105.013	15.301	4.197	0.555
同二十六年	164.857	63.241	110.503	19.222	3.726	0.534
同二十七年	169.037	64.326	109.035	19.687	4.034	0.588
同二十八年	114.031	54.451	107.282	20.328	3.957	0.683
同二十九年	148.462	40.022	119.135	22.433	3.739	0.639
五年平均	153.066	52.413	110.243	19.437	3.930	0.599
明治三十年	138.118	48.455	117.701	23.169	4.013	0.770
同三十一年	134.590	46.721	105.812	21.205	3.980	0.731
同三十二年	96.178	33.872	86.742	17.391	3.883	0.676
同三十三年	92.149	32.182	88.280	18.786	3.473	0.600
同三十四年	87.769	31.490	93.307	19.683	3.757	0.669
五年平均	106.409	38.425	98.253	20.033	3.819	0.688
明治三十五年	82.945	30.984	88.715	20.731	4.238	0.749
同三十六年	92.303	38.365	71.369	16.936	4.683	0.772
同三十七年	82.733	40.492	38.455	13.948	4.225	0.737
同三十八年	71.490	35.025	25.038	11.919	2.963	0.593
同三十九年	72.692	37.231	28.807	13.218	3.411	0.772
五年平均	81.689	36.411	47.540	15.216	3.895	0.725
明治四十年	64.367	32.291	31.804	14.924	2.960	0.686
同四十一年	58.176	28.189	36.634	13.640	3.234	0.667
同四十二年	53.411	23.565	69.259	15.536	2.725	0.493
同四十三年	50.631	20.076	88.218	19.778	3.065	0.438
同四十四年	49.244	19.115	103.134	23.487	3.424	0.514
五年平均	55.500	24.547	66.523	17.938	3.093	0.569
大正元年	46.459	19.257	106.929	27.668	3.006	0.531
同二年	46.435	20.477	99.729	30.087	2.376	0.507
同三年	39.739	27.021	94.638	29.421	2.870	0.567
同四年	35.217	19.736	79.491	22.442	3.174	0.558
同五年	36.695	19.242	91.801	25.708	3.290	0.545
五年平均	41.529	20.780	94.730	26.682	3.034	0.533
大正六年	33.512	16.748	102.242	28.063	2.961	0.534
大正七年	30.737	14.644	103.550	28.016	1.790	0.256

Table 1: Comparison of the number of species in the genus *...* and the number of individuals in the genus *...* in the year 1950.

Year	Number of species	Number of individuals	Ratio (Individuals/Species)
1950	10	100	10
1951	12	120	10
1952	15	150	10
1953	18	180	10
1954	20	200	10
1955	22	220	10
1956	25	250	10
1957	28	280	10
1958	30	300	10
1959	32	320	10
1960	35	350	10
1961	38	380	10
1962	40	400	10
1963	42	420	10
1964	45	450	10
1965	48	480	10
1966	50	500	10
1967	52	520	10
1968	55	550	10
1969	58	580	10
1970	60	600	10

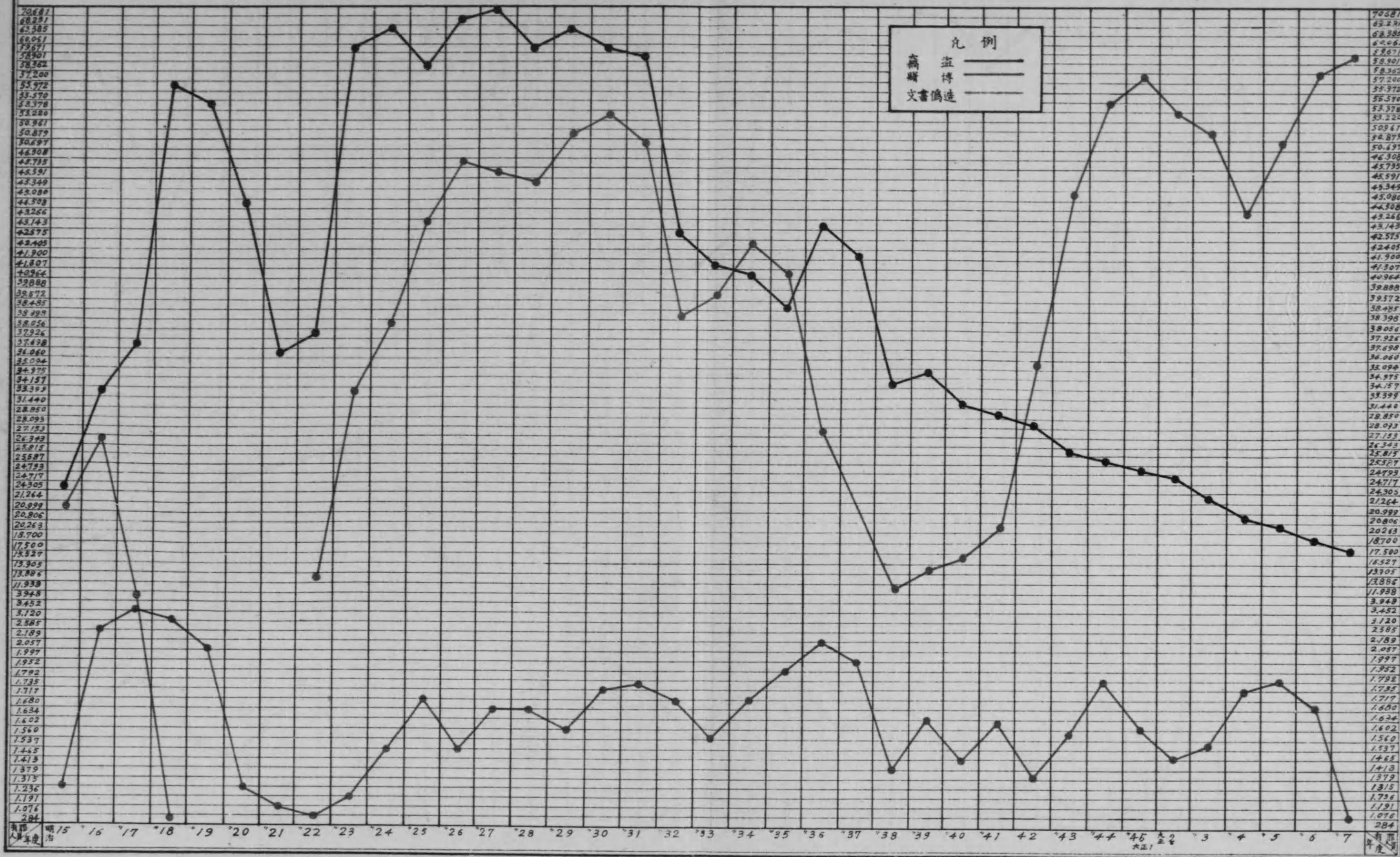


殺人、放火、強盜、通貨偽造罪有罪犯人、累年比較 (實數)





竊盜、賭博、文書偽造罪有罪人ノ累年比較 (實數)



前表有罪犯人ト累犯關係及罪名別累年比較ノ對比人口ハ大正二年マテハ内閣統計年鑑ノ本籍人口ニ依リタルモ大正三年以後ハ其調査ナキニヨリ同年鑑所載ノ乙種現住人口ニ依リタリ但シ北海道ハ裁判所管轄別ノ必要アルヲ以テ靜態統計ニ依ル

累犯關係ニ付テハ法律上加重シタル累犯ノミトセス事實上ノ前科者ヲ計上シタリ

罪名別人員ニ付テハ統一シタル材料無之ニヨリ明治四十一年以前ハ確定未確定ニ拘ラス總テ第一

審判決ニ依リ明治四十二年以後ハ確定判決ヲ經タル有罪人員ニ依リタリ

猶ホ罪名別人員ハ其實質ヲ示サント欲シタルニヨリ内容ニ付テハ他表ト異リタル所アリ

殺人罪ニ付テハ豫備、自殺幇助、教唆ヲ算入セス

放火罪ニ付テハ豫備ヲ算入セス

通貨偽造罪ニ付テハ豫備ヲ算入セス

文書偽造罪ニ付テハ印章偽造及文書毀棄ヲ算入セス

賭博罪ニ付テハ富籤ニ關スルモノヲ算入セス又賭博罪ニ付テハ明治十九年乃至明治二十一年

ハ警察署ノ行政處分ニ任セタルニ由リ之ヲ記入セス

從テ其五年平均欄ニ付テモ明治十九年以前ハ四年平均同二十年乃至同二十四年ハ三年平均トシテ

之ヲ計算シタリ

罪名別橫線圖ニ付テハ人口十萬ニ對比セス犯罪人ノ實數ヲ示サント欲シタルモ其階級多數ナルニ

依リ殺人、放火、強盜、通貨偽造罪ニ付テハ十人ノ差ヲ同一階級ニ併合シ竊盜、賭博、文書偽造罪

ニ付テハ二千人以下ハ三十人 二千人以上ハ百人以上ノ差ヲ同一階級ニ併合セル所アリ

この大綱本は、昭和十一年四月一日、日本銀行、東京市中區本町四丁目、日本銀行東京支店、本館に在りて、

本館に在りて、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、

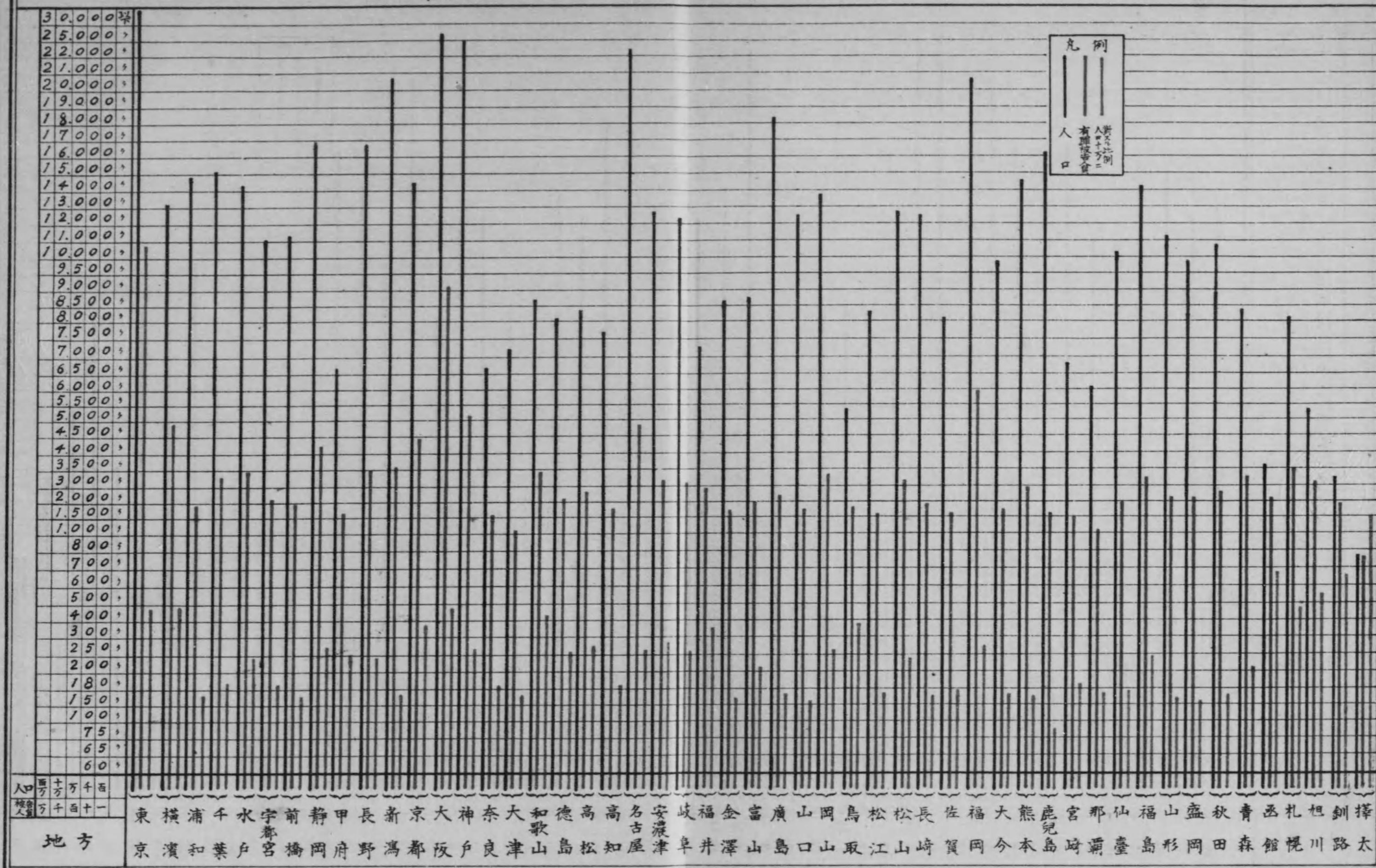
昭和十一年四月一日、

昭和十一年四月一日、



人口、有罪被告人及人口十萬ニ對スル有罪被告人ノ比例

(大正七年第一審刑法犯)



前表=依リ犯人ノ實數ヲ見ルニ(本統計第三十二表地方裁判所管轄別犯罪地参照)人口ノ多數ナル地方ハ從テ犯人多數ニシテ東京、大阪、神戸、名古屋、福岡ハ常ニ多數ナルヲ見ルト雖モ人口十萬ニ對スル比例ニ依レハ樺太、北海道ハ人口少數ナルニ拘ラス犯人ハ東京、大阪ヨリ多數ニシテ和歌山、鳥取、青森、福井ノ如キハ人口七八十萬内外ナルニ人口百五十萬以上ノ静岡、福岡、神戸、名古屋ヲ凌キ大阪、東京ノ次ニ位スルハ注目スヘシ

人口十萬ニ對スル刑法犯人ノ比例ハ六十八人五分乃至千〇四十四人四分平均二百四人二分ナリ之ヲ前年ニ比スレハ最高ハ減少シタルモ最低ハ増加シ平均二十一人二分ヲ増加シタリ

(前年ハ確定刑ニ依リ本年ハ一審有罪ヲ以テシタルニヨリ前年トノ比較ニ付テハ多少ノ差違アルヘシ次表亦同シ)

最高千〇四十四人四分以下二百五十人以上ヲ有スル地方ヲ擧クレハ

第一	樺太 千〇四十四人四分	函館 五百六十一人八分	釧路 五百二十九人一分
	旭川 四百四十人九分	札幌 三百六十四人	
第二	横濱 三百六十三人八分	大阪 三百五十三人八分	東京 三百三十二人六分
	和歌山 三百二十人三分		
第三	鳥取 二百八十三人六分	青森 二百八十三人六分	京都 二百七十四人八分
	福井 二百六十八人二分		

以上十三地方ニシテ其ノ他静岡、福岡、高松、安濃津、神戸、名古屋モ亦平均以上ナリ

最モ少數ナルモノヲ首位ニ置キ百五十人以下ノモノヲ示セハ次ノ如シ

第一	鹿兒島 六十八人五分	浦和 百〇六人八分	山口 百〇八人五分	山形 百一十一人六分
	盛岡 百十八人六分	長崎 百二十三人	前橋 百二十八人七分	松江 百二十九人六分
第二	廣島 百三十人	金澤 百三十二人七分	熊本 百三十三人九分	大津 百三十四人五分
	大分 百三十五人一分	新潟 百三十七人五分	仙臺 百三十九人九分	
第三	那覇 百四十一人五分	秋田 百四十一人九分	佐賀 百四十三人五分	

以上十八地方ニシテ宇都宮、宮崎、千葉、高知、奈良、長野ハ百五十三人二分乃至百七十一人四分

分ヲ有シ福島、甲府、水戸、富山、松山、徳島、岐阜ハ比較的多數ナルモ平均以下ナリ

賭博、窃盜、詐欺横領、偽造ノ各罪及傷害、殺人、放火、強盜ノ各罪ノ人口十萬ニ對スル比例ハ次表ニ就テ見ルヘシ

十員を以て一人（即ち銀兩を以て銀兩に換算）として、其の差支を人算に算入す。其の
 十員を以て一人として、其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。
 其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。
 其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。

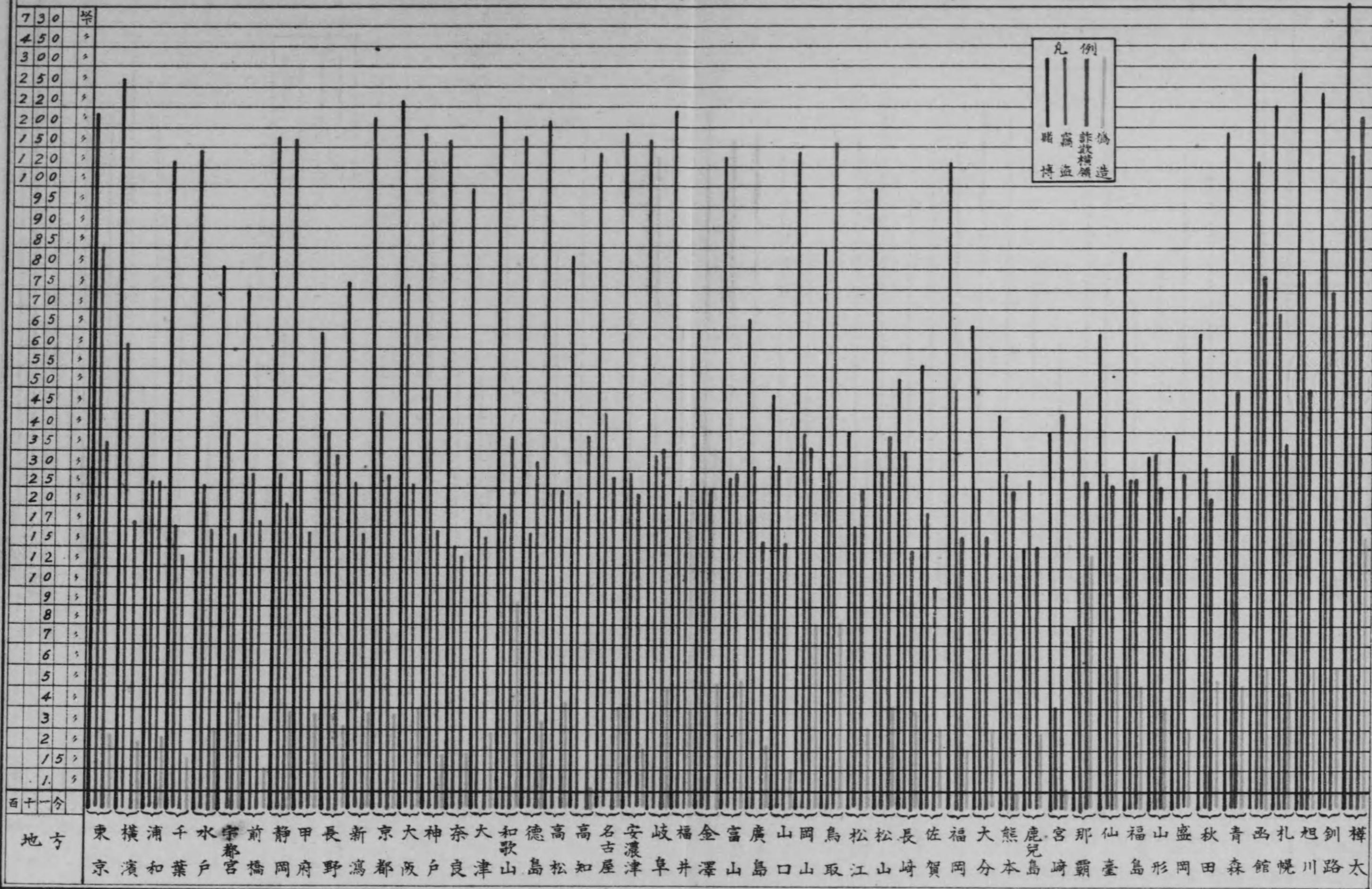
一、八、二、百、五、十	二、八、一、十、五、十	三、八、四、十、五、十
四、八、二、十、五、十	五、八、三、十、五、十	六、八、四、十、五、十
七、八、五、十、五、十	八、八、六、十、五、十	九、八、七、十、五、十
一〇、八、八、十、五、十	一一、八、九、十、五、十	一二、八、十、十、五、十
一三、八、一、十、五、十	一四、八、二、十、五、十	一五、八、三、十、五、十
一六、八、四、十、五、十	一七、八、五、十、五、十	一八、八、六、十、五、十
一九、八、七、十、五、十	二〇、八、八、十、五、十	二一、八、九、十、五、十
二二、八、十、十、五、十	二三、八、一、十、五、十	二四、八、二、十、五、十
二五、八、三、十、五、十	二六、八、四、十、五、十	二七、八、五、十、五、十
二八、八、六、十、五、十	二九、八、七、十、五、十	三〇、八、八、十、五、十

其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。
 其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。
 其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。
 其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。其の差支を人算に算入す。



人口十萬ニ對スル 賭博罪、竊盜罪、詐欺橫領罪、偽造罪犯人、各比例

(大正七年第一審有罪)



114.1 平均
33.3 平均
24.4 平均
3.2 平均

第一賭博罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ六人五分乃至四百六十四人一分平均百〇六人一分ニシテ前年ニ比スレハ最高最低共ニ減少セルモ各地方概シテ増加シ平均三人八分ヲ増加セリ

最高四百六十四人一分以下百五十人以上ヲ有スルハ樺太、函館、旭川、釧路、横濱、大阪、札幌、福井、京都、東京、和歌山、高松ニシテ青森、静岡、神戸、徳島、安濃津、奈良、水戸、名古屋、甲府、岡山ハ平均以上ナリ

最モ少數ナルハ那覇六人五分ニ次クハ鹿兒島十二人ニシテ山口、浦和、熊本、盛岡、山形ハ人口十萬以上ナルニ平均ノ半數ヲ出テス又千葉、新潟、前橋、宇都宮ハ比較的少數ナリ

第二竊盜罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ三人一分乃至百十三人四分平均三十三人五分ニシテ前年ニ比スレハ最高ハ大ニ減少シ從テ北海道及東京等ハ減少シタルモ大阪ノ如キハ殆ント二倍ニ増加シ其ノ他ノ地方モ概シテ増加シ平均人員三人四分ヲ増加セリ

最高百十三人四分以下五十人以上ヲ有スルハ樺太、函館、東京、釧路、旭川、大阪、札幌、横濱ニシテ那覇、神戸、福岡、京都等モ亦比較的多數ナリ

最モ少數ナルハ宮崎ノ三人一分ニシテ千葉、水戸、新潟ノ如キ、東京附近ハ比較的少數ニシテ又神戸、和歌山ノ如キハ賭博罪ノ多數ナルニ比較スレハ甚タ少數ナリ

第三詐欺横領罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ九人乃至百六十九人三分平均二十二分三分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ最高最低共ニ増加シ從テ平均人員二人八分ヲ増加シ各地方概シテ増加セリ

最高百六十九人三分以下三十人以上ヲ有スルハ樺太、鳥取、函館、釧路、青森、旭川、宮崎、和歌山、松山、高知、東京、札幌、岐阜、岡山ノ各地方ナリ 而シテ鳥取百二十五人一分宮崎三十八人二分高知三十四人ノ如キ東京ノ上ニアルハ注目スヘシ

最モ少數ナルハ佐賀九人二分ニ次クハ千葉十人九分ニシテ名古屋、大阪、浦和、横濱、前橋、新潟ハ平均以下ニ在リ神戸、福岡、長崎ハ殆ント平均ノ半數ナリ

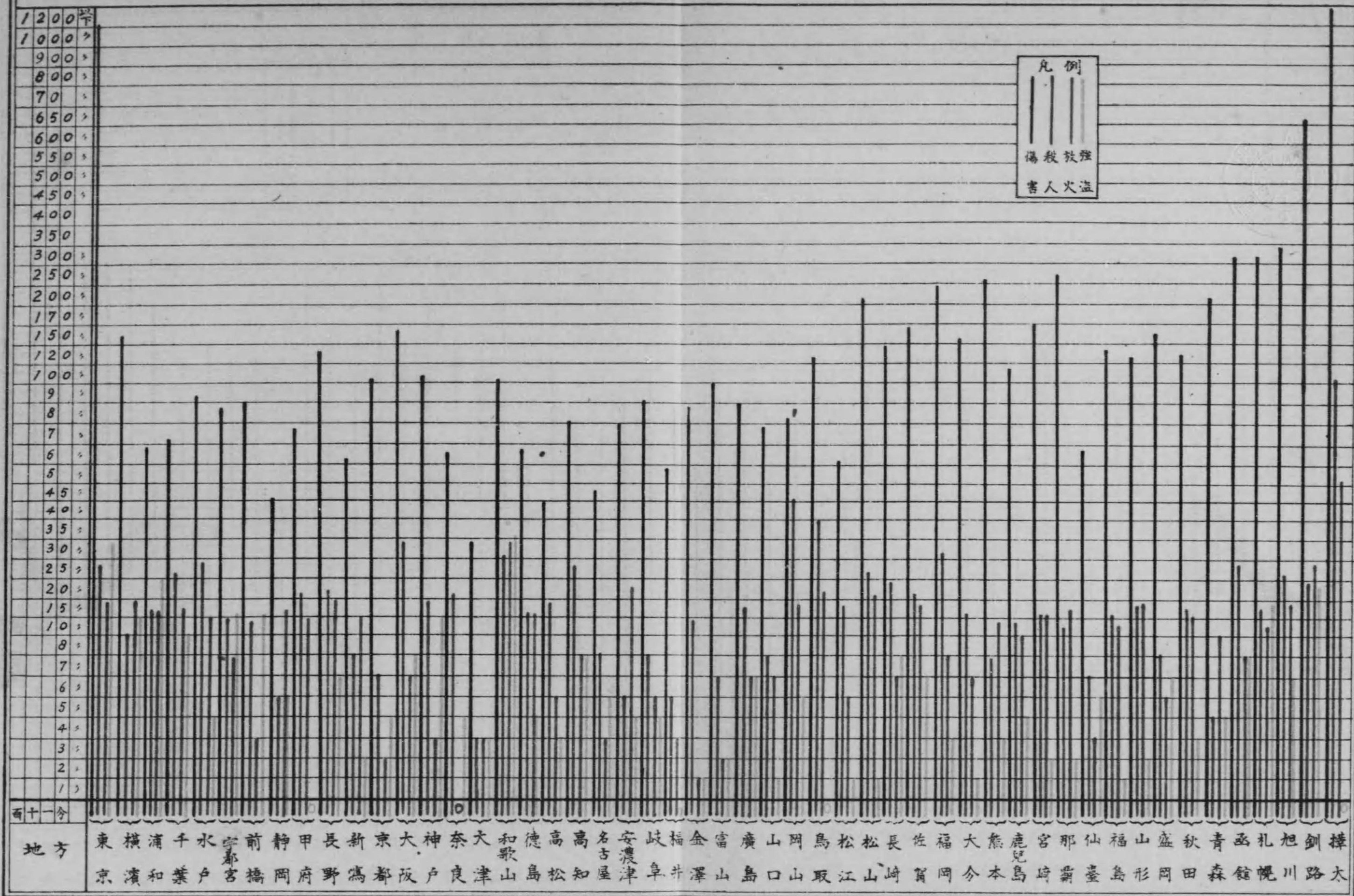
第四通貨、文書其ノ他ノ偽造罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ〇人二分乃至十三人平均二人七分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ最高ハ増加シタルモ最低ハ減少シ從テ平均人員一人一分ヲ減少セリ

最高十三人六分以下四人以上ヲ有スルハ樺太、那覇、和歌山、鳥取、岡山、旭川、仙臺、釧路、函館、富山、秋田、金澤、青森ニシテ長崎、新潟、大阪、山形ハ平均以上ナリ

最モ少數ナルハ宮崎〇人二分ニ次クハ山口〇人六分熊本〇人九分ナリ而シテ京郎、静岡、甲府、長野、水戸、東京、横濱、浦和ハ比較的少數ニシテ神戸、千葉、福岡ノ如キハ平均ノ約半數ナリ以上各罪ヲ通覽スルニ北海道ハ常ニ多數ニシテ首位ヲ占メ那覇ハ賭博ハ最モ少ナキモ竊盜、詐欺、偽造ハ神戸ノ上ニ在リ鳥取、宮崎モ亦之ニ似タリ和歌山ノ如キハ竊盜ハ小ナキモ賭博、詐欺、偽造ノ多數ナルハ亦注目スヘシ

人口十萬ニ對スル 傷害、殺人、放火、強盜罪犯人ノ各比例

(大正七年第一審有罪)



15.8 平均

1.5 / 1.0 平均

0.6 平均

第一傷害罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ二人九分乃至百十九人四分平均十人五分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ最低最高共ニ増加シ平均人員〇人六分ヲ増加セリ

最高百十九人四分以下十五人以上ヲ有スルハ樺太、東京、釧路、旭川、函館、札幌、熊本、那覇、福岡、青森、松山、宮崎ニシテ大阪、横濱、長崎、長野、佐賀、鳥取モ亦平均以上ナリ

最モ少數ナルハ天津二人九分ニシテ名古屋、新潟、千葉、甲府等ハ比較的少數ナリ又神戸、鹿児島、京都、和歌山等モ平均以下ナリ

第二殺人罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ〇人三分乃至九人一分平均一人四分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ最低ハ同一ニシテ最高五人八分ヲ減少シ平均〇人一分ヲ増加セリ

最高九人一分以下二人以上ヲ有スルハ樺太、岡山、鳥取、大阪、福岡、和歌山、水戸、函館、東京、千葉、高知、松山、旭川ニシテ長崎、佐賀、神戸、奈良ハ平均以上ナリ

最モ少數ナルハ青森、天津各〇人三分ニシテ静岡、仙臺、京都、名古屋、新潟、横濱ノ如キハ比較的少數ナリ

第三放火罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ〇人一分乃至四人六分平均〇人九分ニシテ前年ニ比スレハ最低ハ同一ナルモ最高ハ三人一分ヲ増加シ平均〇人二分ヲ増加セリ

最高四人六分以下一人三分以上ヲ有スルハ樺太、和歌山、釧路、安濃津、鳥取、松山、長野、東京、横濱、佐賀、山形、旭川ニシテ千葉、静岡、那覇、浦和、水戸、甲府、秋田モ亦平均以上ナリ

最モ少數ナルハ金澤〇人一分ニシテ京都、名古屋、神戸等ハ比較的少數ナリ又福岡、函館、大阪、廣島、長崎モ平均以下ニシテ奈良ハ犯人ヲ有セス

第四強盜罪ニ付テハ人口十萬ニ對シ〇人一分乃至三人二分平均〇人七分ニシテ之ヲ前年ニ比スレハ最低ハ同一ニシテ最高ハ〇人三分ヲ増加シ平均〇人一分ヲ増加セリ

最高三人二分乃至一人以上ヲ有スルハ和歌山、東京、浦和、釧路、札幌、宇都宮、前橋、神戸、横濱ニシテ千葉、大阪、高知、長崎、函館ハ平均以上ナリ

最モ少數ナルハ福島、大分、松山、松江、山口、金澤各〇人一分ニシテ新潟、秋田、福岡、水戸、仙臺ハ比較的少數ナリ長野、廣島、静岡等モ亦平均以下ニシテ樺太、鳥取、福井、甲府ハ犯人ヲ有セス

以上各罪ヲ通覽スルニ北海道ハ傷害罪ニ於テ多數ナルモ殺人罪ハ少ナシ而シテ殺人罪ニ於テ多數ヲ有スルハ岡山、鳥取、大阪、福岡、和歌山等ニシテ和歌山、鳥取ハ放火罪ニ於テモ亦多數ヲ有シ和歌山ノ如キハ強盜罪ノ首位ヲ占メ東京、浦和、神戸等ヲ凌駕シタルハ注目スヘシ

出本平居... 長...

Table with multiple columns and rows of text, likely a data or index table.

捜査

第一表 検事局別 捜査事件ノ

Table with columns for 検事局 (Prosecutor's Office), 受理 (Received), 終 (Final), and 不 (Not). It lists various regional offices like 東京 (Tokyo), 横浜 (Yokohama), 浦和 (Urawa), 千葉 (Chiba), 水戸 (Mito), 宇都宮 (Utsunomiya), and 前橋 (Maebashi) with their respective case counts and personnel.

査

受理、終局、未終局件数、人員及處分期間

Table showing 局 (Bureau) statistics including 起訴 (Prosecution), 中止 (Suspension), 合計 (Total), and 未終局件数 (Unfinished cases). It includes a detailed breakdown of case counts and personnel across various categories and a section for 處分期間 (Disposition Period) with monthly data from May to June.

第一表 検事局別 捜査事件ノ

Table with columns for 検事局 (Prosecutor's Office), 受理 (Received), 起訴 (Prosecuted), and 不 (Not). It lists various prosecutor offices like 静岡, 甲府, 長野, 新潟, 京都, 大阪 and their respective case counts and personnel.

受理、終局、未終局件数、人員及処分期間 (續)

Table showing the distribution of cases by disposal period (処分期間) across different prosecutor offices. Columns include 起訴 (Prosecuted), 中止 (Suspended), 合計 (Total), and disposal periods from 十五日以内 (within 15 days) to 六月以上 (over 6 months).

第一表 検事局別 捜査事件ノ

Table showing search events by prosecutor's office. Columns include '検事局' (Prosecutor's Office), '受審件数' (Number of Detainees), '受審者数' (Number of Detainees), '起訴件数' (Number of Prosecutions), '起訴人員' (Prosecution Personnel), and various counts for different types of requests (e.g., '公判請求', '略式裁判請求'). Rows list offices like 神戸, 奈良, 大津, 和歌山, 徳島, 高松, and 高知.

受理、終局、未終局件数、人員及処分期間 (續)

Table showing case status, personnel, and disposal periods. Columns include '局' (Bureau), '起訴件数' (Prosecution Cases), '他へ送致' (Transfers to Others), '合計' (Total), '未終局件数' (Unsettled Cases), and '処分期間' (Disposal Period) with sub-columns for months from May to June. Rows list various offices and their case counts.

第一表 検事局別 捜査事件ノ

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 受理 (Received), 終結 (Completed), and 未結 (Unsettled). It lists various regional offices like 名古屋, 岐阜, 福井, 金澤, 富山, and 広島, along with their respective case counts and personnel numbers.

受理、終局、未終局件数、人員及處分期間 (續)

Table detailing the distribution of cases by disposal period (處分期間). Columns include 局 (Office), 起訴 (Prosecution), 他へ送致 (Transfer), 合計 (Total), and disposal periods from 十五日以内 (within 15 days) to 六月以上 (over 6 months).

第一表 検事局別 捜査事件ノ

Table with columns for 検事局 (Prosecutor's Office), 受 (Received), 理 (Handled), 終 (Completed), and 不 (Not). It lists various offices like 武生水原, 佐賀, 福岡, 大分, 熊本, and 鹿児島, with detailed statistics for each.

受理、終局、未終局件数、人員及處分期間 (續)

Table showing statistics for 局 (Bureau), 起訴 (Prosecution), 他へ送致 (Transfer), 合計 (Total), and 未終局件数 (Unfinished cases). It includes columns for 件数 (Cases), 人員 (Personnel), and 處分期間 (Disposition Period) from 十五日 (15 days) to 六月 (June).

第一表 検事局別 捜査事件

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 受理 (Received), 終 (Final), and 不 (Not). It details the number of cases and personnel across various regional offices like 宮崎, 那覇, 仙臺, 福島, 山形, 盛岡, and 地大横大.

受理、終局、未終局件数、人員及處分期間 (續)

Table showing 局 (Office) details, 起訴 (Prosecution), 他へ送致 (Transfer), 合計 (Total), and 未終局件数 (Unfinished cases) categorized by 十五日以内 (Within 15 days), 一月以内 (Within 1 month), 二月以内 (Within 2 months), 三月以内 (Within 3 months), 六月以内 (Within 6 months), and 六月以上 (Over 6 months).

第一表 検事局別 捜査事件ノ

検事局	受 理										終 結						
	件数	新 受								總件数	總人員	起 訴					
		直受	受取	受取	受取	受取	受取	受取	受取			起訴	公判	時式	裁	人員	
秋田	6	344	668	3	7	2	113	1,137	1,143	1,612	3	116	231	347	457	102	7
青森	14	164	1,612	9	46	165	1,996	2,010	2,707	228	653	881	1,216	92	42	30	22
以上宮城 控訴院管内	224	5,021	20,995	216	198	674	2,574	29,678	29,902	42,646	487	3,458	7,869	11,814	17,025	1,300	280
函館	4	71	107	—	—	16	194	198	325	67	—	67	115	12	—	—	—
札幌	9	35	136	—	—	32	203	212	365	77	—	77	157	24	—	—	—
旭川	5	25	101	—	—	28	154	159	243	70	—	70	102	3	—	—	—
釧路	2	22	77	—	—	24	123	125	195	51	—	51	70	8	—	—	—
樺太	1	17	16	—	—	15	48	49	59	18	—	18	19	1	—	—	—
總 計	5,476	40,070	242,305	2,156	2,562	1,439	28,433	315,715	321,130	472,583	4,456	41,256	60,344	106,053	174,568	16,989	3,525

受理、終局、未終局件数、人員及處分期間 (續)

局	起 訴										他へ送致		合 計		未終局 件数	處 分 期 間					
	件数	時効	中止 其他	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員		十五日 以内	一月 以内	二月 以内	三月 以内	六月 以内	六月 以上
秋田	3	1	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
青森	119	10	1	6	237	70	552	852	232	287	1,131	1,596	12	818	180	91	24	18	—		
以上宮城 控訴院管内	43	3,835	394	150	147	5,751	2,125	14,025	20,520	3,732	4,571	29,571	42,116	331	25,394	2,645	1,110	309	190	23	
函館	37	10	—	—	22	18	99	150	29	57	195	322	3	172	11	7	5	—	—		
札幌	2	256	16	9	6	424	548	1,314	1,872	251	230	2,648	3,858	68	2,333	204	84	13	11	3	
旭川	3	14	6	—	—	18	10	54	78	29	40	153	220	6	126	6	8	9	3	1	
釧路	27	4	—	—	9	8	59	109	13	14	123	193	2	96	11	10	2	4	—		
樺太	127	2	4	—	222	368	754	917	229	231	1,388	1,696	14	1,271	73	42	2	—	—		
總 計	469	30,536	3,554	2,231	1,287	87,117	34,782	180,530	266,543	30,047	37,110	316,630	468,222	4,580	383,615	28,271	13,508	5,062	4,471	1,503	

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件数、人員

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 性別 (Gender), 起訴猶豫件数 (Number of cases with hesitation to prosecute), 同上 (Total), 視察及前科有無 (Inspection and previous record), and 起訴猶豫取消 (Cancellation of hesitation to prosecute). Rows include 東京 (Tokyo), 横濱 (Yokohama), 浦和 (Utsunomiya), 千葉 (Chiba), and 水戸 (Mito).

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件数、人員 (續)

Continuation of the table from page 18, showing data for 宇都宮 (Utsunomiya), 前橋 (Maebashi), 静岡 (Shizuoka), and 甲府 (Kofu).

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 性別 (Gender), 起訴猶豫件數 (Number of cases with hesitation to prosecute), 同上人員 (Same personnel), 視察及前科有無 (Inspection and previous record), and 起訴猶豫 (Prosecution hesitation) with sub-columns for years from 大正七年 to 同二年以前.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 性別 (Gender), 起訴猶豫件數 (Number of cases with hesitation to prosecute), 同上人員 (Same personnel), 視察及前科有無 (Inspection and previous record), and 起訴猶豫 (Prosecution hesitation) with sub-columns for years from 大正七年 to 同二年以前.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns for 検事局, 性別, 起訴猶豫件數, 同上人員, 視察及前科有無, and 起訴猶豫取消. Rows include 金澤, 富山, 廣島, and 山口.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns for 検事局, 性別, 起訴猶豫件數, 同上人員, 視察及前科有無, and 起訴猶豫取消. Rows include 岡山, 鳥取, and 松江.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns: 検事局, 性別, 起訴猶豫總件數, 同上人員, 視察及前科有無 (有視察, 無視察), 起訴猶豫取消 (大正七年, 同六年, 同五年, 同四年, 同三年, 同二年以前). Rows include 鹿兒島, 宮崎, 那覇, 仙臺, and 以上長崎管内.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns: 検事局, 性別, 起訴猶豫總件數, 同上人員, 視察及前科有無 (有視察, 無視察), 起訴猶豫取消 (大正七年, 同六年, 同五年, 同四年, 同三年, 同二年以前). Rows include 福島, 山形, 盛岡, and 宮古.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 性別 (Sex), 起訴猶豫件數 (Number of cases), 同上人員 (Same personnel), 視察及前科有無 (Inspection and previous record), 起訴猶豫取消 (Prosecution hesitation/cancellation), and years from 大正七年 to 同二年以前.

第二表 検事局別 捜査事件ノ起訴猶豫件數、人員 (續)

Table with columns for 検事局 (Prosecutor Office), 性別 (Sex), 起訴猶豫件數 (Number of cases), 同上人員 (Same personnel), 視察及前科有無 (Inspection and previous record), 起訴猶豫取消 (Prosecution hesitation/cancellation), and years from 大正七年 to 同二年以前.

第三表 罪名別 捜査事件ノ起訴猶豫取消人員

罪名	性別	起訴猶豫取消人員	起訴猶豫處分ノ年度別							
			大七	正年	同六年	同五年	同四年	同三年	同二年前	
刑 法 犯										
放火及失火ノ罪										
火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル... 建造物、汽車、電車、船舶若クハ鐵坑ヲ燒燬ス	男	1	—	1	—	—	—	—	—	—
火ヲ失シテ建造物、汽車、電車、船舶 若クハ鐵坑ヲ燒燬シ又ハ此等以外ノ物 ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシム	男女	1	—	—	—	—	—	—	—	1
住居ヲ侵スノ罪										
故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸 宅、建造物若クハ鐵船ニ侵入シ又ハ 要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セス	男	4	2	1	—	—	—	—	1	—
文書偽造ノ罪										
行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ使 用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書 若クハ圖畫ヲ偽造シ又ハ偽造シタル他人ノ印 章若クハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實 證明ニ關スル文書若クハ圖畫ヲ偽造ス	男女	9	6	3	—	—	—	—	—	—
他人ノ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル偽造 變造ノ文書、圖畫及醫師處方ノ記載ヲ爲シ又 ル診斷書、檢案書又ハ死亡證書ヲ行使ス	男	3	1	2	—	—	—	—	—	—
有價證券偽造ノ罪										
行使ノ目的ヲ以テ公債證券、官府ノ證券 會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變 造シ若クハ有價證券ニ虛偽ノ記入ヲ爲ス	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
印章偽造ノ罪										
公務所ノ記號ヲ不正ニ使用シ又ハ 偽造シタル公務所ノ記號ヲ使用ス	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若クハ署名ヲ偽造ス	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
偽證ノ罪										
法律ニ依リ宣誓シタル證人 ニシテ虛偽ノ陳述ヲ爲ス	男	1	—	—	1	—	—	—	—	—
姦淫ノ罪										
有夫ノ婦ニシテ姦淫シ又ハ相姦ス	男女	1	1	—	—	—	—	—	—	—
賭博ノ罪										
偶然ノ輸贏ニ關シ財物ヲ以テ博戯又ハ賭事ヲ爲ス	男女	69	40	20	7	1	—	—	—	1
禮拜所及墳墓ニ關スル罪										
神祠、佛堂、墓所其他禮拜所 ニ對シ公然不敬ノ行爲ヲ爲ス	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
檢視ヲ經スシテ變死者ヲ葬ル	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
演 戲 ノ 罪										
公務員又ハ仲裁人ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束ス	男	1	—	—	1	—	—	—	—	—
傷 害 ノ 罪										
人ノ身體ヲ傷害ス	男	49	15	21	8	3	—	—	—	2
逮 捕 及 監 禁 ノ 罪										
不法ニ人ヲ逮捕又ハ監禁ス	男	1	—	—	—	—	—	—	—	1

第三表 罪名別 捜査事件ノ起訴猶豫取消人員 (續)

罪名	性別	起訴猶豫取消人員	起訴猶豫處分ノ年度別							
			大七	正年	同六年	同五年	同四年	同三年	同二年前	
脅 迫 ノ 罪										
被害者及親族ノ生命、身體、自由、名譽又ハ財 産ニ對シ害ヲ加フ可キコトヲ以テ人ヲ脅迫ス	男	2	1	—	—	—	—	—	—	1
名 譽 ニ 對 ス ル 罪										
公然事實ヲ揭示シ人ノ名譽ヲ毀損ス	男	1	—	—	—	1	—	—	—	—
竊 盜 ノ 罪										
他人ノ財物ヲ竊取ス	男女	612	304	198	68	24	10	8	—	—
詐 欺 及 恐 嚇 ノ 罪										
人ヲ欺罔シテ財物ヲ騙取シ又ハ財産上不法 ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシム	男女	219	97	68	24	25	1	4	—	—
人ヲ恐嚇シテ財物ヲ交付セシメ又ハ財産上不 法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシム	男	3	1	1	1	—	—	—	—	—
横 領 ノ 罪										
自己ノ占有ヲ他人ノ物及自己ノ物ト雖トモ 公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル物ヲ横領ス	男女	116	50	44	10	6	6	—	—	—
業務上自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領ス	男	15	6	4	3	1	1	—	—	—
遺失物、漂流物其他占有ヲ 離レタル他人ノ物ヲ横領ス	男女	8	5	1	2	—	—	—	—	—
贓 物 ニ 關 ス ル 罪										
贓物ヲ收受ス	男	2	1	—	1	—	—	—	—	—
贓物ノ運搬、寄藏、故買又ハ牙保ヲ爲ス	男	21	12	7	1	1	—	—	—	—
毀 棄 ノ 罪										
他人ノ建造物又ハ船舶ヲ損壞ス	男	4	2	2	—	—	—	—	—	—
計	男女	1,148	549	373	127	62	19	18	—	—
特 別 法 犯										
酒造税法	男	1	—	1	—	—	—	—	—	—
度量衡法	男	4	4	—	—	—	—	—	—	—
狩獵法	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
森林法	男	5	1	1	3	—	—	—	—	—
牛馬商取締規則	男	1	—	—	1	—	—	—	—	—
獸醫免許規則	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
牛乳營業取締規則	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
飲食物防腐劑取締規則	男	1	—	—	—	—	—	1	—	—
齒科醫師法	男	1	1	—	—	—	—	—	—	—
古物商取締法	男	4	1	1	—	—	—	—	—	2
廳府縣令	男	11	10	—	—	—	—	—	—	1
計	男	31	20	3	4	—	1	3	—	—
合 計	男女	1,179	569	376	131	62	20	21	—	—
男 女 合 計		57	34	13	4	4	1	1	—	—
男 女 合 計		1,236	603	389	135	66	21	22	—	—

第四表 検事局別 捜査事件

検事局別犯罪地	性別	起訴猶豫人員			罪															
		初犯者	前科者	計	皇室ニ對スル罪		公債ノ發行ヲ妨害スル罪		逃走ノ罪		犯人隠匿及隠居ノ罪		贓ノ罪		放ノ罪		火ノ罪		失ノ罪	
					初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
高知地方	男女	864 207	208 21	1,070 228			3	1											17	1
以上大阪 控訴院管内	男女	21,431 3,899	2,071 148	23,502 4,047	2	1	25	3			4	35		2		1			273	28
名古屋地方	男女	3,503 598	434 23	3,937 621			1				1	18	1						30	2
安濃津地方	男女	1,047 208	225 18	1,272 221			9				1								30	3
岐阜地方	男女	987 192	139 8	1,126 200															18	4
福井地方	男女	574 127	83 6	657 133			2				1	21	1						21	1
金澤地方	男女	625 137	93 1	718 138			4				1								12	1
富山地方	男女	701 133	64 1	765 134			1												16	2
以上名古屋 控訴院管内	男女	7,437 1,895	1,038 52	8,475 1,447			17				3	34	2						127	13
廣島地方	男女	1,819 375	378 35	2,197 410			3	1			2	16							27	2
山口地方	男女	1,342 212	150 2	1,492 214								5							26	2
岡山地方	男女	2,620 536	318 27	2,938 563			25				6	5	2	1					69	2
鳥取地方	男女	787 162	227 12	1,014 174			1												34	1
松江地方	男女	784 220	157 7	941 227			2	1				37	2						19	3
松山地方	男女	1,472 279	373 15	1,845 294			1	2			3	1	57	2					34	2
以上廣島 控訴院管内	男女	8,824 1,784	1,603 98	10,427 1,882			31	4			9	120	6	1					183	15
長崎地方	男女	1,451 241	234 10	1,685 251			4	1				67	5						37	2
佐賀地方	男女	592 109	76 109	668 109				1			1		46						4	
福岡地方	男女	3,498 600	365 12	3,863 612			1												39	2
大分地方	男女	1,015 174	106 1	1,121 175			1					6							33	2

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (刑法犯) 其二

名		別													
初犯者	前科者	往來ヲ妨害スル罪	住居ヲ侵入スル罪	秘密スル罪	阿片煙ニ關スル罪	飲料水ニ關スル罪	通貨偽造ノ罪	文書偽造ノ罪	有價證券偽造ノ罪	印章偽造ノ罪	偽ノ罪	誣ノ罪	誣ノ罪	誣ノ罪	誣ノ罪
		1	5	1				15	5						
4		23	2	95	14	1		272	22	33	1	41	4	8	2
								58	1		2	1			
		1	26	1				43	2	7	1	2			1
			11	3				23	3	1		1	2		
		3	38	1				25	3	2		1	5		1
31			8	1				19	2	2		4	1		2
		6	13	2				12	1	4		1			4
			9	1				23	1			1			3
31		10	105	9				150	12	16	1	9	1	9	11
			23	5	2			44	8	1		2	1	2	4
		3	8					7	1			2	1		4
5	1	6	18	1				26	3	1		7	1	4	1
			6	1				11	6					3	
		1	15	2				8	3	1					6
			15	5	1			59	11			2		1	3
5	4	11	85	14	3			155	32	3		13	2	7	5
			6	1				39	4						4
		3	19	4				27	2	1	1			1	2
		6	7	1				16	6			1		2	2
18	1	5	21	4	1			70	5	2		3	1	2	6
5			3					31	6			7		4	1
								14				1			1

第四表 検事局別 捜査事件

Table showing investigation events by prosecutor's office. Columns include sex (性別), crime type (罪), and counts for various offenses like rape (姦淫及重婚ノ罪), gambling (賭博ノ罪), etc.

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (刑法犯) 其二 (續)

Table showing names and crime locations of prosecutors who hesitated to file charges. Columns include name (名), crime type (罪), and counts for offenses like kidnapping (誘拐ノ罪), forgery (偽造ノ罪), etc.

第四表 検事局別 捜査事件

検事局別犯罪地	性別	起訴猶豫人員			罪													
		初犯者	前科者	計	皇室ニ對スル罪		逃ノ罪		竊ノ罪		強ノ罪		放ノ罪		失ノ罪		火ノ罪	
					初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
熊本地方	男女	1,097 220	165 6	1,262 226	-	-	13	1	-	-	-	-	26	1	-	14	-	
鹿兒島地方	n	1,354 251	119 9	1,473 260	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	
宮崎地方	n	713 87	113 1	826 88	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-	
那覇地方	n	230 86	15 2	245 88	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	5	-	
以上長崎計	n	9,950 1,768	1,193 41	11,143 1,809	-	-	21	3	-	1	-	-	145	5	3	184	9	
仙臺地方	男女	673 190	94 3	767 193	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	5	-	
福島地方	n	1,357 244	169 6	1,526 250	-	-	-	-	4	-	14	-	-	-	-	17	1	
山形地方	n	663 144	53 4	716 148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	
盛岡地方	n	403 82	50 1	453 83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	
秋田地方	n	963 237	128 9	1,091 246	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	39	3	
青森地方	n	1,094 186	139 5	1,233 191	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	
以上宮城計	n	5,153 1,083	633 28	5,786 1,111	-	-	2	1	-	4	-	14	-	1	-	94	5	
函館地方	男女	680 129	124 5	804 134	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	
札幌地方	n	1,355 301	171 7	1,526 308	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67	5	
旭川地方	n	598 242	70 2	668 244	-	-	-	-	-	4	1	-	1	-	-	91	2	
釧路地方	n	794 183	110 6	904 189	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	80	5	
樺太地方	n	310 38	54 -	364 38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	4	
以上函館計	n	3,737 893	529 20	4,266 913	-	-	5	-	-	4	1	-	1	-	-	271	16	
合計	男女	85,475 14,344	9,908 504	95,383 14,848	2	1	124 20	12 1	-	1	25 8	4	375 5	14 1	10 8	1,672 1,671	122 14	
男女總計		99,819	10,412	110,231	2	1	144	13	-	1	33	4	380	15	18	13,343	136	

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (刑法犯) 其三

名	別																											
	盗水及水利ニ關スル罪		往來ヲ妨害スル罪		住居ニ侵スル罪		秘密ニ侵スル罪		阿片煙ニ關スル罪		飲料水ニ關スル罪		通貨偽造ノ罪		文書偽造ノ罪		有價證券偽造ノ罪		印章偽造ノ罪		偽ノ罪		誣ノ罪		誣ノ罪		誣ノ罪	
	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
2	-	-	-	16	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1	-	-	6	-	1	1	1	1	2	-	-	
2	1	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	1	-	-	-	-	4	-	2	2	-	-	-	
1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-	-	-	
-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	
28	3	14	1	93	14	1	-	-	-	-	1	-	-	209	21	3	1	21	1	15	1	18	6	-	-	-	-	
2	-	-	-	40	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	5	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
-	-	-	-	13	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	
1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	1	-	21	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	3	1	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	
4	-	1	-	13	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	2	-	-	3	1	-	-	2	-	-	-	-	
12	-	2	-	99	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	103	19	1	1	7	1	3	-	10	-	-	-	-	
-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	
-	-	1	-	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	1	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	
-	-	-	-	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
-	-	1	1	40	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	3	1	-	6	-	-	-	9	1	-	-	-	
144	9	89	12	735	86	9	-	-	-	7	-	1	-	1,356	149	110	9	135	9	70	11	109	21	-	-	-	-	
1	-	-	-	27	-	1	-	-	-	1	-	-	-	285	8	4	-	7	-	6	-	15	-	-	-	-	-	
145	9	89	12	762	86	10	-	-	-	8	-	2	-	1,641	157	114	9	142	9	76	11	124	21	-	-	-	-	

第五表 検事局別 捜査事件

検事局別犯罪地	性別	罪														
		水難法		救護法		船規則		特別高等裁判所法		電気事業法		取引所法		刑法		
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	
東京地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	1	254	-	-	-	1	-	5
横濱地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
浦和地方	男女	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	82	2	-	-	-	-	-
水戸地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宇都宮地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前橋地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡地方	男女	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
甲府地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野地方	男女	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以上東京計 控訴院管内	男女	-	-	-	-	-	1	11	348	1	2	-	-	1	-	5
京都地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
神戸地方	男女	-	-	-	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-
奈良地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大津地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高松地方	男女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其一 (續)

罪名	別	別																										
		度量衡法		特許法		意匠法		實用新案法		對敵取引禁止令		多額詐欺罪		外國米管理規則		重婚罪		馬匹去奪法		狩獵法		續業法		森林法		墾取捕法		
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	3
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	3	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	68	8	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	43	12	
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	19	1		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	68	8		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	52	7		
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-		
-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	101	26		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
10	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	353	11		
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-		
3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	4		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-		
24	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	771	81		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	1	3	-	43	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	58	9		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-		
-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	5	1	-	-	39	1		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	14		
3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	1	-	-	-	28	-		
1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	68	4		
2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1	-	-	-	6	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	50	16		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	-	-	20	2		
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-		
-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	42	9		
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-		
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	1		
1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	4	1		

第五表 検事局別 捜査事件

検事局別犯罪地	性別	罪													
		爆発物取締罰則		古物竊取法		買取法		窃盗罪		窃盗罪(二)		治安警察法		精神病者	
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
東京地方	男女	--	--	6	--	--	--	--	--	--	--	4	--	--	
横浜地方	男女	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
浦和地方	男女	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
千葉地方	男女	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
水戸地方	男女	--	--	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
宇都宮地方	男女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
前橋地方	男女	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
静岡地方	男女	--	--	6	4	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
甲府地方	男女	--	--	14	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--	
長野地方	男女	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	1	--	
新潟地方	男女	--	--	5	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
以上東京控訴管内計	男女	--	--	40	10	1	--	--	--	4	--	--	1	--	
京都地方	男女	--	--	--	4	1	--	--	--	3	--	--	1	--	
大阪地方	男女	--	--	13	2	2	--	--	--	--	--	--	1	--	
神戸地方	男女	--	--	61	15	8	1	9	1	--	--	--	1	--	
奈良地方	男女	--	--	19	2	2	1	2	--	--	--	--	--	--	
奈良地方	男女	--	--	12	2	2	--	--	--	--	--	--	--	--	
大津地方	男女	--	--	1	1	2	--	--	--	--	--	--	--	--	
大津地方	男女	--	--	2	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	
和歌山地方	男女	--	--	8	2	--	--	--	--	18	--	--	2	2	
和歌山地方	男女	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
徳島地方	男女	--	--	7	4	--	--	1	--	--	--	--	--	--	
徳島地方	男女	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
高松地方	男女	--	--	2	--	1	--	--	--	--	--	--	1	1	
高松地方	男女	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其一 (續)

姓名	別															
	屠場法		警察官懲罰令		銃砲火薬類取締法		出版法		新紙		開法		徴兵令		陸地測量	
	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	1	--	--	--	37	--	--
--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
--	--	--	--	--	--	2	--	1	--	--	--	--	--	3	--	--
1	--	--	--	--	--	6	2	--	2	--	--	--	--	3	1	--
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--
--	--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	1	--
--	--	--	--	--	--	3	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	3	--	--	2	--	--	--	--	1	--	--
--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	11	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--
--	--	--	--	--	--	2	--	--	--	--	--	--	--	2	--	--
1	--	--	--	--	--	34	4	--	5	--	1	--	--	48	2	1
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	2	--
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	12	2	--	--	--	--	--	--	2	--	--
--	--	--	--	--	--	1	2	--	--	--	--	--	--	1	1	--
--	--	--	--	--	--	1	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
1	--	--	--	--	--	1	--	--	3	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	1	--	--	3	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
--	--	--	--	--	--	--	--	--	1	--	--	--	--	--	--	--

第五表 検事局別 捜査事件

Table with columns for '検事局別犯罪地' (Prosecutor's Office Crime Location) and '罪' (Crime) categories. It lists various offenses like '水難救護法' (Water Disaster Relief Law), '船規則' (Ship Rules), and '電氣事業法' (Electricity Business Law), with counts for '初犯者' (First Offenders) and '前科者' (Recidivists) in '男女' (Male/Female) categories.

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其二 (續)

Table with columns for '名' (Name) and '別' (Type) categories. It lists various offenses like '度量衡法' (Weights and Measures Law), '特許法' (Patent Law), '意匠法' (Design Law), and '取捨引換法' (Exchange Law), with counts for '初犯者' (First Offenders) and '前科者' (Recidivists) in '男女' (Male/Female) categories.

第五表 検事局別 捜査事件

検事局別 地	性別	起訴検査人員			罪													
		初犯者	前科者	計	酒	造	印	紙	砂	糖	樟	香	賭	家	印	印	機	物
					犯者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者	者
鹿兒島地方	男女	104 15	6 -	110 15	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎地方	n n	66 14	5 1	61 15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
那覇地方	n n	14 4	-	14 4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以上長崎 控訴院管内	n n	600 81	57 1	657 82	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仙臺地方	男女	155 6	9 -	164 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島地方	n n	139 33	12 -	151 33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形地方	n n	157 28	7 -	164 28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
盛岡地方	n n	34 2	6 -	40 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田地方	n n	139 11	13 -	152 11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森地方	n n	271 47	36 2	307 49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以上宮城 控訴院管内	n n	895 127	83 2	978 129	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
函館地方	男女	36 1	2 -	38 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌地方	n n	57 1	11 -	68 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
旭川地方	n n	16 2	2 -	18 2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
釧路地方	n n	19 1	-	19 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
樺太地方	n n	21 -	1 -	22 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
以上函館 控訴院管内	n n	149 5	16 -	165 5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	男女	5,841 771	600 20	6,450 791	1	-	7	-	6	-	1	-	1	-	1	-	2	-
男女總計		6,612	629	7,241	1	-	7	-	6	-	2	-	2	-	2	-	4	-

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其三

名	別	罪																	
		煙草專賣法	酒類專賣法	高價法	電信法	鐵道營業法	船舶法	船舶職員法	開港港則	船舶法	船員法	其他							
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
				1															12
				1			1												
				13			2	3		2			4						13
				1				2											1
			1				1												
								1											
				2															
				3			1	4											1
																			1
																			15
																			1
1		2		48		11	5	79	4	4	2	2		5		1		40	2
1				3		1	1	4											
2		2		51		12	6	83	4	4	2	2		5		1		40	2

第五表 検事局別 捜査事件

検事局別犯罪地	性別	罪															
		水害法		詐欺		偽造貨幣		偽造文書		船隻規則		電氣事業法		取引所法		商法	
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	有罪破産	其他
鹿児島地方	男女																
宮崎地方	男女																
那覇地方	男女																
以上長崎管内	男女						1			1							
仙臺地方	男女																
福島地方	男女																
山形地方	男女																
盛岡地方	男女									1							
秋田地方	男女									2							
青森地方	男女									1							
以上宮城管内	男女									4							
函館地方	男女																
札幌地方	男女																
旭川地方	男女																
釧路地方	男女																
樺太地方	男女																
以上函館管内	男女																
合計	男女		1	1		3	1	1		21		351	2	64	9	2	5
男女総計			1	1		3	1	1		21		354	2	64	9	2	5

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其三 (續)

名		別																							
初犯者	前科者	定量罰法	特許法	意匠法	實用新案法	對敵取引禁止令	金貨製造法	鑄造及製造法	外國米管理規制	海關物品法	馬路法	狩獵法	礦業法	森林法	肥料取締法	取									
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者								
												12				49	6								
												1				10									
												9				37	3								
																11									
																4									
3	2									1															
												33	1			329	32								
												1			43										
															150	9									
															5										
1															100	6									
4												8		3	20										
												1			144	6									
1												3			21										
1															19	6									
									2				1			2									
															5		89								
															7		12								
															5		89								
16	7									32	1				6		77								
8	1																12								
																	77								
																	12								
18	7									34	1				23	3	588								
13	1														1		67								
8															2		2								
3	1														1		23								
																	4								
1															2	2									
11	1														5	2	25								
																	4								
132	21	1		1		1		20	1	5		34	1	1	2	1	287								
48	1															1	7								
																	9								
																	1								
																	2,804								
																	306								
																	2								
																	336								
180	22	1		1		1		20	1	5		34	1	1	2	1	294								
																	17								
																	10								
																	3,140								
																	508								
																	1								
																	1								

第五表 検事局別 捜査事件

検事局別犯罪地	性別	罪													
		氷雪営業規則		飲食用器具取締規則		畜牛結核予防法		飲食物防菌取締規則		肺結核防止ニ關スル規程		醫師法		齒科醫師法	
		初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
鹿兒島地方	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	
宮崎地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	
那覇地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
以上長崎控訴院管内計	n n	—	—	—	—	—	—	1	—	—	9	—	2	1	
仙臺地方	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
福島地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	
山形地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
盛岡地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
秋田地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
青森地方	n n	—	—	2	3	—	—	—	9	2	1	—	—	1	
以上宮城控訴院管内計	n n	—	—	2	3	—	—	—	9	2	1	1	—	1	
函館地方	男女	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
札幌地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	
旭川地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
釧路地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
樺太地方	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	
以上函館控訴院管内計	n n	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	
合計	男女	1	—	9	4	8	—	51	—	23	4	39	6	14	
男女總計		1	—	10	4	8	—	54	—	46	6	42	7	14	

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其三 (續)

名 別													
福澤防ニ關スル規程		按摩術營業取締規則		鍼術、灸術營業取締規則		醫藥方ニ關スル規程		毒物、劇物營業取締規則		賣藥法		看護婦規則	
初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者	初犯者	前科者
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	1	—	7	—	—	—	—	—	1	—	—	8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	—	8	4	19	2	2	—	10	—	12	—	—	—
—	—	15	1	5	—	—	—	6	—	2	—	—	12
1	—	23	5	24	2	2	—	16	—	15	—	—	12

第五表 検事局別 捜査事件

Table with 16 columns for crime types and 2 columns for gender. Rows include regional counts for Tohoku, Kanto, Tohoku, and other areas, plus a total row.

起訴猶豫者ノ罪名及犯罪地 (特別法犯) 其三 (續)

Table with 16 columns for crime types and 2 columns for gender. Rows list specific offense types like '屠場法' and '警察犯' with regional counts.

第六表 罪名別 捜査事件刑法犯

罪名	性別	起訴箇條人員			犯 罪							
		初犯者	前科者	計	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	
皇室ニ對スル罪												
天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子又は皇太孫ニ對シ不敬ノ行爲ヲ爲ス	男	2	1	3								
公務ノ執行ヲ妨害スル罪												
公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ暴行、脅迫ヲ加ヘ又ハ公務員ヲシテ或ル處分ヲ爲サシメ若クハ爲サシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲メ暴行又ハ脅迫ス	男女	96 13	12 1	108 14	4	6	8	10	6	8	9	
公務員ノ施シタル封印又ハ差押ノ標示ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ封印、標示ヲ無効ト爲ス	男女	28 7		28 7	1		2	1	1	6	8	
逃走ノ罪												
既決、未決ノ囚徒逃走ス	男		1	1								
犯人藏匿及證憑湮滅ノ罪												
罰金以上ノ刑ニ該シテ罪ヲ犯シタル者又ハ拘禁中逃走シタル者ヲ藏匿又ハ隠避ス	男女	12 8	4	16 8	2	1	1	3	1	2	1	
他人ノ刑事被告事件ニ關スル證憑ヲ湮滅シ又ハ偽造、變造シ若クハ偽造、變造ノ證憑ヲ使用ス	男	13		13	1	2	1	1	1	1	1	
騒擾ノ罪												
多衆集合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル首魁	男女	61 1	3	64 1							22	
多衆集合ノ暴行又ハ脅迫ニ於テ他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケ	男女	37 1	3	40 1							13	
多衆集合ノ暴行又ハ脅迫ニ附和隨行ス	男女	266 4	8	274 5	1							
暴行又ハ脅迫ヲ爲スルニ當リ該公務員ヨリ解散ノ命令ヲ受ケコト三回以上ニ及フモ仍ホ解散セザル首魁以外ノ者	男	11		11							11	
放火及失火ノ罪												
火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用シ又ハ人ノ現在スル建築物、汽車、電車、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬ス	男女	7 7	1	8 7	1	1			1	2	1	
火ヲ放テ現ニ人ノ住居ニ使用セズ又ハ人ノ現在セザル建築物、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬ス	男女	2 1		2 1			1					
火ヲ放テ建築物、汽車、電車、艦船、鑛坑ヲ燒燬スルノ目的ヲ以テ其豫備ヲ爲ス	男	1		1								
火ヲ失シテ建築物、汽車、電車、艦船若クハ鑛坑ヲ燒燬シ又ハ此等以外ノ物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシム	男女	1,090 1,266	79 7	1,169 1,273	143 176	165 148	137 150	115 124	117 145	82 68	60 72	
火ヲ失シテ自己ノ所有ニ係ル建築物、艦船、鑛坑若クハ其以外ノ物ヲ燒燬シ因テ公共ノ危險ヲ生セシム	男女	582 405	43 7	625 412	78 44	84 55	66 52	56 38	67 53	61 29	35 19	
溢水及水利ニ關スル罪												
水害ノ預防水用ノ物ヲ隠匿又ハ損壞シ若クハ其他ノ方法ヲ以テ水防ヲ妨害ス	男	1		1				1				

起訴豫猶者ノ犯罪ノ月、年齢、教育

月	年 齡												教 育											
	八月	九月	十月	十一月	十二月	十四年以上十六未満	十八未満	二十年未満	二十五年未満	三十年未満	三十五年未満	四十年未満	五十年未満	六十年未満	七十年未満	七十以上	高等	中等	普通	全教育ナシ	不詳			
2																								
10	18	15	7	7			2	1	8	24	36	23	12	1	1				2	41	49	11	5	
2			1	2		1			3	1	1	5	1	1	1					4	3	6	1	
1	4	2	5	3				1	6	8	11	3	1	3						15	10	2	1	
1		2		1					1	1	3	1		2						1	3	3		
													1											
1	1			3				1		3	6	5	1						2	1	3	8	2	
	1			1					2	1	3	1	1								5	2	1	
			3		2				2	3	6	1		1							6	6		1
34	8					6	8	7	9	12	12	6	4						2	26	24	12		
17	5		5		2	3	1	5	7	11	10		1							33	3	4		
			1						1													1		
195	77		1		6	20	21	40	36	80	49	16	6						2	102	110	60		
5						1		3		1											4	1		
								1	4	6											8	3		
	2					1	2	1		3											3	3		
	2		1			1	2	1		1				1	1						1	3		
1										1														
56	63	58	60	113	53	74	68	97	123	211	197	142	102	102						17	419	438	255	40
67	74	53	76	122	26	38	45	111	138	290	205	168	138	114						1	196	264	764	48
34	33	40	28	43	8	12	19	31	64	137	123	98	83	50						4	199	240	156	17
15	26	19	27	35	7	14	11	32	37	86	79	52	60	34							56	76	273	7

第六表 罪名別 捜査事件刑法犯

罪名	性別	起訴警察人員			犯 罪						
		初犯者	前科者	計	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
堤防ヲ決潰シテ水門ヲ破壊シ其他水利ノ妨害トナルヘキ行爲又ハ溢水セシムヘキ行爲ヲ爲ス	男女	143 1	9	152 1	3	1	5	4	8	12	14
往來ヲ妨害スル罪											
陸路、水路又ハ橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シテ往來ノ妨害ヲ生セシム	男	65	9	74	23	1	2	4	2	7	2
鐵道又ハ其標識ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ汽車又ハ電車ノ往來ノ危險ヲ生セシム	〃	7	1	8	—	—	2	—	1	1	2
燈臺又ハ浮標ヲ損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ船舶ノ往來ノ危險ヲ生セシム	〃	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
人ノ現在スル船舶ヲ覆没シ又ハ破壊ス	〃	3	—	3	—	—	—	—	3	—	—
過失ニ因リ汽車、電車又ハ船舶ノ往來ノ危險ヲ生セシム又ハ汽車、電車ノ覆没若クハ破壊又ハ船舶ヲ覆没若クハ破壊ス	〃	5	—	5	2	—	—	—	—	—	—
其業務ニ従事スル者過失ニ因リ汽車、電車又ハ船舶ノ往來ノ危險ヲ生セシム又ハ汽車、電車ノ覆没若クハ破壊又ハ船舶ヲ覆没若クハ破壊ス	〃	8	2	10	—	2	—	1	—	—	—
住居ヲ侵スル罪											
故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若クハ船舶ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セス	男女	735 27	86	821 27	71 4	51 3	37 1	54 —	57 4	55 —	107 3
秘密ヲ侵スル罪											
故ナク封緘シタル信書ヲ開披ス	〃	9	—	9	—	—	1	—	1	—	2
飲料水ニ關スル罪											
人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシム	〃	7	—	7	4	1	—	1	—	—	—
通貨偽造ノ罪											
偽造、變造ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付若クハ輸入ス	男	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ取得シタル後其偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ之ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付ス	女	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
文書偽造ノ罪											
行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖書ヲ偽造シ又ハ偽造シタル公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ公務所又ハ公務員ノ作ル可キ文書若クハ圖書ヲ偽造ス	男女	146 2	11 1	157 3	12	11	24	38	9	12	12
公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル文書若クハ圖書ヲ變造ス	〃	25 5	1	26 5	3	3	1	1	4	2	1
行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若クハ署名ヲ使用シテ作ル可キ以外ノ文書若クハ圖書ヲ偽造シ又ハ公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル以外ノ文書若クハ圖書ヲ變造ス	男	6	—	6	—	—	—	1	1	1	—
公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ捺印若クハ署名シタル文書若クハ圖書ヲ偽造シ又ハ變造ス	〃	14	—	14	2	—	2	—	—	—	—

起訴猶豫者ノ犯罪ノ月、年齢、教育 (續)

月	年 齡										教 育										
	八月	九月	十月	十一月	十二月	十四年以上十六年未滿	十八年未滿	二十年未滿	二十五年未滿	三十年未滿	四十年未滿	五十年未滿	六十年未滿	七十年未滿	七十以上	高等	中等	普通	文書ノ書寫ヲ能ハサルモノ	全教育ナキモノ	不詳
58	34	1	1	11	—	1	4	3	10	7	38	44	28	12	5	—	3	33	72	43	1
12	6	5	1	9	3	8	4	3	20	14	12	7	2	1	—	—	37	32	5	—	
—	—	1	—	1	1	2	—	2	1	1	—	1	—	—	—	—	5	3	—	—	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	2	1	—
—	—	1	—	2	1	—	—	—	1	2	1	—	—	—	—	—	—	4	—	—	1
1	—	—	1	5	—	—	—	—	2	3	2	1	—	—	—	2	5	1	—	—	2
126	103	55	60	45	8	47	78	180	171	193	98	30	14	2	—	15	383	323	70	30	
4	1	2	3	—	—	—	1	4	7	8	2	3	2	—	—	1	6	9	10	1	
—	2	2	—	1	—	—	1	—	2	4	1	1	—	—	—	—	7	2	—	—	
—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	
—	—	1	—	—	—	—	—	4	1	—	—	—	2	—	—	—	5	—	1	1	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	
7	6	12	9	5	2	2	5	18	19	33	50	17	7	4	1	21	109	22	1	3	
—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	2	1	—	—	
3	1	—	4	3	2	—	3	3	5	7	4	2	—	—	—	4	14	8	—	—	
1	—	—	1	—	—	—	1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	1	3	—	—	
1	1	1	—	—	—	—	1	1	1	2	1	—	—	—	—	—	—	4	1	—	1
1	—	5	—	3	—	—	1	3	1	4	2	3	—	—	—	4	10	—	—	—	